

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(白系線)	バス路線を維持していくため、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。	A	A	令和4年10月のダイヤ改正後、再度令和5年10月に路線の見直しを実施。引き続き、沿線住民への情報提供や利用啓発を行いながら、適宜必要に応じてダイヤ改正を実施するなど、収支の改善を図る。	評価の指標は、路線別の収支率。自治会等と協力したオンデマンドバスの利用促進や、バス待ち環境の維持のためのベンチ修繕、公共交通マップの適宜更新によるHPでの情報提供、市民アンケート及び利用状況を踏まえた路線の見直しなど、持続可能な公共交通の実現に向けた様々な取り組みを行われていることを評価します。目標を達成出来なかった系統の原因を分析し改善を図られるとともに、目標を達成した系統についても、その要因を分析し、プラスの取組を評価書に記載されることをご検討願います。また、評価指標については、多角的に評価ができるよう利用者数の設定をご検討願います。事業の今後の改善点に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、更なる利用促進の取組を実施されることで、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		コミュニティバスの運行(雷山線)	曾根線等におけるオンデマンドバスの利用状況を踏まえながら日中のオンデマンド化と、運動公園へのアクセス確保を含めダイヤや路線などの見直すことにより、利便性の向上につなげ、収支の改善を図る。	A	A	令和4年度の利用状況および沿線住民の声を踏まえ、収支改善と利便性向上を図るため令和5年10月より日中のオンデマンド化。		
		コミュニティバスの運行(曾根線波多江経由)	オンデマンドバス運行時間帯以外の運行は、利用状況を踏まえながら、問題点の改善(ダイヤ改正等)を図り、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。	A	C	オンデマンドバス運行時間帯以外の運行については、利用状況を踏まえながら、問題点の改善(ダイヤ改正等)を図り、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行(曾根線有田経由)	運動公園へのアクセス確保を含めダイヤや路線などの見直しや、オンデマンドバス運行時間帯以外の利用状況を踏まえながら、問題点の改善を図り、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。	A	C	オンデマンドバス運行時間帯以外の運行については、利用状況を踏まえながら、問題点の改善(ダイヤ改正等)を図り、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行(井原山線)	オンデマンドバス運行の導入。オンデマンドバスは、自治会等と協力して、会員登録と利用を促進し、オンデマンドバス運行時間帯以外の運行については、利用状況を踏まえながらダイヤ改正等により、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。	A	B	オンデマンドバス運行時間帯以外の運行については、利用状況を踏まえながら、問題点の改善(ダイヤ改正等)を図り、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行(川原線)	交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、バス路線を維持していくため、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。	A	B	引き続き、沿線住民への情報提供や利用啓発を行いながら、利用促進を図るとともに、利用状況や収支状況、ニーズ等を踏まえ、適宜必要に応じてダイヤ改正を実施するなど、収支の改善を図る。また、オンデマンドバスへの転換についても、必要に応じ検討を行う。		
		コミュニティバスの運行(前原北原線)	沿線住民への情報提供や利用啓発を行う。また、路線短縮に伴う利用状況を検証し、ダイヤの見直しなどを適宜実施し、収支改善を図る。	A	A	運転手の労働改善の確保及び効率的な運行への改善を踏まえ令和5年10月のダイヤ改正において、減便等を実施。引き続き、沿線住民への情報提供や利用啓発と共に、利用状況等を見ながら、ダイヤなどの見直しを適宜必要に応じて実施することにより、収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行(九大線泊・油比経由)	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指し、国際村構想の進捗等を踏まえ、便数や路線の検討を行い、収支改善を目指す。九州大学関係者の利用状況を踏まえ、運行車両の最大値を上げ、輸送力の強化を図る。	A	A	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指し、国際村構想の進捗等を踏まえ、便数や路線の検討を行い、収支改善を目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
		コミュニティバスの運行 (初深江線)	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指した。	A	A	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指す。 また、長距離路線であることから、より効率的な運行路線への見直し等を検討する。		
		コミュニティバスの運行 (産業団地線)	市街地循環線のオンデマンドバス化に伴い、代替補充路線として令和4年10月より開始した路線。	A	A	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指す。 また、路線の主な利用者である産業団地等の通勤者や企業進出等を踏まえ、増便等のダイヤ改正等の検討を行い、利用者の増加を目指す。		
		コミュニティバスの運行 (篠原線)	市街地循環線のオンデマンドバス化に伴い、代替補充路線として令和4年10月より開始した路線。	A	C	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指すとともに、利用状況等を踏まえ、より効率的な運行路線となるようダイヤ改正等の検討を行い、必要に応じて実施する。		
		オンデマンドバスの運行 (チョイソコよかまちみらい号) (曾根線・井原山線エリア)	利用者の声を踏まえながら課題等を改善するとともに、拡大エリアを中心に、自治会等と協力して、会員登録と利用を確保する。 また、乗合率を高めることにより、効率的な運行につなげ、収支の改善を図る。	A	C	引き続き、利用者の声を踏まえながら課題等を改善するとともに、自治会等地域住民と協力して、会員登録と利用促進を図る。 また、乗合率を高めることにより、効率的な運行につなげ、収支の改善を図る。		
		オンデマンドバスの運行 (チョイソコよかまちみらい号) (市街地循環エリア)	市街地循環線(定時定路線)を区域運行によるオンデマンドバス化に変更し、令和4年10月より開始した路線。	A	C	引き続き、利用者の声を踏まえながら課題等を改善するとともに、自治会等地域住民と協力して、会員登録と利用促進を図る。 また、乗合率を高めることにより、効率的な運行につなげ、収支の改善を図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー黒川線	○運行区間 黒川地区～久喜宮・志波地区経由～杷木地区	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	C	路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。 ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。	評価の指標は、路線毎の利用者数。昨年度に引き続き、沿線コミュニティへの定期的な利用状況報告や広報活動等利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標を達成出来なかった系統の原因を分析され、評価書に記載されるとともに次年度の事業の改善点につなげられることをご検討願います。また、目標を達成した系統についても、その要因を分析し、プラスの取組を評価書に記載されることをご検討願います。 豪雨災害からの復興途中という状況ですが、協議会が今後の改善点として挙げられている地域公共交通計画(旧:地域公共交通網形成計画)に基づく取組が着実に実施され、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー杷木東部線	○運行区間 松末地区～杷木地域中心部、杷木地区内	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A			
	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(佐田コース)	○運行区間 佐田地区～矢野竹経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A			
	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(黒川コース)	○運行区間 黒川地区～矢野竹経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			
	[R4.10~R5.3] 矢野タクシー(4条) [R5.4~R5.9] 安全タクシー(4条) →あいのりタクシー馬田線	○運行区間 馬田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A			
	[R4.10~R5.3] 矢野タクシー(4条) [R5.4~R5.9] 安全タクシー(4条) →あいのりタクシー福城線	○運行区間 蟻城地区～福田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A			
	[R4.10~R5.3] 甘木観光バス(4条) [R5.4~R5.9] 安全タクシー(4条) →あいのりタクシー矢野竹線	○運行区間 矢野竹～十文字～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A			
	[R4.10~R5.3] 甘木観光バス(4条) [R5.4~R5.9] 安全タクシー(4条) →あいのりタクシー美奈宜の社線	○運行区間 矢野竹～美奈宜の社地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A			
	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー長瀬線	○運行区間 大福地区～金川地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			
	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー上秋月・安川線	○運行区間 上秋月地区～安川地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			
矢野タクシー(4条) →朝倉地域コミュニティバス	○運行区間 朝倉・宮野・大庭・福成地区～朝倉地域中心部	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(18番系統) ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～黒崎団地前 ●大牟田駅前～新栄町～黒崎団地前 ●新栄町～手鎌～黒崎団地前	【新型コロナウイルス以外の影響について】 ・コロナ前からの人口減少による利用者の減少 ・コロナ禍による生活様式の変化(外出機会の減少)がコロナ5類移行後も定着している事による利用者の減少 上記の要因から、外出機会を創出するため以下の取り組みを実施。 ・路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス乗車体験を実施した。 ・おおむた大蛇山まつり100円バスを実施した。	A	C	新型コロナウイルス移行により、当路線の利用が戻りつつあるが、時間帯によっては、空に近い状態で運行を行っている便があることから、適切な便数やダイヤについて検討し、運行の効率化を図る。 また、免許返納等、自家用車利用から公共交通への転換を図るような施策との連携など、効果的な取組みを実施し利用者増を目指す。	評価の指標は、系統別の利用者数。外出機会を創出するための利用促進に取り組まれていることを評価します。 前年度より利用者数は増加しているものの、前年度に引き続き全ての系統が目標を下回る結果となったことから、各系統の状況を分析し協議会が掲げる今後の改善点のとり目標値の見直しをされることをお願いします。 引き続き、利用促進に取り組んでいただくとともに、事業の今後の改善点に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくことにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		米の山・黒崎団地線(10番系統) ●西鉄大牟田営業所～市立病院～普光寺 ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～米の山 ●大牟田駅前～普光寺 ●大牟田駅前～米の山 ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～普光寺	同上 ・普光寺のバス停で降車の際に配布される抽選券で特産品が当たるイベントを実施した。	A	C	同上		
		上官線(16番系統) ●ゆめタウン大牟田～笹林～倉掛 ●ゆめタウン大牟田～笹林～万田坑 ●ゆめタウン大牟田～笹林～万田坑	【新型コロナウイルス以外の影響について】 ・コロナ前からの人口減少による利用者の減少 ・コロナ禍による生活様式の変化(外出機会の減少)がコロナ5類移行後も定着している事による利用者の減少 上記の要因から、外出機会を創出するため以下の取り組みを実施。 ・路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス乗車体験を実施した。 ・おおむた大蛇山まつり100円バスを実施した。	A	B	新型コロナウイルス移行により、当路線の利用が戻りつつあるが、コロナ以前から利用の少ない当路線に対して、引き続き利用促進事業を行い、免許返納等、自家用車利用から公共交通への転換を図るような施策との連携など、効果的な取組みを実施し利用者増を目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
		大牟田市内線(1番系統) ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅 ～ 三池中町 ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅 ～ 久福木団地	同上	A	C	路線の見直しにより、運行便数が大幅に削減されたため、目標値には達しないものの、新型コロナ5類移行により、当路線の利用が昨年と比べ増加している。このことから、当路線にあった目標値の設定を行うほか、コロナ以前から利用の少ない当路線に対して、引き続き利用促進事業を行い、免許返納等、自家用車利用から公共交通への転換を図るような施策との連携など、効果的な取組みを実施し利用者増を目指す。		
		吉野線(57番系統) ●西鉄大牟田営業所～橋交差 点・ 大牟田病院前～西鉄大牟田営業 所 ●西鉄大牟田営業所～橋交差 点・ 大牟田病院前～大牟田市立病院 ●大牟田市立病院～橋交差点・ 大 牟田病院前～大牟田市立病院	同上	A	C	目標値には達しないものの、新型コロナ5類移行により、当路線の利用が昨年と比べ増加している。また、新大牟田駅への利便性を向上するため、R5年11月より新大牟田駅に接続を行っている。今後は利用に応じた適切なダイヤ、便数の設定を検討するほか、引き続き利用促進事業を行い、免許返納等、自家用車利用から公共交通への転換を図るような施策との連携など、効果的な取組みを実施し利用者増を目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市	大和みなみ地域の運行 【車両減価償却費国庫補助金対象系統】	・一部路線の運行ルート見直しに伴い、広報紙にてコミュニティバスの利用を促すための記事を掲載し、周知を行った。 ・公共施設や病院等、比較的コミュニティバスの利用が多い場所に時刻表を配架し、利用者の利便性向上を図った。	A	B	大和みなみ線、大和ひがし線、大和にし線については、昨年比-0.1人以内の数値であった。引き続き利用促進及び路線の見直しを検討するなど、利用者増のための取組みを行いたい。 三橋ルートについては、昨年度市街循環線の運行開始に伴い、大幅に利用者が減少した(令和3年度まで唯一三橋ルートのみが停車していた「ゆめマート」バス停に市街循環線が停車することとなったため)が、今年度は昨年比+0.5人となり、利用者が増加した。市街循環線については、比較的新しい路線のため、昨年度は他ルートに比べて特に目標値と実績の数値に乖離があったが、徐々に利用者に浸透してきたことで利用者が増加し、目標を達成した。また、他の路線に比べて現金での利用が多く、回数券を使用するヘビーユーザーではなく観光客などが利用していることが推測される。近年インバウンドの需要も増えているため、バス停表示の多言語対応を行うなど、今後も継続して利用者増のための周知を図りたい。	評価の指標は、1便当たりの利用者数。広報紙による周知や利用者の多い公共施設・病院等に時刻表を配架し、他分野と連携した利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標を達成出来なかった系統の要因を分析され、評価書に記載されるとともに次年度の事業の改善点につなげられることをご検討願います。また、目標を達成した系統についても、その要因を分析し、プラスの取組を評価書に記載されることをご検討願います。 引き続き他分野との連携をご検討いただくとともに、協議会が今後の改善点として挙げているインバウンド需要への取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		大和ひがし地域の運行	・一部路線の運行ルート見直しに伴い、広報紙にてコミュニティバスの利用を促すための記事を掲載し、周知を行った。 ・公共施設や病院等、比較的コミュニティバスの利用が多い場所に時刻表を配架し、利用者の利便性向上を図った。	A	B			
		大和にし地域の運行 【車両減価償却費国庫補助金対象系統】	・一部路線の運行ルート見直しに伴い、広報紙にてコミュニティバスの利用を促すための記事を掲載し、周知を行った。 ・公共施設や病院等、比較的コミュニティバスの利用が多い場所に時刻表を配架し、利用者の利便性向上を図った。	A	A			
		三橋地域の運行 【車両減価償却費国庫補助金対象系統】	・一部路線の運行ルート見直しに伴い、広報紙にてコミュニティバスの利用を促すための記事を掲載し、周知を行った。 ・公共施設や病院等、比較的コミュニティバスの利用が多い場所に時刻表を配架し、利用者の利便性向上を図った。	A	B			
		市街地の運行 【車両減価償却費国庫補助金対象系統】	・一部路線の運行ルート見直しに伴い、広報紙にてコミュニティバスの利用を促すための記事を掲載し、周知を行った。 ・公共施設や病院等、比較的コミュニティバスの利用が多い場所に時刻表を配架し、利用者の利便性向上を図った。	A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
久山町地域公共交通活性化 協議会	新宮タクシー(株)	<p><久原先行便> レスポアール～上久原～東久原 ～役場～下久原～レスポアール ～上山田南～古賀橋トリアス前 ～下山田～大谷～草場～猪野～ 上山田南～レスポアールの運行 <猪野経由便> トリアス久山～下山田～猪野～ 山の神～久原療育園前～久山温 泉前～大浦～篠栗駅前の運行</p>	<p><取組み内容> ・計画とおりの運行を実施し、路線の維持・存続を図るとともに、利用状況に応じたイコバスの幹線・巡回の運行本数・運行ルートの変更等を行い、利便性向上を行った(令和5年3月～)。 ・イコバス及び西鉄バス、JR九州バス、JR九州の、総合的な公共交通マップの改訂版を作成するとともに、乗継ぎ情報等も掲載し、公共交通の利用促進に努めた。 <変更した主な事業概要と検討手順> ・モニタリング結果に基づく町内巡回の利用状況を踏まえ、町内1週型から山田線と久原線に分割した上で、利用の少ない時間帯の便を減便 ・町内巡回の再編で生じた運行原資等を、利用ニーズの高い時間帯・曜日の幹線系統において増便 ・町役場への意見を随時受付。モニタリング結果も踏まえて、変更対応可能なものについて適宜検討し、実施。</p>	A	B	<p>・イコバス幹線系統と町内巡回の異なる利用ニーズへの対応を図るために、幹線系統のダイヤ調整や、町内巡回の再編等の継続検討が求められる。 ・イコバス及び西鉄バス、JR九州バス、JR九州(鉄道)を一体的に捉え、町内外交通体系の整備を継続的に行うことが求められる。</p>	<p>評価の指標は、利用者数と利用者満足度。 モニタリング結果に基づく路線の見直し及び利用者ニーズを踏まえた増便の実施による利便性の向上や、昨年度に引き続き総合的な公共交通マップの改定による利用促進の取組を実施されたことを評価します。 引き続き、路線見直しによる利用状況を把握・分析されることにより、協議会が今後の改善点として挙げている交通事業者間の連携が図れるとともに、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	長谷線 (神田公民館～鞍手駅)	利用促進を図るために町内の公共施設、病院、銀行等にバスガイドの配布などを行った。バス利用促進の啓発グッズを庁舎内に配置した。	A	A	もやいたクシーにおいては、町内の交通空白地域における重要な公共交通であるため、町内の主要な施設や広域交通の接続拠点へのアクセス性の向上などの利便性の向上を図っていく必要がある。	評価の指標は、系統毎の利用者数。鞍手町バスガイドの配布及びHPでの情報提供や、啓発グッズの庁舎内配置などの利用促進に取り組まれていること、目標の達成状況について、達成・未達成の要因をしっかりと分析されていることを評価します。 引き続き、目標の達成状況に関する要因を分析し、改善の取組につなげていただくとともに、令和6年に策定される地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		古月線 (古門栄町～くらしの郷)	利用促進を図るために町内の公共施設、病院、銀行等にバスガイドの配布などを行った。バス利用促進の啓発グッズを庁舎内に配置した。	A	C	もやいたクシーにおいては、町内の交通空白地域における重要な公共交通であるため、町内の主要な施設や広域交通の接続拠点へのアクセス性の向上などの利便性の向上を図っていく必要がある。		
		泉水線 (永谷公民館～鞍手駅)	利用促進を図るために町内の公共施設、病院、銀行等にバスガイドの配布などを行った。バス利用促進の啓発グッズを庁舎内に配置した。	A	B	もやいたクシーにおいては、町内の交通空白地域における重要な公共交通であるため、町内の主要な施設や広域交通の接続拠点へのアクセス性の向上などの利便性の向上を図っていく必要がある。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	南畑線 ※【令和2年3月】 車両(ノンステップバス) 1台購入 ⇒南畑線及び通勤かわせみ (一部路線)で運用開始	効率的な利用促進策として、以下の取り組みを実施した。 (1)JR博多南線との接続性確保 ⇒博多南線との乗り継ぎを考慮したダイヤに変更するなど、接続性の確保を第一にダイヤの変更を行った。	A	C	南畑線・通勤かわせみ共に昨年度から利用者数が増加しており、特に通勤かわせみにおいては前年度比133%と大きく増加している。これは通勤需要がコロナ禍前と同等水準まで回復したことによるものと推測されるが、接続性の確保・強化を第一に考えダイヤを改正したことや、系統新設などの利便性向上によるものも大きいと思われる。 一方で、南畑線においては、昨年度と比較すると利用者数の増加割合は低く、これは日中時間帯における需要が通勤需要ほど回復していないことが要因として考えられる。しかし、その中でも増加傾向を示していることから、市民の本路線に対する生活交通としての需要の高さがうかがえる。	評価の指標は、系統毎の採算性及び利用者数。 利用者の要望を踏まえた運行系統の新設やパターンダイヤの導入など利便性向上に努められていること、運行事業者や周辺自治体と連携し、「バスの日」記念イベントを実施し利用促進に取り組まれたことを評価します。	
		通勤かわせみ ※【令和2年3月】 車両(ノンステップバス) 1台購入 ⇒南畑線及び通勤かわせみ (一部路線)で運用開始	(2)運行経路見直しによる利便性の向上 ⇒利用者からの要望が多かった市役所経由系統の新設のほか、発車間隔の均等化や一部時間帯でのパターンダイヤ導入などで、利便性の向上を図った。 (3)バスに関するイベントの実施 ⇒バスの利用促進を図る目的で、運行事業者や周辺自治体担当者等と共同で企画・準備等を行い「バスの日」記念イベントを実施した。	A	B	今後は、JR博多南線への接続を第一に考えダイヤを見直すことで利用者数の増加を図っていくことを基本とし、今回の系統新設のような利便性向上を図ることからなる利用促進を図っていく。また「バスの日」記念イベントについては、バスに関する貴重な情報発信の場となっていることから、今後も継続して実施に向け検討していく。	全系統とも目標を下回る結果となっていますが、その要因を詳しく分析されており、今後の改善の取組につなげられていることを評価します。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光 飯塚東地区	飯塚東地区内及び越智外科胃腸科医院・ハローデイ柏の森店・上の谷バス停・飯塚記念病院入口・カホテラスへの運行	利用ガイドの全戸配布・市報による利用促進の呼びかけ等の広報活動を行うことで、住民に対する周知については一定の効果が出ている。利用者を含めた住民からの要望等については、電話や窓口での聞き取りやまちづくり協議会、自治会長会等の各種団体からの意見を反映し、運行改善を行っている。	A	B	(ア)令和6年度版の利用ガイドを、高齢者等の利用者にわかりやすいように作成し、市民への周知に努める。	評価の指標は、利用者数。利用ガイドの全戸配布・市報による利用促進の取組や、まちづくり協議会などの各種団体と連携した利用者を含めた住民からの意見を反映した運行改善を実施されたことを評価します。目標を達成出来なかった要因を分析され、評価書に記載されるとともに次年度の事業の改善点につなげられることをご検討願います。また、プラスの効果があった取組についても評価書に記載されることをご検討願います。協議会が今後の改善点として挙げている取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	(有)Shonai観光 庄内地区	庄内地区内及び筑豊緑地・トライアル上三緒店への運行				(イ)年々、予約乗合タクシーの利用方法や有効性の認知が拡大し、今年度は317人が追加登録された。今後も引き続き市民への周知活動の強化に取り組み、利用促進を図る。		
	(有)安全タクシー 幸袋地区	幸袋地区内及びJR鯉田駅・川倉鯉田店・ハローデイ九工大前店・頼田病院への運行				(ウ)モニタリング調査等により利用者ニーズを把握し、民間公共交通とコミュニティ交通との役割分担を考慮した、効果的・効率的で持続可能な公共交通体系づくりを通して利用促進を図る。 (エ)感染症対策を継続して行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
川崎町地域公共交通会議	川崎町	安宅コースの運行	昨年に引き続き感染症対策を徹底し公共施設等に時刻表を設置しコミュニティバスの周知に努めた。 町民アンケート調査等を実施し、町民及び利用者のニーズに合った商業施設への乗り入れや路線再編を検討した。	A	B	公共施設やイベント開催時等で時刻表やグッズを配布し、コミュニティバスの周知を行い、町民アンケート調査等の結果から新規商業施設等への乗り入れや路線再編案を作成し利便性向上及び利用者増加に努める。	評価の指標は、系統毎の利用者数。 昨年度に引き続き感染症対策の実施による安心な車内環境づくりや、利便性の向上の取組を実施されたことを評価します。 目標を達成出来なかった系統の要因を分析され、評価書に記載されるとともに次年度の事業の改善点につなげられることをご検討願います。また、目標を達成した系統についても、その要因を分析し、プラスの取組を評価書に記載されることをご検討願います。 協議会が今後の改善点に挙げた取組や、令和6年に策定される地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		木城・荒平コースの運行	昨年に引き続き感染症対策を徹底し公共施設等に時刻表を設置しコミュニティバスの周知に努めた。 町民アンケート調査等を実施し、町民及び利用者のニーズに合った商業施設への乗り入れや路線再編を検討した。	A	B			
		上真崎・永井コースの運行	昨年に引き続き感染症対策を徹底し公共施設等に時刻表を設置しコミュニティバスの周知に努めた。 町民アンケート調査等を実施し、町民及び利用者のニーズに合った商業施設への乗り入れや路線再編を検討した。	A	A			
		池尻・田原コースの運行	昨年に引き続き感染症対策を徹底し公共施設等に時刻表を設置しコミュニティバスの周知に努めた。 町民アンケート調査等を実施し、町民及び利用者のニーズに合った商業施設への乗り入れや路線再編を検討した。	A	A			
		三井・大峰コースの運行	昨年に引き続き感染症対策を徹底し公共施設等に時刻表を設置しコミュニティバスの周知に努めた。 町民アンケート調査等を実施し、町民及び利用者のニーズに合った商業施設への乗り入れや路線再編を検討した。	A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
 九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡垣町地域公共交通協議会	(株)西部遠賀交通	<ul style="list-style-type: none"> ・岡垣循環線13系統 【車両減価償却費等国庫補助金 対象系統】 ・岡垣町予約型乗合タクシー1系 統 	<p>【利便性の向上】</p> <p>①海老津駅との乗り継ぎを考慮した運行ダイヤ の設定。</p> <p>②時刻表に、乗り継ぎ可能な便を記載し、利便 性の向上を図った。</p> <p>【利用促進】</p> <p>①プレミアム回数券を発行し、公共交通の利用 促進を図った。</p>	A	A	<p>岡垣町地域公共交通計画を基に利用量に見合った、持続 可能な運行計画を策定する。</p>	<p>評価の指標は、網形成計画策定時の利 用者数の確保。</p> <p>海老津駅との乗継を考慮した運行ダイヤ の設定や、乗継ダイヤを時刻表へ記載し 利便性向上に努められていること、プレミ アム回数券を発行し利用促進の取組を実 施したことにより、目標を達成されたこと を評価します。</p> <p>目標を達成した要因についても分析し、プ ラスの取組を評価書に記載され、次年度 の事業の改善点につなげられることをご 検討願います。</p> <p>地域公共交通計画の施策が着実に実施 されることにより、持続可能な公共交通体 系が構築されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
須恵町地域公共交通協議会	須恵町	<p>■コミュニティバス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番田～上須恵線 ・佐谷～建正寺線 ・平原～大間線 	<p>【R4評価結果】</p> <p>フィーダー系統の利用者減少を改善できるよう取り組む。</p> <p>地域公共交通計画の策定とその施策の実施により、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p> <p>【R5目標設定および対応策】 (目標)</p> <p>乗降者数前年度比100%を確保する(対応策)</p> <p>①料金減免証発行促進 ②バス停情報等オープンデータ化 ③大学との連携事業</p> <p>◆バス位置情報発信 ◆利用者動向モニタリング実施 ◆福祉センターにデジタルサイネージ設置</p> <p>④地域公共交通計画の策定 ⑤コミュニティバスのパンフレットを作成し利用促進につなげる</p>	A	A	<p>①地域公共交通計画の策定とその施策の実施により、持続可能な公共交通体系の構築を目指す。</p> <p>②今後のコミュニティバス全体の再編に向けて情報収集や現状の整理を行う。</p>	<p>評価の指標は、系統毎の利用者数。大学と連携した利用者動向モニタリング調査や、バス位置情報の発信、乗り継ぎ拠点である福祉センターにデジタルサイネージを設置するなど、利用者ニーズを把握されるとともに利便性向上に取り組まれていることを評価します。</p> <p>フィーダー対象系統は前年度から利用者が増加したことにより、目標を達成されており、全体の利用者数についてもコロナ禍前の令和元年度を超える利用者数があったことを評価します。</p> <p>今後も協議会が挙げられている関係団体・施設と連携した町民の回遊サポートを実施されるとともに、令和6年に策定される地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株) 八女エリア	・ふれあいサロンや広報・HPによる利用促進に努めた。	A	A	市中心部として商業施設や病院関係施設も充実しているエリアであり、安定した需要が見込まれる。幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。	評価の指標は、系統毎の利用者数。昨年度に引き続き、ふれあいサロンや広報・HPによる利用促進に取り組みられたことを評価します。目標の達成状況の評価については、達成・未達成の各系統とも、要因を把握され詳しく分析し、改善の取組につなげてください。分析された要因については、プラスの取組を含めて評価書に記載するようお願いいたします。協議会が今後の改善点に挙げた取組や地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		大丸タクシー(株) 迎春エリア	・ふれあいサロンや広報・HPによる利用促進に努めた。	A	C	乗合タクシーの登録率が高いエリアだが、制度導入から10年超が経過し、利用者の高齢化が進むとともに利用者減少も見受けられる。幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行い、利用が戻らない原因について調査していきたい。		
		大丸タクシー(株)、堀川バス(株) 白木エリア	・ふれあいサロンや広報・HPによる利用促進に努めた。	A	C	乗合タクシーの登録率が高いエリアだが、制度導入から10年超が経過し、利用者の高齢化が進むとともに利用者減少も見受けられる。幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行い、利用が戻らない原因について調査していきたい。		
		堀川バス(株)、(有)川島タクシー 矢部エリア	・ふれあいサロンや広報・HPによる利用促進に努めた。	A	B	乗合タクシーの登録率が高いエリアだが、制度導入から10年超が経過し、利用者の高齢化が進むとともに利用者減少も見受けられる。幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。		
		(有)八女観光バス 上陽エリア	・ふれあいサロンや広報・HPによる利用促進に努めた。	A	B	利用者の高齢化とともに人口減少が利用者減少の要因と考えられる。幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。		
		堀川バス(株)、(有)川島タクシー、(株)くるき 旧黒木町エリア	・ふれあいサロンや広報・HPによる利用促進に努めた。	A	B	利用者の高齢化とともに人口減少が利用者減少の要因と考えられる。幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。		
		星野タクシー(有) 星野エリア	・ふれあいサロンや広報・HPによる利用促進に努めた。	A	A	地域住民からの利用率も高く、安定した稼働が行えている。サロンでの周知を行い、実際にサロンまでの行き帰りにご利用いただいたことが増加に繋がったと考えられる。引き続きサロンやシニアクラブでの利用説明会や広報等周知活動を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	まちなか循環線 社会保険田川病院～上ノ山団地の運行 公有民営方式車両購入費国庫補助金対象系統	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進、お得なチケットの周知。	A	A	新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。 利用者の利便性向上のため、デジタル定期券の発行、バスロケーションシステムを導入する。	評価の指標は、系統毎の輸送人員。 鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成による収支率の維持・向上、広報紙等による周知や、高校入学説明会で通学定期券の周知・販売など利用促進に取り組まれていることを評価します。 また、伊加利線については、沿線高校への通学の利用を主とした系統への見直しを行うとともに、入学説明会で通学定期券の周知・販売を行われたことにより目標を大きく達成されたことを評価します。 目標を達成できた系統についても、その要因について分析していただき、評価書に記載するようお願いいたします。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		坂谷線 坂谷～社会保険田川病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進、お得なチケットの周知。	A	B	新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。 利用者の利便性向上のため、デジタル定期券の発行、バスロケーションシステムを導入する。		
		伊加利線 田川伊田駅～田川伊田駅の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進、お得なチケットの周知。朝の左回り第1便を、沿線高校への通学利用を主とした系統へ見直し。	A	A	新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。 利用者の利便性向上のため、デジタル定期券の発行、バスロケーションシステムを導入する。		
		弓削田・金川・上伊田線 社会保険田川病院～社会保険田川病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進、お得なチケットの周知。	A	A	新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。 利用者の利便性向上のため、デジタル定期券の発行、バスロケーションシステムを導入する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町	・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本快速線(1)時計回り (遠賀川駅(北口)～松の本～遠 賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本快速線(2)反時計回 り(遠賀川駅(北口)～松の本～ 遠賀川駅(北口))の運行	町の広報紙に、バスのお得情報や新型コロナウ イルス対策の取り組みを掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、 利用促進の取り組みを行った。	A	A	前年度に比べ、利用者が872人増加している。 駅への通勤・通学目的の利用者が回復してきていると考え られる。 新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「第5 類感染症」に変更されたこともあり、利用者数に回復傾向 がみられるため、引き続き広報紙へのバスの利便性や感 染症対策等の掲載や体験乗車の募集などの利用促進をは じめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に 記載した利用促進事業に取り組むことで遠賀町コミュニ ティバスの利用促進を図っていく。	評価の指標は、系統毎の利用者数。 昨年度に引き続き、バスのお得情報や新 型コロナウイルス対策の取組の広報紙へ の掲載や、体験乗車や出前講座の募集を 行うなど利用促進につながる取組を実施 されたことを評価します。 利用者数は全体的に増加しており、コ罗纳 からの回復傾向が見受けられますが、引 き続き、目標の達成状況について詳しい 分析を行っていただき、改善の取組につ なげてください。	385人増加している。 協議会が今後の改善点として挙げた取組 や、地域公共交通計画の施策が着実に実 施されることにより、持続可能な公共交 通体系が構築されることを期待します。
		・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木快速線(1)反時計回 り(遠賀川駅南口～蓮角～遠賀 川駅南口)の運行 ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木快速線(2)時計回 り(遠賀川駅南口～蓮角～遠賀川 駅南口)の運行	町の広報紙に、バスのお得情報や新型コロナウ イルス対策の取り組みを掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、 利用促進の取り組みを行った。	A	A	前年度に比べると、利用者が385人増加している。 駅への通勤・通学目的の利用者が回復してきていると考え られる。 新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「第5 類感染症」に変更されたこともあり、利用者数に回復傾向 がみられるため、引き続き広報紙へのバスの利便性や感 染症対策等の掲載や体験乗車の募集などの利用促進をは じめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に 記載した利用促進事業に取り組むことで遠賀町コミュニ ティバスの利用促進を図っていく。		
		・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本線(1)時計回り(遠 賀川駅(北口)～松の本～遠賀川 駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本線(2)反時計回 り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠 賀川駅(北口))の運行	町の広報紙に、バスのお得情報や新型コロナウ イルス対策の取り組みを掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、 利用促進の取り組みを行った。	A	A	前年度に比べ、利用者が1,615人増加している。 各地区からの駅の利用や買い物目的の利用が回復してき たことが大きな理由と考えられる。 新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「第5 類感染症」に変更されたこともあり、利用者数に回復傾向 がみられるため、引き続き広報紙へのバスの利便性や感 染症対策等の掲載や体験乗車の募集などの利用促進をは じめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に 記載した利用促進事業に取り組むことで遠賀町コミュニ ティバスの利用促進を図っていく。		
		・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(1)反時計回り (遠賀川駅(北口)～遠賀高校～ 遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(2)時計回り(遠 賀川駅(北口)～遠賀高校～遠賀 川駅(北口))の運行	町の広報紙に、バスのお得情報や新型コロナウ イルス対策の取り組みを掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、 利用促進の取り組みを行った。	A	A	前年度に比べ、利用者が1,301人増加している。 各地区からの駅の利用や買い物目的の利用が回復してき たことが大きな理由と考えられる。 新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「第5 類感染症」に変更されたこともあり、利用者数に回復傾向 がみられるため、引き続き広報紙へのバスの利便性や感 染症対策等の掲載や体験乗車の募集などの利用促進をは じめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に 記載した利用促進事業に取り組むことで遠賀町コミュニ ティバスの利用促進を図っていく。		
		・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(3)反時計回 り(遠賀川駅(北口)～ふれあいの 里～遠賀川駅(北口))の運行	町の広報紙に、バスのお得情報や新型コロナウ イルス対策の取り組みを掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、 利用促進の取り組みを行った。	A	A	前年度に比べ、利用者が1,301人増加している。 各地区からの駅の利用や買い物目的の利用が回復してき たことが大きな理由と考えられる。 新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「第5 類感染症」に変更されたこともあり、利用者数に回復傾向 がみられるため、引き続き広報紙へのバスの利便性や感 染症対策等の掲載や体験乗車の募集などの利用促進をは じめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に 記載した利用促進事業に取り組むことで遠賀町コミュニ ティバスの利用促進を図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
		<ul style="list-style-type: none"> ・遠賀町コミュニティバス 島津・尾崎線(1)反時計回り(遠賀川駅(北口)～尾崎～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 島津・尾崎線(2)時計回り(遠賀川駅(北口)～尾崎～遠賀川駅(北口))の運行 	<p>町の広報紙に新車購入に関する記事の掲載だけでなく、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みも掲載した。また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。</p>	A	A	<p>前年度に比べ、利用者が572人増加している。各地区からの駅の利用や買い物目的の利用が回復してきたことが大きな理由と考えられる。新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「第5類感染症」に変更されたこともあり、利用者数に回復傾向がみられるため、引き続き広報紙へのバスの利便性や感染症対策等の掲載や体験乗車の募集などの利用促進をはじめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組むことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> ・遠賀町コミュニティバス 老良・広渡線(1)時計回り(遠賀川駅(北口)～ふれあいの里～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 老良・広渡線(2)反時計回り(遠賀川駅(北口)～ふれあいの里～遠賀川駅(北口))の運行 	<p>町の広報紙に、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みを掲載した。また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。</p>	A	B	<p>年間利用目標値に達しておらず、前年度に比べると、利用者が266人減少している。本路線については新型コロナウイルス感染症の影響が大きく残っていると考えられる。新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「第5類感染症」に変更されたこともあり、利用者数の回復のため、広報紙へのバスの利便性や感染症対策等の掲載や体験乗車の募集などの利用促進をはじめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組むことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
 九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
芦屋町地域公共交通会議	芦屋町	芦屋タウンバス 中央病院・遠賀川駅線	バス路線・便数の維持確保を行ったほか、JR九州のダイヤ改正に合わせ、時刻表改正を行った。	A	A	生活交通確保維持改善計画に定める利用者目標を達成した。引き続き利用者数の増加を図る。	評価の指標は、路線毎の利用者数。全系統とも目標を達成しており、コロナからの回復傾向が見受けられますが、目標を達成した系統についても、その要因を分析し、プラスの取組を評価書に記載され、次年度の事業の改善点につなげられることをご検討願います。協議会が今後の改善点として挙げた取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		芦屋タウンバス はまゆう・遠賀川駅線	バス路線・便数の維持確保を行ったほか、JR九州のダイヤ改正に合わせ、時刻表改正を行った。	A	A	生活交通確保維持改善計画に定める利用者目標を達成した。引き続き利用者数の増加を図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広川町地域公共交通協議会	(有)蒲池自動車・ 堀川バス(株)	ふれあいタクシー (町内全域の運行)	自治会や社会福祉協議会等が主催する会合・健康教室に参加し、意見・要望を聴取した。要望のあった区域外乗り入れについては、他市関係者との協議継続と回答した。	A	B	利用状況の把握、利用者の意見聴取を行い、利用促進に向けた取組を実施する。	評価の指標は、年間利用者数。昨年度に引き続き、自治会等が主催する会合等に参加し意見・要望の聴取を行い、住民のニーズ把握に努められていることについて評価します。目標を達成出来なかった要因を分析され、評価書に記載されるときに次年度の事業の改善点につなげられることをご検討願います。また、目標を達成した場合は、その要因を分析し、プラスの取組を評価書に記載されることをご検討願います。協議会が今後の改善点として挙げた取組が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	コミュニティバス上頓野線の運行 (直方駅～会下団地～竜王峡)	・庁舎、その他公共施設及びホームページに時刻表及び路線図を配架するほか、市報に折り込みを行った。 ・運行事業者、各路線代表者、直方市シニアクラブ連合会の代表者、それぞれと意見交換会による意見、課題等を聴取し、今後の利用促進策に向けた協議を実施。	A	A	・運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、効果的な運行を検討していく。 ・利用促進の一環として新たな運賃制度などの導入を進める。	評価の指標は、系統毎の一運行平均の利用者数。 時刻表・路線図の庁舎及び関係施設への配架及びホームページへの掲載や、運行事業者、住民代表などと意見交換を実施されるなど、利用促進や利便性向上につながる取組が行われていることを評価します。	
	MGタクシー株式会社	コミュニティバス武谷線の運行 (直方駅～ハローデイ前～ゴルフ場)	・庁舎、その他公共施設及びホームページに時刻表及び路線図を配架するほか、市報に折り込みを行った。 ・運行事業者、各路線代表者、直方市シニアクラブ連合会の代表者、それぞれと意見交換会による意見、課題等を聴取し、今後の利用促進策に向けた協議を実施。	A	A	・運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、効果的な運行を検討していく。 ・利用促進の一環として新たな運賃制度などの導入を進める。	引き続き、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、改善の取組につなげてください。また、目標を達成した系統についても、その要因を分析し、プラスの取組を評価書に記載され、次年度の事業の改善点につなげられることをご検討願います。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や、令和6年に策定される地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	筑豊タクシー株式会社	コミュニティバス鴨生田団地線の運行 (直方駅～鴨生田団地～サンリブのおがた店)	・庁舎、その他公共施設及びホームページに時刻表及び路線図を配架するほか、市報に折り込みを行った。 ・運行事業者、各路線代表者、直方市シニアクラブ連合会の代表者、それぞれと意見交換会による意見、課題等を聴取し、今後の利用促進策に向けた協議を実施。	A	B	・運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、効果的な運行を検討していく。 ・赤地新入線と重複するバス停が多いことから、同一バス停利用者が赤地新入線と併用している可能性があり利用者が減ったと考えられる。(赤地新入線は1.5倍以上で利用増) ・利用促進の一環として新たな運賃制度などの導入を進める。		
	直方タクシー有限公司	コミュニティバス植木線の運行 (直方駅～下新入～下町公民館)	・庁舎、その他公共施設及びホームページに時刻表及び路線図を配架するほか、市報に折り込みを行った。 ・運行事業者、各路線代表者、直方市シニアクラブ連合会の代表者、それぞれと意見交換会による意見、課題等を聴取し、今後の利用促進策に向けた協議を実施。	A	C	・R3年10月の路線変更後に利用者数減少となったことから、路線のあり方を再考するため利用実態を把握する必要があると考える。 ・運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、効果的な運行を検討していく。 ・利用促進の一環として新たな運賃制度などの導入を進める。		
	MGタクシー株式会社	コミュニティバス感田線の運行 (直方駅～東和苑北～行常集会所)	・庁舎、その他公共施設及びホームページに時刻表及び路線図を配架するほか、市報に折り込みを行った。 ・運行事業者、各路線代表者、直方市シニアクラブ連合会の代表者、それぞれと意見交換会による意見、課題等を聴取し、今後の利用促進策に向けた協議を実施。	A	A	・R5年10月より需要の高いクリニックに停留所を新規設置することで利用者増を図る。 ・運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、効果的な運行を検討していく。 ・利用促進の一環として新たな運賃制度などの導入を進める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
 九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
	直方タクシー有限公司	コミュニティバス赤地新入線の運行 (緑光苑～直方駅～サンリブのおがた店)	・庁舎、その他公共施設及びホームページに時刻表及び路線図を配架するほか、市報に折り込みを行った。 ・運行事業者、各路線代表者、直方市シニアクラブ連合会の代表者、それぞれと意見交換会による意見、課題等を聴取し、今後の利用促進策に向けた協議を実施。	A	A	・運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、効果的な運行を検討していく。 ・利用促進の一環として新たな運賃制度などの導入を進める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
久留米市地域公共交通会議	久留米市地域公共交通会議	北野地域よりみちバス運行 ・A日程(月・水・金):17便 ・B日程(火・木・土):17便	新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、感染拡大前の様々な移動が戻ってきた中、地域住民の生活や経済の安定確保に不可欠な地域公共交通の確保・維持のため、運行地域と行政が連携して現状の運行ルートやダイヤ、今後の利用促進について意見交換し、検討する場を作りながら、生活支援交通の運行継続に努めた。	A	B	前年度と同様に、目標1は達成したが、目標2の満足度が前年度より低下し、達成できなかった。 行政と地域が連携して運行ルート、ダイヤ、利用促進については、校区広報誌やイベント等での紹介など、運行地域と行政が連携して継続的な利用促進に取り組めており、目標を達成できたものと思われる。 一方、公共交通機関の満足度は、年代や日常の移動手段等の種別に関わらず、市全体で下がっている傾向にある。今後は地域内の移動を担うよりみちバスとともに、広域的な移動を担う鉄道・バスの利用促進について、各交通事業者と密に連携して取り組む必要があると考える。	評価の指標は、系統毎の日利用者数と公共交通満足度。 行政と地域が連携して運行ルート、ダイヤ、利用促進について、意見交換を実施し生活支援交通の維持に取り組まれていることを評価します。 また、目標の達成状況の評価について、その要因を詳しく分析されることにより、今後の改善の取組につなげていることについて評価します。引き続き、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、改善の取組につなげてください。	
		城島地域よりみちバス運行 ・A日程(月・水・土):17便 ・B日程(火・木・金):16便	新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、感染拡大前の様々な移動が戻ってきた中、地域住民の生活や経済の安定確保に不可欠な地域公共交通の確保・維持のため、運行地域と行政が連携して現状の運行ルートやダイヤ、今後の利用促進について意見交換し、検討する場を作りながら、生活支援交通の運行継続に努めた。	A	B	昨年度に引き続き、目標2の満足度については達成したが、目標1については達成できなかった。 よりみちバスの利用者は、昨年度よりも増加し、コロナ禍以前まで回復しているが、目標達成できなかった。今後は便毎の移動パターン等をより細かく分析し、抜本的なダイヤ改善や更なる利用促進を検討し、利用者増を図る。 一方、公共交通機関の満足度は、これまでのダイヤ改正等による効果により向上できているものと考えられるが、他地域と比較すると依然として低く、北野地域と同様に、各交通事業者と密に連携して取り組む必要があると考える。	今後とも行政と地域との意見交換を継続しながら協議会が今後の改善点として挙げた取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中間市地域公共交通会議	有限会社ことぶきタクシー	通谷・桜台系統	令和5年3月9日に商業施設がリニューアルオープンしたことに伴い、同日付で当該施設に停留所を設置し、利便性が向上するよう努めた。また、このことについて、市ホームページ、自治会の組回覧、コミュニティバスの乗客への手渡し等により周知を徹底した。	A	C	利用者、収支率ともに目標値を下回っており、運行実績によると、令和5年1月から2月にかけて利用者が特に少なかった。ルート及びダイヤを更新した令和5年3月からは利用者が戻ってきているため、効果的な周知方法等を検討し、利用者の獲得に努める。	評価の指標は、系統毎の利用者数及び収支率。 商業施設のリニューアルオープンにあわせてバス停を設置し、利便性向上を図られるとともに、自治会を通じての周知及び市のホームページに掲載されるなど利用促進に取り組みされたことを評価します。 引き続き、補助対象外となった3系統を含めた利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、改善の取組につなげてください。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や、令和6年に策定される地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 清水・上庄線	瀬高町の水上～清水～上庄～本郷地域を運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・運行ルートおよび運行ダイヤの一部見直しを実施した。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 利用状況や利用ニーズを分析し、関係団体等と協議しながら路線・ダイヤなど見直しが必要な項目を洗い出しを行い、地域や周辺自治体などと協議を実施する。 全ての路線・ダイヤを一律に見直すことは困難なため、市の財政状況等を勘案しながら、段階的に検討・実施する。 出前講座等を実施し、住民のコミュニティバス運行に関する認知度の向上に努める。 利用者の利便性向上や移動需要の創出を行い、利用者の増加を図る。 	評価の指標は、系統毎の1便あたりの利用者数。 昨年度に引き続き、市報・HP・SNSでの情報発信や利用者の声を反映した時刻表の作成・全戸配布等、利用促進に取り組みられていることを評価します。 目標の達成状況の評価については、達成・未達成の各系統とも、要因を把握され詳しく分析し、改善の取組につなげてください。分析された要因については、評価書に記載するようお願いいたします。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田経由)	瀬高町～高田町を太神・岩田地域を経由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・運行ルートの一部見直しを実施した。	A	B			
	みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江経由)①	高田町～瀬高町を江浦・浜田・大江地域を経由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・運行ダイヤの一部見直しを実施した。	A	A			
	みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江経由)②	高田町～瀬高町を江浦・浜田・大江地域を経由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・運行ダイヤの一部見直しを実施した。	A	B			
	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)①	高田町～瀬高町を国道209号を経由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・運行ダイヤの一部見直しを実施した。	A	B			
	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)②	新船小屋からJR瀬高駅間を運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。	A	C			
	みやま市 山川・瀬高線①	山川町の真弓公民館～瀬高町の市立図書館を国道443号線を経由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。	A	B			
	みやま市 山川・瀬高線②	山川町のバイオマスセンター～瀬高町の市立図書館を国道443号を経由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・運行ダイヤの一部見直しを行った。	A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
	みやま市 山川・瀬高線③	瀬高町のJR瀬高駅～山川町の 真弓公民館を国道443号を経由し て運行 【車両減価償却費等国庫補助金 交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作 成し全戸配布を行った。	A	C			
	みやま市 高田南部・西部線 (循環)	高田町のあたご苑～高田町の西 鉄開駅を循環して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作 成し全戸配布を行った。	A	B			
	みやま市 山川・高田線 (亀谷・竹飯経由)	高田町の南部及び西部地域をJR 渡瀬駅からあたご苑、西竹飯を経 由して山川げんきかんまで運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作 成し全戸配布を行った。 ・運行ルート及び運行ダイヤの一部見直しを实 施した。	A	C			
	みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)①	高田町の南部及び西部地域をJR 渡瀬駅からあたご苑を経由して山 川げんきかんまで運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作 成し全戸配布を行った。	A	C			
	みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)②	高田町の南部及び西部地域を山 川げんきかんからあたご苑を経 由しヨコクラ病院前まで運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作 成し全戸配布を行った。	A	B			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宮若市地域公共交通会議	有限会社松川タクシー MGタクシー株式会社	宮田・小竹線	市ホームページ、市報等での周知やバス利用促進の啓発物品の配布を行い、新規利用者の拡大を目指した	A	C	収益率では、目標値を大きく下回っており、利用者数・収支率も昨年より減少している。定期的な利用者が存在する一方、住宅が集中している地域での新規利用者が少ないことも考えられる。 利用者の少ない曜日に関しては運行の見直し等により、収支の改善を図る。	評価の指標は、年間利用者数及び収支率。 昨年度に引き続き、新規利用者拡大のための取り組みが行われたことを評価します。 今年度も、目標を下回る結果となっていますが、その要因を詳しく分析されており、地域公共交通計画策定の協議においても、利用者ニーズを把握されたことから今後の改善の取組につなげられることを期待します。 引き続き、目標の達成状況に関する要因を分析し、改善の取組につなげていただくとともに、令和6年に策定される地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
嘉麻市地域公共交通会議	嘉穂観光有限公司	稲築桂川線 (市役所・稲築病院経由)	今年度も前回から引き続き、バスの利便性向上を図ると共に、バスが走っていること、利用できることを周知するため、広報誌や市ホームページでのPRと、市内在住の学生に向けた通学定期券の補助を継続して実施しました。また、学生に向けて通学に関するアンケートを実施した際に、通学での公共交通の利用を呼びかけを行いました。	A	A	適宜利用者からの要望や意見を精査し、ダイヤや路線の見直し、検討を実施してきました。今回も、目標としていた収支率20%以上の維持を達成しました。 今後は更なる利便性の向上、わかりやすいバスを目指すため、市内循環線同様にノンステップバスへの切替えを予定しています。 また、継続した周知活動を実施し、バスを利用していない層にも視野を向け、事業等を実施予定です。	評価の指標は、系統毎の収支率。 昨年度に引き続き、利用実態に合わせたダイヤの見直しを実施されたこと、利用促進のための各種取組を実施されたことにより、目標を達成されたことを評価します。 また、通学時間帯におけるJR駅に接続した系統の新設や、通学時の公共交通利用の周知、通学定期券の購入補助を実施されたことを評価します。 目標を達成した系統についても、その要因を分析し、プラスの取組を評価書に記載されることをご検討願います。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		稲築桂川線 (東岩崎・嘉穂総合高校経由)		A	A			
		稲築桂川線 (なつきが丘・嘉麻市役所・稲築病院経由)		A	A			
		稲築桂川線 (嘉麻市役所経由)		A	A			
		稲築桂川線 (なつきが丘・嘉麻市役所経由)		A	A			
		稲築桂川線 (山野杜宅～稲築病院)		A	A			
	株式会社ひまわり観光	市内循環線東回り山田方面 (公有民営方式車両購入費国庫補助金)	効率的な運行のため、ダイヤや路線の軽微な変更を行い、また、更なる利便性の向上のため、ノンステップバスを導入しました。 稲築桂川線同様に継続した広報活動を実施し、路線の周知に努めました。	A	A	適宜利用者からの要望や意見を精査し、ダイヤや路線の見直し、検討を実施してきました。 今回も、目標としていた収支率20%以上の維持を達成しました。 また、継続した周知活動及びノンステップバスをのPRを実施し、バスを利用していない層にも視野を向け、事業等を実施予定です。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
香春町地域公共交通会議	香春町	採銅所コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・すずかけ病院」及び採銅所地区への運行	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が減少した要因について、新型コロナウイルスによる影響以外の要因がないかを確かめるため、利用者や免許返納を考えている年代への聞き取りアンケートをコミュニティバス車内や社会福祉協議会、役場施設にて実施した。その結果、定時定路線型であるコミュニティバス及びのりあいタクシーの運行形態では、改善(利用者を増やす)することが困難であると判断し、町内全域を対象としたAIオンデマンドバスの運行へ移行することにした。 ・運転免許証を自主返納した方に5000円相当の公共交通が利用できる支援をおこなっているが、コミュニティバスは対象外であった。そのため、関係部署と協議を重ね、令和6年4月運行開始のAIオンデマンドバスでは利用できるように調整した。 ・役場ロビーに町内を走る全ての公共交通の時刻表を設置し、公共交通のPRを年間通して実施している。 	A	B	利便性向上のため、町内全域を対象にしたAIオンデマンドバスの導入を決定したが、現在の定時定路線型の利用方法とは異なるため、利用者がスムーズに移行できるように親切丁寧な案内を行う。 また、免許返納者向けに5000円相当のAIオンデマンドバスが利用できる補助を新規に実施し、利用者の獲得を目指す。 【利用者向け説明会】 利用方法や事前登録を次の方法で実施する。 ①役場ロビー・役場主催介護予防教室・香泉荘等に特設ブースを設置。 ②各地区より要望をいただいた場合、公民館等で説明会。	評価の指標は、1日あたりの利用者数と新たな公共交通の認知度。 利用者減少の要因を、新型コロナウイルス感染症の影響以外にないかを確かめるため、利用者などへ聞き取りアンケートを実施されたこと、運転免許証自主返納者への支援を関係部署との調整を行い見直されたことを評価します。 引き続き、目標の達成状況に関する要因を分析し、改善の取組につなげていただくとともに、協議会が今後の改善点として挙げた令和6年4月からの導入を予定しているAIオンデマンドバスの運行などの取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		鏡山コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・すずかけ病院」及び鏡山地区への運行						
		柿下・中津原コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・すずかけ病院」及び柿下・中津原地区への運行						
		下香春コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・すずかけ病院」及び下香春地区への運行						
		紫竹原コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・すずかけ病院」及び紫竹原地区への運行						
		一本松コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・すずかけ病院」及び一本松地区への運行						

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費用国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥栖市地域公共交通会議	西鉄バス佐賀株	弥生が丘循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスのイベントの実施等により、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	A	今後も引き続き利用促進に向け、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要がある。また、R7年3月に地域公共交通計画を策定予定であり、市民アンケートや利用実態調査等を実施し、その結果を基に地域の実情に応じた利用促進策を検討する必要がある。	評価の指標は、路線別の収支率(弥生が丘循環線)、路線毎の1便あたり利用者数(鳥栖地区循環線、田代地区循環線、基里地区循環線、旭地区循環線)。バスマップ配布やイベント開催等の利用促進に向けた取組を実施し、一部の系統で目標を達成できたことを評価します。引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	㈱鳥栖構内タクシー	鳥栖地区循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスのイベントの実施等により、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。また、運行ルート及びダイヤの変更後の改善点や課題を探るため、利用実績について分析を行った。	A	B	今後も引き続き利用促進に向け、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)や、利用方法の周知のためミニバス乗車体験会を実施していく必要がある。また、R7年3月に地域公共交通計画を策定予定であり、市民アンケートや利用実態調査等を実施し、その結果を基に地域の実情に応じた利用促進策を検討する必要がある。		
		田代地区循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスのイベントの実施等により、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。また、運行ルート及びダイヤの変更後の改善点や課題を探るため、利用実績について分析を行った。	A	B			
	久留米西鉄タクシー㈱	基里地区循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスのイベントの実施等により、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。また、利用者が減少傾向にあることから、改善点や課題を探るため、利用実績の分析を行った。	A	C			
		旭地区循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスのイベントの実施等により、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。また、運行ルート及びダイヤの変更後の改善点や課題を探るため、利用実績について分析を行った。	A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
嬉野市地域公共交通活性化協議会	温泉タクシー㈱	春日線 大野原線	市ホームページに時刻表や公共交通に関するお知らせ等を掲載し、市民や観光客向けに引き続きPRを行った。また、経路検索サイトへ春日線・大野原線ともに継続して行っていることや、更にGTFSを用いてオープンデータ化を果たし、Google Mapで時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。利用者数については、両路線とも横ばいで推移している。	A	B	<p>(春日線) R5年度の利用者状況はR4年度比で僅かに減少(▲41人)し、収支状況は横ばいであった。固定の利用者に引き続き利用して貰える環境を整えたい。</p> <p>(大野原線) R5年度の利用者状況はR4年度比で僅かに減少(▲16人)し、収支状況は横ばいであった。固定の利用者に引き続き利用して貰える環境を整えたい。</p> <p>(特記事項) 大野原線については、フィーダー補助要件を下回った。現状に則した運行形態への転換を進め、持続可能な交通網としたい。</p> <p>(全体) 運賃の見直しや、沿線住民や地元の地域コミュニティに対し利用促進を図る利用促進の取り組みを実施すると同時に、広報誌や市ホームページを通じて、より積極的に市民や観光客等へ情報発信を行っていく。令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき、利便性と財政面の両方に配慮しつつ、地域公共交通網の適正化を進めたい。</p>	<p>評価の指標は、路線別1人あたりの運行コスト及び利用者数。 従来に引き続き、経路検索サイト掲載やGTFSを用いたオープンデータ化等の地域住民・観光客に向けた情報提供に継続して取り組まれたことを評価します。 一方で、大野原線は利用が低迷し補助金交付要件を満たさなかったことから、利用状況に注視いただくとともに地域のニーズを踏まえた対策のご検討をお願いします。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小城市地域公共交通活性化 協議会	小城市 晴田線 (小城市巡回バス)	小城市の晴田地区内における巡回バスの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度を引き続き行った。 (2)老朽化したバス停の更新、バス停時刻表の更新を行った。 (3)広報誌にコミュニティバス運行情報等の掲載や出前講座実施により利用促進と周知に取り組んだ。 (4)フリー乗降区間設定に向けた事業者との協議を行った。 上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	C	市民からは運行本数(日)やバス停までの距離、運行情報の提供について改善すべきとの意見がある。利用が少ない路線については地域公共交通計画に沿ってデマンドタクシー導入に向けた事業者との協議やフリー乗降区間設定を進めていき、利便性の向上に努める。また、市報・ホームページ、出前講座等で運行情報の提供に努め、あわせて運転免許証自主返納者への割引制度継続等を行い利用促進を図っていく。	評価の指標は1便あたりの利用者数。運転免許証自主返納者割引制度、老朽化したバス停の更新等の従来の取組に加え、運行情報の広報誌掲載や出前講座の開催等の新たな需要開拓のほか、フリー乗降区間の拡大等の利便向上の取組を評価します。 令和7年7月の公立佐賀中央病院の開業に向け、病院へのアクセスをはじめとする市内交通ネットワークの見直しにおいては、これまで把握された課題と利用者ニーズを踏まえ持続可能な旅客運送サービスの提供が目指されることを期待します。	
	小城市 岩松線 (小城市巡回バス)	小城市の岩松地区内における巡回バスの運行		A	C			
	小城市 三里線 (小城市巡回バス)	小城市の三里地区内における巡回バスの運行		A	B			
	小城市 北回りコース (三日月町巡回バス)	三日月町の北部地区及び小城市の一部における巡回バスの運行		A	B			
	小城市 南回りコース (三日月町巡回バス)	三日月町の南部地区における巡回バスの運行		A	C			
	小城市 勝・柿樋瀬線 (牛津町巡回バス)	牛津町の勝・柿樋瀬地区における巡回バスの運行		A	C			
	小城市 砥川線 (牛津町巡回バス)	牛津町の砥川地区における巡回バスの運行		A	C			
	小城市 天満町・芦刈町線 (牛津町巡回バス)	牛津町天満町地区及び芦刈町の一部(北部)における巡回バスの運行		A	C			
	小城市 広域線 (広域循環バス)	市内の主要公共施設等を回る循環バスの運行		A	C			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
 九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
	小城タクシー(株) あしま〜る線 (芦刈町乗合タクシー)	芦刈町の南部地区における乗合 タクシーの運行	上記(1)〜(3)の他、乗り込み調査を行い、ニースの聞き取りを行った。 更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	C	市民からは、運行時間について改善すべきとの意見がある。 また、市報・ホームページ、出前講座等で運行情報の提供に努め、運転免許自主返納者への割引制度継続等を行い利用促進を図っていく。		
	小城タクシー(株) やまびこ線 (小城やまびこタクシー)	小城町巡回バスの運行エリアで はない中山間地区における乗合 タクシーの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度を引き続き行った。 (2)老朽化したバス停の更新、バス停時刻表の更新を行った。	A	B			
	小城タクシー(株) 江里山・石体線 (小城やまびこタクシー)	小城町巡回バスの運行エリアで はない中山間地区における乗合 タクシーの運行	上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	B			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費用国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
神埼地域公共交通活性化 協議会	(有)ジョイックス交通	北部コース西 神埼駅を起終点とし尾崎等を経由する 23.7km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったが、1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。	評価の指標は、1運行あたりの利用者数(北部コース西・東、中部コース西・東、南部コース西・東、神埼市～千代田線)と計画運行回数に対する稼働率(北部デマンド、中部デマンド、南部デマンド)。市HPや市報等による広報活動に加え、事業者による利用者への声かけ等の利用促進に向けた取組を評価します。 また、新型コロナウイルス感染症による行動制限等の緩和に伴い全体として利用者数が回復傾向にある中、目標値を大きく下回った系統については、引き続き利用状況の把握・分析を行い、効果的な利用促進策のほか新しい生活様式を踏まえた対策が検討されることを期待します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		北部コース東 神埼駅を起終点とし馬郡等を経由する 22.0km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったが、1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
		中部コース西 神埼駅を起終点とし姉川等を経由する 22.2km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったが、1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
		中部コース東 神埼駅を起終点とし駅ヶ里等を経由する 21.5km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったが、1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
		南部コース西 千代田支所～ジョイックス営業所を起終点とし柴尾等を経由する 20.8km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、1運行当たりの利用者数について目標を達成することが出来た。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
		南部コース東 千代田支所～ジョイックス営業所を起終点とし仲田町等を経由する 24.0km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、1運行当たりの利用者数について目標を達成することが出来た。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
		神埼～千代田線 神埼駅～千代田支所を起終点とし詫田バス停等を経由する 13.8km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったが、1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
 九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
		北部デマンド 神崎市神崎町内を区域とする	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や、地元コミュニティに向いての出前講座などを通じて利用者登録の増加を図った。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、計画運行回数に対する稼働率の目標について概ね達成することができた。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、利用促進に向けた情報発信等に引き続き努めることとしたい。		
		中部デマンド 神崎市神崎町、千代田町内を区域とする	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や、地元コミュニティに向いての出前講座などを通じて利用者登録の増加を図った。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、計画運行回数に対する稼働率の目標について概ね達成することができた。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、利用促進に向けた情報発信等に引き続き努めることとしたい。		
		南部デマンド 神崎市神崎町、千代田町内を区域とする	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や、地元コミュニティに向いての出前講座などを通じて利用者登録の増加を図った。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、計画運行回数に対する稼働率の目標について概ね達成することができた。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、利用促進に向けた情報発信等に引き続き努めることとしたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島地域公共交通活性化協議会	祐徳自動車(株):市内循環バス	市内循環バスの運行	令和5年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。	A	B	利用者のニーズ等を適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや学生・高齢者・障がい者・運転免許証自主返納者を対象とする無料運行イベント等を継続的に実施することで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に繋げる。	評価の指標は、1便あたりの利用者数(市内循環バス、高津原のりあいタクシー)、稼働率(予約型のりあいタクシー)、地区回覧、市報、市ホームページ等による広報活動に加え無料運行イベントの開催、予約型のりあいタクシーにおいては利用登録者へのDMや聞き取り調査等、利用促進やニーズ把握に取り組まれたことを評価します。今後も利用状況も把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
	(有)再耕庵タクシー:高津原のりあいタクシー	高津原のりあいタクシーの運行	令和5年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや学生・高齢者・障がい者・運転免許証自主返納者を対象とする無料運行イベント等を継続的に実施することで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に繋げる。		
	(有)再耕庵タクシー:予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(能古見線)の運行	令和5年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。また、利用者への聞き取り調査を行い、ニーズの把握を行った。	A	B	利用者のニーズ等を適切に把握し運行内容の見直しについて利用者ニーズを聞き、運行エリアの拡大を行う。他路線との乗継PRや無料運行イベント等の実施、対象地域への登録・利用方法の出前講座を実施することで、新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。		
	(有)再耕庵タクシー:予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(北鹿島線)の運行	令和5年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。また、利用者への聞き取り調査を行い、ニーズの把握を行った。	A	B	利用者のニーズ等を適切に把握し運行内容の見直しについて必要に応じて実施していく。また、利用者ニーズを聞き、停留所の見直しを行う。他路線との乗継PRや無料運行イベント等の実施、対象地域への登録・利用方法の出前講座を実施することで、新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。		
	(有)再耕庵タクシー:予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(古枝線)の運行	令和5年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。また、利用者への聞き取り調査を行い、ニーズの把握を行った。	A	B	利用者のニーズ等を適切に把握し運行内容の見直しについて必要に応じて実施していく。また、路線バスの減便に伴い利用者ニーズを聞き、運行エリアの拡大を行う。他路線との乗継PRや無料運行イベント等の実施、対象地域への登録・利用方法の出前講座を実施することで、新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。		
	(有)再耕庵タクシー:予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(古枝線)の運行	令和5年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。また、利用者への聞き取り調査を行い、ニーズの把握を行った。	A	B	利用者のニーズ等を適切に把握し運行内容の見直しについて必要に応じて実施していく。また、路線バスの減便に伴い利用者ニーズを聞き、運行エリアの拡大を行う。他路線との乗継PRや無料運行イベント等の実施、対象地域への登録・利用方法の出前講座を実施することで、新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやき町地域公共交通確保維持改善協議会	株式会社鳥栖構内タクシー	〈みやき中央線〉 大島病院～斎藤整形外科の運行	町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。	A	A	実績 1日の平均利用者数は24.4人。年間利用者数は7,570人。(R4年間利用者数 7,145人) 計画 1日の平均利用者数は24.2人。年間利用者数は7,435人。 計画と比較し、1日の平均利用者数は0.2人上回った。年間利用者数は135人上回り、昨年度実績と比べても利用者は425人増加している。 本路線は利用者が最も多い路線である。みやき中央線は、町を南北に広く縦断して、商業施設、医療施設、官公署などの主要な施設を運行しており、令和4年5月から開始した、高齢者の外出支援タクシー事業と相互補充しあえる路線であるため、利用者の増加に繋がったと推察できる。	評価の指標は、年間利用者数と1日平均利用者数。 目標を達成できなかった系統については、利用者の生活行動の分析やニーズの把握をお願いします。 特に令和4年5月から開始した高齢者向けの外出支援タクシー事業について、行きはコミュニティバス、帰りはタクシーを利用するというように双方の利用増加に繋がった地域がある一方、利用がコミュニティバスからタクシーに流れた地域もあつたことから、引き続きコミュニティバスと外出支援タクシーの相互補充のあり方をご検討されることを期待します。	
		〈三根東線〉 斎藤整形外科～土井外公民館～坂口公民館～斎藤整形外科の循環運行	町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。	A	C	実績 1日の平均利用者数は7.9人。年間利用者数は1,221人。(R4年間利用者数 1,142人) 計画 1日の平均利用者数は8.7人。年間利用者数は1,349人。 計画と比較し、1日の平均利用者数は0.8人下回った。年間利用者数は128人下回ったが、昨年度実績と比べると利用者は79人増加している。 本路線は利用者が2番目に多い路線である。三根東線は、町の南東を運行しており、利用者を中央線へと接続する事をメインに運行している。しかしながら、かつての旧町エリア内で買い物などの生活行動を完結できるようなルートも形成して運行している。本エリアは、人口減少と高齢化が、他のエリアと比較し進んでいるため、令和4年5月から開始した、高齢者の外出支援タクシー事業を利用し、地元エリア内で買い物などの生活行動を完結する利用者が増加したものと推察でき、利用者の減少に繋がったものと思われる。		
		〈中原線〉 大島病院～板部～香田～大島病院の循環運行	町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。	A	C	実績 1日の平均利用者数は6.5人。年間利用者数は1,015人。(R4年間利用者数 998人) 計画 1日の平均利用者数は7.5人。年間利用者数は1,165人。 計画と比較し、1日の平均利用者数は1人下回った。年間利用者数は150人下回っているが、昨年度実績と比べると利用者は17人増加している。 中原線は、町の北部を運行しており、利用者を中央線へと接続する事をメインに運行している。しかしながら、かつての旧町エリア内で買い物などの生活行動を完結できるようなルートも形成して運行している。本エリアは、令和4年5月から開始した、高齢者の外出支援タクシー事業を利用し、地元エリア内で買い物などの生活行動を完結する利用者が増加したものと推察でき、利用者の減少に繋がったものと思われる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
		<p>〈三根西線〉 斎藤整形外科～三根庁舎前～梅野医院前～斎藤整形外科の循環運行</p>	<p>町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。</p>	A	C	<p>実績 1日の平均利用者数は1.3人。年間利用者数は199人。(R4年間利用者数 175人) 計画 1日の平均利用者数は1.6人。年間利用者数は239人。 計画と比較し、1日の平均利用者数は0.3人下回った。年間利用者数は40人下回っているが、昨年度実績と比べると利用者は24人増加している。 三根西線は、町の南西を運行しており、利用者を中央線へと接続する事をメインに運行している。しかしながら、かつての旧町エリア内で買い物などの生活行動を完結できるようなルートも形成して運行している。本エリアは、人口減少と高齢化が、他のエリアと比較し進んでいるため、令和4年5月から開始した、高齢者の外出支援タクシー事業を利用し、地元エリア内で買い物などの生活行動を完結する利用者が増加したものと推察でき、利用者の減少に繋がったものと思われる。</p>		
		<p>〈北茂安線〉 大島病院～豆津～みやき庁舎～大島病院の循環運行</p>	<p>町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。</p>	A	A	<p>実績 1日の平均利用者数は4.3人。年間利用者数は665人。(R4年間利用者数 770人) 計画 1日の平均利用者数は3.8人。年間利用者数は587人。 計画と比較し、1日の平均利用者数は0.5人上回った。年間利用者数は78人上回っているが、昨年度実績と比べると利用者は105人減少している。 北茂安線は、町の中央部を運行しており、最も人口が多いエリアである。中央線とともに、商業施設、医療施設、官公署施設を運行しており、B&G等の町内の健康増進に資する施設にも接続しており、令和4年5月から開始した、高齢者の外出支援タクシー事業と相互補完しあえる路線であるため、利用者の増加に繋がったと推察できる。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊万里市民と考える地域交通 会議	西肥自動車株式会社	いまりんバス郊外線	・市内の病院、店舗や公共施設への時刻表の設置、市ホームページへの掲載により情報提供を行い、公共交通に対する認知向上と利用促進に取り組んだ。	A	C	・市街地と住宅地を結ぶ路線であることから、今後もチラシ配布や説明会等による運行経路等の周知、利用促進を継続する。	評価の指標は、各系統における1便あたりの利用者数。公共施設等や市ホームページによる情報提供のほか、区長会、老人会等における利用呼びかけ等の利用促進に継続して取り組まれたことを評価します。令和6年4月に策定する地域公共交通計画に基づく施策の検討にあたっては、利用者ニーズを適切に把握し、より柔軟で利便性の高い公共交通の利用促進に取り組まれ、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		いまりんバス地域線	・市内の病院、店舗や公共施設への時刻表の設置、市ホームページへの掲載により情報提供を行い、公共交通に対する認知向上と利用促進に取り組んだ。	A	C	・R4.10から経路変更を行い、利便性向上を図っていることから、今後もチラシ配布や説明会等による運行経路等の周知、利用促進を継続する。		
	特定非営利活動法人 まちづくり波多津	波多津ふれあい号	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	B	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行い、利便性向上に係るPRを通じて積極利用を呼び掛けていく。		
	大川町コミュニティ運営協議 会	コミュニティすこやかバス	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	B	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行い、利便性向上に係るPRを通じて積極利用を呼び掛けていく。		
	黒川町まちづくり運営協議会	町内巡回バスくろがわ号	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	B	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行い、利便性向上に係るPRを通じて積極利用を呼び掛けていく。		
	西肥亀の井タクシー株式会社	松浦町デマンドタクシー	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	C	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行い、利便性向上に係るPRを通じて積極利用を呼び掛けていく。		
二里町デマンドタクシー		区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	C	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行い、利便性向上に係るPRを通じて積極利用を呼び掛けていく。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐賀市地域公共交通協議会	有限会社 松原タクシー	・大和町松梅地区デマンドタクシーの運行 ・富士町コミュニティバスの運行 ・三瀬地区コミュニティバスの運行	(松梅)利用者数の増加を図るべく、自治会を通じて「べんりカー松梅号だより」を全戸配布し、利用を呼びかけた。また、利用者10万人達成セレモニーを行い機運を高めた。 (富士)地域の実情に応じた運行のため、利用者が少ない便を定時運行から予約制に変更した。また、利用がほとんどない便を減便することで経費削減を行った。一方で、小学校の要望に応えるダイヤ変更を行った。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼びかけた。 また、バス待合環境改善のため、ベンチを設置した。 (三瀬)利用者数の増加を図るべく、自治会を通じて「三瀬地区コミュニティバスだより」を全戸周知し、利用を呼びかけた。	A	B	(松梅)松梅地区デマンドタクシーだより」を全戸配布し、安心して乗車してもらえるよう、利用者数の回復を図る。 (富士)引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。 (三瀬)新高校1年生向けに資料配布を行い、通学手段として村外系統の利用を呼びかけるとともに、三瀬地区コミュニティバスだより」を全戸配布し、利用者数の増加を図る。	評価の指標は、年間利用者数。利用が少ない便の予約制導入や減便等の利用状況に応じた効率化のほか、バス待合環境の改善や小学校の要望に応じたダイヤ改正等の利便性向上の取組を評価します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	株式会社佐賀タクシー	・富士町コミュニティバスの運行	「検討会議だより」で利用状況を全戸に周知し、バス無料デー等利用促進を図った。 また、バス待合環境改善のため、ベンチを設置した。	A	B	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。		
	中央タクシー株式会社	・富士町コミュニティバスの運行	「検討会議だより」で利用状況を全戸に周知し、バス無料デー等利用促進を図った。	A	A	継続利用者確保が目標達成の主な要因であり、引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。		
	ロイヤル観光株式会社	・富士町コミュニティバスの運行	「検討会議だより」で利用状況を全戸に周知、バス無料デー等利用促進を図った。 また、小学校の要望に応えるダイヤ変更を行った。 バス待合環境改善のため、ベンチを設置した。	A	B	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
多久市地域公共交通会議	多久市	東多久立山線 「東多久～立山」間の運行 (多久市自家用有償運送)	各行事による臨時バス停設置のお知らせを車内及びバス停に掲示したほか、台風・大雪等による運休については、HPだけでなく、行政無線や防災メールでもお知らせし利用者の利便性向上に努めた。	A	C	新型コロナウイルス感染症流行以前の利用者数に戻り切れていない。 HPへの情報の掲載を随時行うとともに、路線の改正を検討する等、利用者にとって便利なバスを目指し、利用者の増加に努める。	評価の指標は、1日の平均利用者数。 目標を達成できなかった要因について、利用者の生活行動の分析やニーズの把握を行い、次期の取組に反映されることを期待します。 令和7年7月の公立佐賀中央病院の開業に向けた病院へのアクセスをはじめとする市内交通ネットワークの見直しにおいては、これまで把握された課題と利用者ニーズを踏まえ持続可能な旅客運送サービスの提供が目指されることを期待します。	
		西多久納所線 「西多久～納所」間の運行 車両減価償却費等国庫補助金 (多久市自家用有償運送)	各行事による臨時バス停設置のお知らせを車内及びバス停に掲示したほか、台風・大雪等による運休については、HPだけでなく、行政無線や防災メールでもお知らせし利用者の利便性向上に努めた。	A	C	新型コロナウイルス感染症流行以前の利用者数に戻り切れていない。 HPへの情報の掲載を随時行うとともに、路線の改正を検討する等、利用者にとって便利なバスを目指し、利用者の増加に努める。		
		南多久岸川線 「南多久～岸川」間の運行 車両減価償却費等国庫補助金 (多久市自家用有償運送)	各行事による臨時バス停設置のお知らせを車内及びバス停に掲示したほか、台風・大雪等による運休については、HPだけでなく、行政無線や防災メールでもお知らせし利用者の利便性向上に努めた。	A	C	新型コロナウイルス感染症流行以前の利用者数に戻り切れていない。 HPへの情報の掲載を随時行うとともに、路線の改正を検討する等、利用者にとって便利なバスを目指し、利用者の増加に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
		(1)波戸岬 【呼子～名護屋浜・名護屋城～波戸岬国民宿舎】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	C	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(2)加部島 【呼子～加部島杉村】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	B	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(3)呼子台場 【呼子～呼子台場みなとプラザ】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(4)呼子・名護屋浜 (小友・名護屋浜) 【呼子～小友・名護屋浜～呼子】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(5)呼子・加部島 【呼子～加部島杉村～呼子】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	B	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(6)呼子・波戸岬 【呼子～名護屋城址～波戸岬国民宿舎】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(7)星賀 【入野～星賀】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	B	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために日中のオンデマンド化も含め路線の再編を見直す予定。また、利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費用国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	(8)納所 【入野～納所】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために日中のオンデマンド化も含め路線の再編を見直す予定。また、利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。	評価の指標は、系統毎の形状収支率及び輸送人員。県のバス無料デーへの参加による利用促進や通学フリー定期券の価格改定による収益改善により、一部の系統で目標を達成されたことを評価します。一方で、目標を達成できなかった系統に関しては、令和6年4月の路線再編後の利用状況を踏まえつつ、利用者の生活行動の分析やニーズの把握が行われることを期待します。令和6年1月に策定した利便増進実施計画に基づく施策の実施により、更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービスの提供を確保されることを期待します。	
		(9)高串 【入野～高串】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために日中のオンデマンド化も含め路線の再編を見直す予定。また、利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(10)京泊・納所(ジャンボ)(火・木・土) 【波戸内広場～納所～入野】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために日中のオンデマンド化も含め路線の再編を見直す予定。また、利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(11)瓜ヶ坂・高串(ジャンボ)(火・木・土) 【入野～高串福祉センター前～黒崎】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために日中のオンデマンド化も含め路線の再編を見直す予定。また、利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(12)駄竹・星賀(ジャンボ)(月・水・金) 【駄竹～星賀～入野】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のためにオンデマンド化も含め路線の再編を見直す予定。また、利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(13)市内東 【唐津駅～シーサイド前～唐津駅】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(14)市内西 【大手口～りふれ・済生会病院前～唐津駅】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	B	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
		(15)市内南 【大手口～唐津赤十字病院前～唐津駅】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(16)市内南 【赤十字病院線】 【大手口～唐津駅・アルビノ～唐津赤十字病院】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	B	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(17)イオン 【大手口～用尺南～イオン前】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(18)市内 (大手口～大島液化ガス) 【大手口～まいづるCARROT店～大島液化ガス】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(19)市内(大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド) 【大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(20)市内(大島液化ガス～百人町～市民グラウンド) 【市民グラウンド～百人町～大島液化ガス】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	B	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(21)市内(大島液化ガス～唐津東中高前) 【大島液化ガス～大手口～唐津東中高前】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	C	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
		(22)市内(唐津フェリーターミナル～大手口) 【唐津フェリーターミナル～西唐津駅前～大手口】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	A	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(23)志気(市民病院きたはた～志気) 【市民病院きたはた～志気】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	C	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		
		(24)成瀬(市民病院きたはた～成瀬) 【市民病院きたはた～成瀬上】	本年度は利用促進策として佐賀県の主導のもと、佐賀県内路線無料デーを実施した。また、収益改善策として通学フリー定期券の価格改定を行った。	A	C	R6.4に唐津地域利便増進実施計画に基づき、運転士不足と改善基準告示改正に対応するとともに、持続可能な公共交通構築のために路線再編を実施する予定。また、利用促進策として広報紙の特集を実施。利便性向上のために唐津地域を対象としたデジタルチケットの販売を計画している。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
基山町地域公共交通活性化 協議会	有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～憩の家～基山駅系統(4便)	<ul style="list-style-type: none"> ・瀧光徳寺・若基小学校前にバス停を新設することで、利用者への利便性向上及びより安全な運行の実施に努めた ・コミュニティバス便利帳を全戸配布することにより、免許証自主返納者に対する運賃無料化や回数券、フリーバスの販売について周知を行った。 ・福祉課が実施するアンケート及び町広報誌でお試し乗車券の配布を行い、利用促進を図った。 ・移動制約者への対応として、小学生フリーバスの新規作成及び高齢者を対象とした回数券の割引率拡大を実施。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度実施した乗込調査を引き続き実施し、バス利用者から意見聴取を行うほか、運行ダイヤ、ルート等についても必要に応じて検討し、コミュニティバスの利便性向上に努める。 ・福祉課と連携し、コミバス乗車体験や参加者へのアンケートを行うことで、新規利用者をはじめとした利用者数の増加につなげる。 	<p>評価の指標は利用者数。利用者ニーズを踏まえたバス停留所の新設、小学生フリーバスや高齢者回数券の割引率拡大等の利用促進のほか、お試し乗車券の配布による新規利用の開拓等様々な対策を通じて目標達成に繋げたことを評価します。</p> <p>引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	
		【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～基山駅系統(1、2便)						
		【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～憩の家～基山駅系統(3便)						
		【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～憩の家～基山駅系統(6、8便)						
		【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～憩の家～基山駅系統(7、9、10便)						
		【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～基山駅系統(5便)						
		【2号車】月水金1便(園部通学便～長野～宮浦～中心部～本桜～園部～中心部)						
		【2号車】月水金2便(宮浦～本桜～園部～本桜～長野～宮浦)						
		【2号車】月水金3便(本桜～長野～中心部～本桜～園部)						
		【2号車】月水金4便(中心部～本桜～長野～中心部～宮浦～園部)						
		【2号車】火木土1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～本桜～園部～中心部)						
【2号車】火木土2便(長野～本桜～園部～宮浦～本桜)								
【2号車】火木土3便(長野～本桜～園部～中心部～本桜～宮浦)								
【2号車】火木土4便(中心部～本桜～園部～中心部～宮浦～長野)								

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
 九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
有田町地域公共交通会議	(有)有田タクシー 西肥亀の井タクシー(株)	有田町曲川・大山地区における 区域運行 登録者住宅～有田町役場等間を 1日6便運行	制度定着に向けて広報、周知に取り組み、利用 促進を図った。	A	A	免許返納促進及び返納者の利用促進を図る。 高齢者サロン等での周知も引き続き実施していく。	評価の指標は、年間利用者数。 各地の高齢者サロンや老人会での広報・ 周知等の利用促進に取り組み、目標を 達成されたことを評価します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善 点が着実に解決されることにより、持続可 能な旅客運送サービスが提供されること を期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
 九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
吉野ヶ里町地域公共交通活性化協議会	吉野ヶ里観光タクシー有限会社	<p>系統名:循環線 運行区間:吉野ヶ里町全域及び上峰町の一部 運行形態:事前登録制、予約制、乗合により、自宅と指定施設間を運行する、デマンド型乗合タクシー。8時台～16時台の1時間に1便(最大1日9便)、予約のあった場合のみ運行。 運行日:平日 運休日:土日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)</p>	<p>【反映】 町の広報誌、町のホームページ等での周知し、町の民生委員に対しアンケート調査を実施し、利便性の向上に努めた。</p>	A	A	<p>高齢化に伴う自動車免許返納者の増加、上峰町内5施設への乗り入れ等により、利用者数は増加傾向にある。今後も、広報、周知に取り組み、町民移動ニーズを把握し、利便性の向上に努め、利用者増を図る。</p>	<p>評価の指標は、交通結節点での乗降客数。 広報誌やホームページによる周知や民生委員へのアンケート調査等による利用ニーズの把握に取り組み、目標を達成されたことを評価します。 今後も利用状況の把握・分析に努めていただくとともに、令和5年10月からAI予約システムを導入したデマンドタクシーの利用状況も踏まえた検討を通じて、持続可能な旅客運送サービスの提供を目指されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
太良町地域公共交通活性化協議会	株式会社再耕庵タクシー	多良地区:伊福・片峰線 曜日運行(月、水、金) 1日4便(2回)	・住民アンケート調査、乗降調査、意見交換会を実施(令和5年7~10月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	C	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、目標を達成できるよう新たな利用者の発掘を行い、利用者増加につなげる。	評価の指標は、1日あたり乗車人数。目標達成に至らなかった系統があったものの、住民アンケート調査、乗降調査、地元関係者との意見交換等により利用ニーズの把握に努め、今後の施策に繋げられたことを評価します。令和6年4月に策定する地域公共交通計画に基づく施策の検討にあたっては、利用者ニーズを適切に把握し、より柔軟で利便性の高い公共交通の利用促進に取り組まれ、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		多良地区:中山線 曜日運行(月、水、金) 1日4便(2回)	・住民アンケート調査、乗降調査、意見交換会を実施(令和5年7~10月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、目標を達成できるよう新たな利用者の発掘を行い、利用者増加につなげる。		
		多良地区:端月・川北線 曜日運行(月、水、金) 1日4便(2回)	・住民アンケート調査、乗降調査、意見交換会を実施(令和5年7~10月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	C	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、さらなる利用者増加につなげる。		
		多良地区:中尾線 曜日運行(月、水、金) 1日4便(2回)	・住民アンケート調査、乗降調査、意見交換会を実施(令和5年7~10月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	C	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、さらなる利用者増加につなげる。		
		大浦地区:広谷・多良線 曜日運行(木、土) 1日2便(1回)	・住民アンケート調査、乗降調査、意見交換会を実施(令和5年7~10月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	A	アンケートや利用者や沿線地域住民の意見を踏まえ、運行内容の改善点の把握に努め、運行便数の見直し等利用促進に係る取り組みを行う。		
		大浦地区:広谷線 曜日運行(木、土) 1日4便(2回)	・住民アンケート調査、乗降調査、意見交換会を実施(令和5年7~10月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	C	アンケートや利用者や沿線地域住民の意見を踏まえ、運行内容の改善点の把握に努め、路線等の見直し、住民説明の強化等利用促進に係る取り組みを行う。		
		大浦地区:道越・多良線 曜日運行(火、木) 1日2便(1回)	・住民アンケート調査、乗降調査、意見交換会を実施(令和5年7~10月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	C	アンケートや利用者や沿線地域住民の意見を踏まえ、運行内容の改善点の把握に努め、運行便数の見直し等利用促進に係る取り組みを行う。		
		大浦地区:道越巡回線 曜日運行(火、木) 1日4便(4回)	・住民アンケート調査、乗降調査、意見交換会を実施(令和5年7~10月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	C	アンケートや利用者や沿線地域住民の意見を踏まえ、運行内容の改善点の把握に努め、路線等の見直し、住民説明の強化等利用促進に係る取り組みを行う。		
		大浦地区:今里・多良線 曜日運行(火、土) 1日2便(1回)	・住民アンケート調査、乗降調査、意見交換会を実施(令和5年7~10月) ・運賃の値下げ(令和5年10月) ・一部路線の変更、牛尾呂公民館前バス停の廃止、時刻の変更(令和5年10月)	A	C	アンケートや利用者や沿線地域住民の意見を踏まえ、運行内容の改善点の把握に努め、運行便数の見直し等利用促進に係る取り組みを行う。		
		大浦地区:今里線 曜日運行(火、土) 1日4便(4回)	・住民アンケート調査、乗降調査、意見交換会を実施(令和5年7~10月) ・運賃の値下げ(令和5年10月) ・一部路線の変更、牛尾呂公民館前バス停の廃止、時刻の変更(令和5年10月)	A	C	アンケートや利用者や沿線地域住民の意見を踏まえ、運行内容の改善点の把握に努め、路線等の見直し、住民説明の強化等利用促進に係る取り組みを行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大町町地域公共交通会議	大町町	大町町コミュニティバス 「まちバス」の運行 【系統名】 南北ルート(不動寺～大町駅～ト ライアル)	前回の事業評価結果では、商業施設最寄りの バス停利用者が目標達成度約85%で未達成で あった。 商業施設利用者を増やす取り組みとして、令和4 年10月から大型商業施設『トライアル』での買い 物時間を長くとれるように時刻の変更を行った。 (R4.10) この改善により、商業施設利用者数は目標を達 成できなかったものの、達成まであと一歩であっ た。(R4年度実績と比較して約200人増)	A	B	【今後の改善点】 東西ルートと比較すると乗車実績は低い状況にある。定時 定路線以外での対応も視野に入れ検討していく。 現在、利用者がほとんどないバス停周辺住民への利用を 呼びかけるとともに、より多くの利用可能性が見込める場 所へのバス停移設を検討する。 トライアルへの出入りに時間を要するため、町道への乗り 入れ口の 신설について、より利便性が高くなるよう事業者 も巻き込んで取り組んでいく。	評価指標は、ルート別1日あたり利用者数 と、商業施設、医療機関、文化・娯楽施設 の最寄りバス停の利用者数。 目標の一部は達成に至らなかったもの の、利用者の生活行動を踏まえ大型商業 施設での買い物時間を長く取れるようにダ イヤの見直しを行ったほか、利用の少な い午後の便の利用促進のため下校時の 高校生へコミュニティバス利用を呼びかけ る等、積極的な利用促進に取り組まれた ことを評価します。	
		大町町コミュニティバス 「まちバス」の運行 【系統名】 東西ルート(大町町役場～大町 駅～トライアル)	前回の事業評価結果では、商業施設最寄りの バス停利用者が目標達成度約85%で未達成で あった。 商業施設利用者を増やす取り組みとして、令和4 年10月から大型商業施設『トライアル』での買い 物時間を長くとれるように時刻の変更を行った。 (R4.10) この改善により、商業施設利用者数は目標を達 成できなかったものの、達成まであと一歩であっ た。(R4年度実績と比較して約200人増)	A	B	【今後の改善点】 現在、利用者がほとんどないバス停もあり、周辺住民への 利用の呼びかけ、利用の可能性のある場所へのバス停移 設も検討する。 トライアルの出入りに時間を要するため、町道への乗り入 れ口の 신설について、より利便性が高くなるよう事業者も 巻き込んで取り組んでいく。	引き続き、協議会が設定する今後の改善 点が着実に解決されることにより、持続可 能な旅客運送サービスが提供されること を期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎市公共交通活性化協議会	株式会社 琴海タクシー	西海町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図った	A	A	路線バスの路線廃止に伴い学生の利用が増えているため、予約状況を注視し、実態に応じた運行内容を検討する	評価指標は、1便当たりの利用者数。路線バスの廃止やニュー琴海病院の送迎バス廃止に伴い、乗合タクシーの利用について、今後も運行内容の周知徹底や実態に応じた運行内容の見直しを行うなど、利用者増に向けた利便性向上の取組を行うことを期待します。	
		琴海村松町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図った	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗り合い人数を増加させる手法を検討する		
		琴海戸根町・琴海戸根原町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図った	A	A	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗り合い人数を増加させる手法を検討する		
		長浦町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図った	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗り合い人数を増加させる手法を検討する		
		琴海形上町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図った	A	B	ニュー琴海病院の送迎バス廃止に伴い通院者の利用が増えているため、予約状況を注視、実態に応じた運行内容を検討する		
		琴海尾戸町・琴海大平町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図った	A	A	ニュー琴海病院の送迎バス廃止に伴い通院者の利用が増えているため、予約状況を注視、実態に応じた運行内容を検討する		
	長崎県交通局	東部地区の運行	初評価	A	A	自治会回覧等で運行内容の周知や利用促進を継続する	評価指標、1便当たりの利用者数。運行を開始し、目標達成に向け運行内容の周知等を行い目標達成されたことは大いに評価します。今後も利用者の状況を確認しながら持続可能な公共交通となることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐世保市地域公共交通会議	西肥自動車株式会社	岩下洞穴・瀬戸越団地線	地元住民代表・行政・交通事業者による「交通対策協議会」において、サービス面の見直しなど利便性向上に向けた検討会議を行っている。 自治会の会議等で周知するなど、沿線町内会を通じたPR活動や専用回数券の継続利用などで、利用者の維持に努めた。	A	B	新型コロナウイルスの影響による利用者減少が続いている。今後はこれまでに引き続き、利用者の利便性向上や利用促進のため、地元住民代表と交通事業者、行政による「交通対策協議会」を開催し、利用促進に向けた取り組みを行い、利用者の増加を図る。	評価指標は、1回当たりの平均乗客数。 地元住民代表等による交通対策協議会を定期的に開催し、バスの利用状況等の情報共有、改善策を協議されるなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 引き続き、利用実態を把握し、利便性向上や利用促進に取り組んでいただき、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 富の原・協和町線 (野岳入口)	事業評価結果を 反映することができた。	A	B	R5.5.8から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、少しずつ輸送人員が回復していくことも期待されるが、今後も利用動向を注視しつつ、適切なダイヤ設定を行い、利便性の向上に努めたい。	評価の指標は、平均乗車密度。 新大村駅を起終点とする系統の見直しや運行時間の見直しなど利用促進に向けた取組を行っていることについて評価します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通が構築されることを期待します。	
		地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 富の原・協和町線 (黒丸入口)	事業評価結果を 反映することができた。	A	A	引き続き地域に最適で持続可能な移動手段の確保に努めたい。		
		地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 南部循環線	事業評価結果を 反映することができた。	A	A	引き続き地域に最適で持続可能な移動手段の確保に努めたい。		
		地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 小路口・諏訪線	事業評価結果を 反映することができた。	A	B	R5.5.8から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、少しずつ輸送人員が回復していくことも期待されるが、今後も利用動向を注視しつつ、適切なダイヤ設定を行い、利便性の向上に努めたい。 また、R5.4.1から新大村駅を起終点とし、小路口東、竹松アパート前を経由するルートに変更を行ったが、従来のルートよりも平均乗車密度が減少していた。今後も、利用実績の動向を十分検証していきたい。		
		地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 北部循環線	事業評価結果を 反映することができた。	A	B	R5.4.1から運行時間の変更を行ったものの、十分な利用者数の増加につながらなかった。 今後も路線のPRを継続しつつ、利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行うこととする。その状況を見ながら、今後の目標数値の設定についても検討を行うこととする。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
平戸市愛のり交通活性化委員会	平戸市	市ふれあいバス (紐差-宮の浦線)	・目標に対する評価 ⇒収支率を前年比1%増加 ※(前回)R4年度収支率:8.5%	A	B	①引き続き交通事業者や高校、病院等と協議し、利便性の良いダイヤの検討、接続強化を図る。 ②乗換検索システムを構築し、地元住民だけでなく、観光客に対しても利用しやすい環境を整える。 ③キャッシュレス決済の導入により、支払手段を拡大することで、利用者確保を目指すとともに、事業者や行政の事務負担軽減に努める。	評価の指標は、収支率を前年比1%増加。 目標値である収支率については達成出来なかったものの、学生を中心に利用者が増加しており、営業収益が増加していることは評価します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
松浦市地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	路線バスの運行 (鹿島(阿翁浦線))	協議会や分科会等を通じて運行事業者や地域住民と情報交換を行っている。 松浦市地域公共交通計画ではバス利用者数の令和8年度(計画最終年度)の目標値を11,601人に設定しており、利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階において協議会において検討する。	A	B	収支率低下の要因は、島内の人口減少及び自家用車の普及に加え、近年は新型コロナウイルスの感染拡大、原油高に伴う燃料費の高騰など、様々な要因が考えられる。 今後は、コロナ禍の収束に伴い、利用促進策の強化を図るとともに、需要が低迷するバス路線の最適化を推進していく。	評価の指標は、路線毎の収支率。 協議会や分科会等を通じて運行事業者や地域住民と情報交換を行っていることについては評価します。 今後島内の人口減少が進む中、利用状況の把握や分析を行い、地域公共交通計画の施策が着実に実施され、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	鹿島タクシー	乗合タクシーの運行 (阿翁浦線)	松浦市地域公共交通計画では乗合タクシー利用者数の令和8年度(計画最終年度)の目標値を8,206人に設定しており、利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	B	収支率低下の要因は、島内の人口減少及び自家用車の普及に加え、近年は新型コロナウイルスの感染拡大、原油高に伴う燃料費の高騰など、様々な要因が考えられる。 今後は、コロナ禍の収束に伴い、利用促進策の強化が必要である。		
		乗合タクシーの運行 (鹿島の浦線)	松浦市地域公共交通計画では乗合タクシー利用者数の令和8年度(計画最終年度)の目標値を8,206人に設定しており、利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	B	収支率低下の要因は、島内の人口減少及び自家用車の普及に加え、近年は新型コロナウイルスの感染拡大、原油高に伴う燃料費の高騰など、様々な要因が考えられる。 今後は、コロナ禍の収束に伴い、利用促進策の強化が必要である。		
		乗合タクシーの運行 (船着津線)	松浦市地域公共交通計画では乗合タクシー利用者数の令和8年度(計画最終年度)の目標値を8,206人に設定しており、利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	B	収支率低下の要因は、島内の人口減少及び自家用車の普及に加え、近年は新型コロナウイルスの感染拡大、原油高に伴う燃料費の高騰など、様々な要因が考えられる。 今後は、コロナ禍の収束に伴い、利用促進策の強化が必要である。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
対馬市地域公共交通活性化協議会	厳原タクシー(南) 南北厳原タクシー ホテル対馬線	権根～厳原間予約制乗合タクシーの運行 権根・厳原線	75歳以上への公共交通利用券(500円×12枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	B	引き続き対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×12枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。また、仲間と一緒に外出すること等、新たな外出目的を提案し、新たな利用者の増加、1運行あたりの利用者数増加につながる取組を検討する。	評価の指標は、1便当たりの利用者数。定時路線から時間帯の運行へ変更するなど利用者の要望や実態に合わせた利便性向上の取組について評価します。現在75才以上の方への公共交通利用券の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図っているが、他の利用者のニーズも把握した上で、協議会が設定する今後の改善点が着実に実施されることを期待します。	
	対馬市	田ノ浜～檉滝間コミュニティバスの運行 田ノ浜・檉滝線	75歳以上への公共交通利用券(500円×12枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。前計画期間終盤に、定時運行から時間帯運行へ変更したことにより利便性が向上し、本計画期間中には利用者の増に繋がった。	A	A	引き続き対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×12枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。また、診療所の受診日集約の調整などにより、1運行あたりの利用者数増加につながる取組を検討する。		
		田ノ浜～佐賀間コミュニティバスの運行 田ノ浜・佐賀線	75歳以上への公共交通利用券(500円×12枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	B	引き続き対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×12枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。		
	嵯美津島タクシー	難知～緒方間予約制乗合タクシーの運行 難知・緒方線	地域からの要望に応じ、運行時刻の変更を行った。75歳以上への公共交通利用券(500円×12枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	B	引き続き対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×12枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。また、仲間と一緒に外出すること等、新たな外出目的を提案し、新たな利用者の増加、1運行あたりの利用者数増加につながる取組を検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
五島市公共交通活性化再生協議会	丸濱産業有限会社	五島市奈留島内5系統運行	奈留島のバス路線を補助する形で乗合タクシーを運行していたが、令和5年9月末で路線バスが運行を終了することになり、代替の交通として島全土を網羅する予約制乗合タクシーを導入したためバス同様乗合タクシーも廃止する運びとなった。	A	B	令和5年10月より予約制乗合タクシーを導入しているため、他地区同様広報紙や戸別訪問を行い周知を図るとともに、利用者アンケートを行い、地域住民の移動に関するニーズや利用満足度等を把握し、よりよい運行形態となるよう努める。	評価指標は、奈留島地区は年間運行回数、それ以外の地区は年間利用者数。利用者のニーズに合わせた運行の見直しや時刻表の刑事、広報紙や戸別訪問等で利用促進を図っていることについて評価します。引き続き利用状況の把握や分析を行い、持続可能な公共交通となることを期待します。	
	松本 勝久(久賀タクシー)	五島市久賀島内17系統運行	アンケート結果を元に路線や曜日変更等の調整を行った。その結果、利便性を向上させることができ、目標としていた利用者数を上回る結果となった。	A	A	今後も引き続き利用者数拡大を目指し、運行事業者や地域町内会と連携し利用促進に取り組む。		
	五島自動車株式会社	五島市福江島内1系統運行(空港線)	五島つばき空港や福江港ターミナルに時刻表を掲示するとともに運行事業者のホームページで継続して周知を行っている。	A	B	引き続き五島つばき空港や福江港ターミナルに時刻表を掲示するとともに運行事業者のホームページで周知を図る。		
	五島自動車株式会社	五島市富江地区1系統運行(区域運行)	利用者アンケートを行い、利用状況や改善点などに関する意見の調査を行っている。また、広報紙や戸別訪問等で周知、利用促進を図った。	A	A	広報紙や戸別訪問を行い周知を図るとともに、利用者アンケートを行い、地域住民の移動に関するニーズや利用満足度等を把握し、よりよい運行形態となるよう努める。		
	有限会社ばらもんタクシー	五島市岐宿地区1系統運行(区域運行)	利用者アンケートを行い、利用状況や改善点などに関する意見の調査を行っている。また、広報紙や戸別訪問等で利便性向上、利用促進を図った。	A	B	広報紙や戸別訪問を行い周知を図るとともに、利用者アンケートを行い、地域住民の移動に関するニーズや利用満足度等を把握し、よりよい運行形態となるよう努める。		
	有限会社ばらもんタクシー	五島市福江地区1系統運行(区域運行)	利用者アンケートを行い、利用状況や改善点などに関する意見の調査を行っている。また、広報紙や戸別訪問等で利便性向上、利用促進を図った。	A	A	広報紙や戸別訪問を行い周知を図るとともに、利用者アンケートを行い、地域住民の移動に関するニーズや利用満足度等を把握し、よりよい運行形態となるよう努める。		
	株式会社大波止タクシー	五島市富江地区1系統運行(太田～富江線)	ボランティア運行をされていた方々や事業者と協議を進め、移動手段が不足していた地区へ乗合タクシーを導入した。広報紙での周知、利用促進を図った。	A	B	利用促進活動に取り組み、路線の維持継続に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社	①浜串～有川線 有川港ターミナル～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	評価の指標は、1往復当たりの利用者数。 自己評価については、ニュースレターや電子書籍化によるインターネットでの周知など利用促進についての取組について評価します。 今後は、利用実態の把握・分析を行うとともに、利便性向上や利用促進に取り組んでいただき、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		②浜串～有川線 浜串入口～有川港ターミナル間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
		③江の浜線1 有川港ターミナル～頭ヶ島協会間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
		④江の浜線2 有川港ターミナル～江の浜間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
		⑤江の浜線3 頭ヶ島協会～青島間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
		⑥江の浜線4 青方～江の浜間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	評価の指標は、1往復当たりの利用者数。 自己評価については、ニュースレターや電子書籍化によるインターネットでの周知など利用促進についての取組について評価します。 今後は、利用実態の把握・分析を行うとともに、利便性向上や利用促進に取り組んでいただき、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		⑦鯛の浦線1 鯛ノ浦～有川港ターミナル間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
		⑧神之浦線1 有川港ターミナル～千切間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
		⑨神之浦線2 有川港ターミナル～千切間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
		⑩神之浦線3 有川港ターミナル～千切間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
		⑪神之浦線4 有川港ターミナル～浜串入口間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
		⑫神之浦線5 浜串～有川港ターミナル間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(ライダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草市公共交通活性化協議会	産交バス(株)	本渡市街地循環線(のってみゆうかー)の運行	公共交通乗り方教室を開催し、市内小学校等6箇所 で低学年中心に144人参加。バスに関する学習や実車 による乗車体験を実施した。 また、新たな需要の掘り起こしとして、高齢者福祉行政 と連携し、高齢者グループ代表者等の集いの場に積極 的に出向き、乗り方教室等PR活動を行った。	A	A	公共交通乗り方教室等の利用促進の取組みを継続的に実施する。 また、高齢者福祉行政に加え、他分野との連携の可能性を模索し、更なる 広報活動の充実を図っていく。	評価の指標は、年間利用者数及び1便当たり利用 者数。 高齢者福祉行政と連携した高齢者向けのPR活動の 実施など、公共交通の利用促進の取組みを評価 します。 今後も地域の関係者の連携と協働による「共創」の 取組みの推進を期待します。 目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに 利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を 行うことが重要です。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の 改善点が着実に解決されることを期待します。 今後も、令和5年3月策定の地域公共交通計画に基 づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されるこ とを期待します。	
	株式会社 株有明タクシー 株TaKuRoo 南ハールタクシー 天草タクシー株 株本渡港運送店 南大門港タクシー 株絆	有明町補苜線(天草市乗合タクシー)の運行	アフターコロナを見据え、改めて対象地区全戸にチラシ の配付、市公共施設へのチラシ掲示・配備等による広 報活動に努めた。	A	C	利用状況を踏まえ、市の公共交通における位置付けの見直しを検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・ゆるっとバス白水ルート (白川水源入口・温泉センターウケス経由) 高森駅前～立野駅 (R4.10.1～R5.7.15)	利用者からの要望、意見等を随時受け、ニーズの把握を行うとともに、平成28年熊本地震にかかる仮設住宅の撤去や南阿蘇鉄道全線運転再開などにあわせた運行ルートやダイヤの見直しを適宜行い、公共交通の確保に努めた。	A	A	南阿蘇鉄道全線運転再開により利用者の減少が懸念されるが、利用者の動向など現状把握に努め、利便性向上の為にダイヤ改正やルートの見直しを行い、他の交通モードとの接続強化に努め、より効果的で利便性の高い公共交通体系の構築に取り組む。	評価の指標は、年間利用者数。 公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことを評価します。 今後も地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進を期待します。 目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 今後も、令和4年3月改定の地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	産交バス(株)	・ゆるっとバス白水ルート (白川水源入口経由) 高森駅前～立野駅 (R4.10.1～R5.7.15)		A	A			
	産交バス(株)	・ゆるっとバス久木野ルート (あそ望の郷・温泉センターウケス経由) 高森駅前～立野駅 (R4.10.1～R5.7.15)		A	A			
	産交バス(株)	・ゆるっとバス久木野ルート (あそ望の郷経由) 高森駅前～立野駅 (R4.10.1～R5.7.15)		A	A			
	産交バス(株)	・ゆるっとバス白水ルート (白川水源入口・温泉センター・瑠璃経由) 高森駅前～立野駅 (R5.7.16～R5.9.30)		A	A			
	産交バス(株)	・ゆるっとバス白水ルート (白川水源入口経由) 高森駅前～立野駅 (R5.7.16～R5.9.30)		A	A			
	産交バス(株)	・ゆるっとバス久木野ルート (あそ望の郷・長陽駅前経由) 高森駅前～南阿蘇村役場 (R5.7.16～R5.9.30)		A	A			
	南阿蘇観光タクシー 南高森駅前タクシー (共同運行)	・地獄・垂玉線(阿蘇下田城駅～地獄・垂玉温泉間) ・予約制 ・熊本地震の影響により運行休止中(R4.10.1～R5.9.30)	平成28年熊本地震以降、南阿蘇鉄道が復旧中であったため運行休止となっている。	—	—	他の公共交通も含め、地域の実情に沿って運行の見直しを行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
合志市地域公共交通協議会	熊本電気鉄道(株)	レターバス(北ルート1便目、8便目)	バスロケーションシステム バスキタくまさんの導入により利便性の向上を図った。利用促進の取り組みとして、地域の高齢者団体へ公共交通の利用案内や、マイ時刻表による乗り換え案内を実施した。	A	C	目標値に対し、結果は下回っている。 交通渋滞による運行の遅延や移動のニーズに対応するため、ダイヤの見直し等、利便性向上の取り組みを実施し、持続可能な公共交通を目指す。 また、運行路線についても、次年度以降見直しを行い、より地域のニーズにあった路線の構築を目指し、利便性の向上を図る。	<p>評価の指標は、①市内外の移動での円滑な乗り継ぎに関する市民満足度、②年間利用者数、③公共交通機関利用者の割合、④市民一人当たりの運行委託料。</p> <p>目標達成のため、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進に期待します。</p> <p>目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p> <p>現在策定中の地域公共交通計画に基づき、今後も持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
水俣市地域公共交通会議	産交バス(株)	水俣駅・葛彩館線 (水俣駅前～水俣市役所・ 渡野～葛彩館)	年間利用者数の減少率を抑制するため、昨年度に引き続き、「みなくるバス運賃無償化事業」を継続して実施。	A	A	令和6年度に地域公共交通計画を改定し、利便性と効率性の最適化が図られた実効性のある計画とするともに、当該計画に基づき、運行事業者と連携しながら路線の見直しなどを行っていく。	<p>評価の指標は、年間利用者数の減少率の抑制。</p> <p>公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことを評価します。 今後も地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進を期待します。</p> <p>目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p> <p>次年度、協議会での関係者による協議を経て、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにしたマスタープランとして、地域公共交通計画が策定されることを期待します。</p>	
	産交バス(株)	水俣駅・大川線 (水俣駅前～深川・愛林館前～大川公民館前)		A	A			
	産交バス(株)	流合橋経由招川内・茂道線 (招川内～流合橋・水俣駅前～茂道漁港)		A	A			
	産交バス(株)	頭石経由招川内・茂道線 (招川内～頭石・水俣駅前～茂道漁港)		A	A			
	産交バス(株)	木臼野経由水俣市役所・水俣駅線 (水俣市役所～梅戸・木臼野～水俣駅前)		A	A			
	産交バス(株)	水俣市役所・木臼野線 (水俣市役所～梅戸・茂川～木臼野上)		A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長洲・荒尾地域公共交通活性化協議 会	(有)ながすタクシー	長洲町予約型タクシー(きんぎょタクシー)の運行 (長洲町内全域及び荒尾市・玉名市の特定施設)	長洲・荒尾地域内フィーダー系統確保維持計画どおり 長洲町予約型乗合タクシー(きんぎょタクシー)を運行し た。また、令和3年4月から実施している玉名市への運 行や、運転免許証返納をした高齢者への1年間の無料 乗車券配布などを引き続き実施しており、日常生活に 必要不可欠な移動手段の確保を図った。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響で減少した利用者数がぎりぎり回復しき れず、利用者数増加の目標は達成できなかった。今後は、R5年度中に策定 予定である「長洲町地域公共交通計画」に位置付ける各事業を展開するこ とにより、きんぎょタクシーの利便性を更に高め、利用者数の増加を図る。	評価の指標は、年間利用者数及び財政負担額。 目標達成のため、地域の関係者の連携と協働によ る「共創」の取り組みの推進に期待します。 目標・効果達成状況の記載については、利用者の 増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが 重要です。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の 改善点が着実に解決されることを期待します。 現在策定中の地域公共交通計画に基づき、今後も 持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期 待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
益城町地域公共交通会議	<p>福田地区デマンド型乗合タクシー 熊交観光タクシー(株) (有)光洋タクシー</p>	<p>福田地区～指定停留所13箇所への予約型運行 (1日6便、日曜祝日年末年始は運休)</p>	<p>令和4年3月に福田地区デマンド型乗合タクシーの利用者に対するヒアリング調査を実施し、令和4年10月より、1日6便から8便、指定停留所数を4か所から13か所に変更した。併せて、地域への説明会等の広報活動を通して事業の周知を実施した。</p>	A	B	<p>利用状況を注視しながら、広報活動やさらに見直しが必要な部分等についても柔軟に検討していく。広報においては、主な利用者層である高齢者にわかりやすいものを意識する。 また、今回の輸送実績を踏まえ、目標値についても再検討する。</p>	<p>評価の指標は、年間利用者数。 目標達成のため、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進に期待します。 目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 今後も、令和3年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	
	<p>木山・広安循環線(左回り・右回り) 産交バス(株)</p>	<p>木山産交～益城病院前～古閑南～木山産交 (1日15便、年末年始は特別ダイヤ)</p>	<p>令和5年5月より役場庁舎移転に伴い、運行ルートの一部を変更した。また、令和4年8月に路線バスと自転車の結節機能の充実のため「益城町駐輪場整備計画」の策定し、現在整備を進めている。</p>	A	C	<p>令和6年4月から運行内容を変更し、地域への説明会等の広報活動を実施する。運行内容変更の検討においては、町内の復興状況や都市計画事業の進捗に対応した路線となるよう進める。 また、今回の輸送実績を踏まえ、目標値についても再検討する。</p>		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
宇土市地域公共交通活性化協議会	(有)中川タクシー	ミニバス網津緑川線の運行	コロナ禍で減少したコミュニティ交通の利用促進のため、運行開始10周年を記念した無料運行や記念イベント、乗り方教室を開催し、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。	A	A	事業は適切に実施されており、目標も達成できた。本系統は他系統と比較すると大幅に増加傾向にある。今後もより利用者を増やすため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、ルートの見直しや広報紙やSNS等を活用し、積極的な利用啓発に努めていく。	評価の指標は、年間利用者数、1便当たりの利用者数、収支率。 公共交通の利用促進に取り組み、多くの系統で目標を達成されたことを評価します。 今後も地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進を期待します。		
	(有)西田タクシー	ミニバス網津緑川線の運行		A	A				目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に解決されることを期待します。
		ミニバス宇土北部線の運行	コロナ禍で減少したコミュニティ交通の利用促進のため、運行開始10周年を記念した無料運行や記念イベント、乗り方教室を開催し、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。	A	B	事業は適切に実施されたが、1便当たりの利用者数の目標が未達成であった。本系統は他系統と比較すると減少傾向にあり、ニーズを把握し需要の掘り起こしが必要と思われる。また、より利用者を増やすため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、ルートの見直しや広報紙やSNS等を活用し、積極的な利用啓発に努めていく。			
		ミニバス轟線の運行	コロナ禍で減少したコミュニティ交通の利用促進のため、運行開始10周年を記念した無料運行や記念イベント、乗り方教室を開催し、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。また、既存ルートの見直しを行いさらなる利用促進に取り組んだ。	A	B	事業は適切に実施されたが、1便当たりの利用者数の目標が未達成であった。本系統は運行エリアが市街地に近く需要の掘り起こしが難しい系統である。そのため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、様々な輸送資源を活用した交通体系を検討していく。	今後も、令和4年2月に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。		
		宇城タクシー(有)	ミニバス花園北部線の運行	コロナ禍で減少したコミュニティ交通の利用促進のため、運行開始10周年を記念した無料運行や記念イベント、乗り方教室を開催し、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。また、既存ルートの見直しを行いさらなる利用促進に取り組んだ。	A	A	事業は適切に実施されており、目標も達成できた。本系統は他系統と比較すると増加傾向にある。今後もより利用者を増やすため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、ルートの見直しや広報紙やSNS等を活用し、積極的な利用啓発に努めていく。		
			ミニバス花園南部線の運行	コロナ禍で減少したコミュニティ交通の利用促進のため、運行開始10周年を記念した無料運行や記念イベント、乗り方教室を開催し、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。	A	A	事業は適切に実施されており、目標も達成できた。本系統は他系統と比較すると増加傾向にある。今後もより利用者を増やすため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、ルートの見直しや広報紙やSNS等を活用し、積極的な利用啓発に努めていく。		
		産交バス(株)	コミュニティバス(循環線)の運行	コロナ禍で減少したコミュニティ交通の利用促進のため、運行開始10周年を記念した無料運行や記念イベント、乗り方教室を開催し、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。	A	A	事業は適切に実施されており、目標も達成できた。本系統は市街地を循環する系統であり、市街地の拠点間を移動を目的としており、利用者は大幅に増加傾向にある。今後もより利用者を増やすため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、ルートの見直しや路線バスやJR、ミニバス等の他の交通機関との接続性の向上を検討していく。 また、広報紙やSNS等を活用し、積極的な利用啓発に努めていく。		
		(有)中川タクシー	デマンドバス(網田地区)の運行	コロナ禍で減少したコミュニティ交通の利用促進のため、コミュニティ交通の運行開始10周年を記念したイベントで利用促進を呼びかけた。また、運行事業者の変更に合わせて、全ての利用登録者へ利用促進の通知を送付した。	C	B	年間利用者数は目標達成したが、収支率が未達成であった。運行開始当初から比較すると徐々に利用者が増加している。利用者が固定化しつつあるため、新規の利用登録者獲得に向けた啓発活動を進めながら、利用していない登録者への利用促進と併せて、指定乗降場所の追加など、住民ニーズに基づいた改善に努める。		
		宇城タクシー(有)	デマンドバス(網田地区)の運行		C	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
阿蘇市地域公共交通会議	(株)TaKuRoo (有)阿蘇エースタクシー	乗合タクシー内牧赤水線	地域住民の利便性向上及び制度周知のため利用ガイドを配布した。	A	C	事業は適切に実施されているが、目標・効果は達成できなかった。今後は利用ガイド等を用いた制度の周知だけでなく、地域住民の利便性向上のため制度の見直し等を検討する。	<p>評価の指標は、年間利用者数。</p> <p>目標達成のため、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進に期待します。</p> <p>目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。</p> <p>上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p> <p>今後、協議会での関係者による協議を経て、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにしたマスタープランとして、地域公共交通計画が策定されることを期待します。</p>	
		乗合タクシー原の口・鷲の石線	地域住民の利便性向上及び制度周知のため利用ガイドを配布した。	A	C	事業は適切に実施されているが、目標・効果は達成できなかった。今後は利用ガイドだけでなく、広報紙への掲載や公共施設等でのリーフレットの掲示を行い、制度の周知を図ることで、更なる利用者数の増を目指す。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、平和タクシー(有)、(有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(平井地区)の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、広報紙や市のホームページ等により情報発信を行った。	A	C	モビリティマネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。	評価の指標は、利便性に関する満足度及び年間利用者数。 目標達成のため、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進に期待します。	
		荒尾市予約型乗合タクシー(府本地区)の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、広報紙や市のホームページ等により情報発信を行った。	A	C	モビリティマネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。	目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	令和5年3月策定の地域公共交通計画及び現在策定中の地域公共交通利便増進実施計画に基づき、今後も持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
	産交バス(株)	住吉線の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、未就学児を対象にバス乗り方教室を実施するとともに、保護者向けの無料お試し乗車券を配付し利用促進を図った。	A	C	モビリティマネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。さらに、路線バス利用者の裾野を広げるため、商業施設と連携した、子育て世帯向けのバス乗車体験会等の実施を検討する。		
		倉掛線の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、未就学児を対象にバス乗り方教室を実施するとともに、保護者向けの無料お試し乗車券を配付し利用促進を図った。	A	C	モビリティマネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。さらに、路線バス利用者の裾野を広げるため、商業施設と連携した、子育て世帯向けのバス乗車体験会等の実施を検討する。		
		八幡台線の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、未就学児を対象にバス乗り方教室を実施するとともに、保護者向けの無料お試し乗車券を配付し利用促進を図った。	A	C	モビリティマネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。さらに、路線バス利用者の裾野を広げるため、商業施設と連携した、子育て世帯向けのバス乗車体験会等の実施を検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
玉名市地域公共交通会議	玉名タクシー有限公司 有限会社岱洋タクシー 有限会社高瀬合同タクシー 有限会社アトム	(1)滑石・岱明地域 予約制乗合タクシー	公共交通マップや広報等で情報提供の充実を図った。 R5.4月から配車システムを導入することによって最適な 運行経路を設定し、乗車時間と予約×切時間の短縮を 図った。 併せて、利用が少ない土日祝の便の見直しを行った。	A	A	新しい生活様式によって公共交通の利用そのものが減っており、利用者の ニーズや利用実態をもとに運行便等の変更を検討する。 また、玉名市地域公共交通計画の策定に伴い実施した市民アンケートにて 「乗合タクシー」の認知度が低い結果であったことから、住民への周知などを 検討する。	評価の指標は、年間利用者数。 公共交通の利用促進に取り組み、一部系統につ いて目標を達成されたことを評価します。 今後も地域の関係者の連携と協働による「共創」の 取り組みの推進を期待します。 目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに 利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を 行うことが重要である。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の 改善点が着実に解決されることを期待します。 現在策定中の地域公共交通計画に基づき、今後も 持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期 待します。	
		(2)大浜・横島地域 予約制乗合タクシー		A	C			
	産交バス(株)	(3)九州看護福祉大学経由 玉名駅・新玉名駅線	公共交通マップや広報等で情報提供の充実を図った。 対象事業(3)の主な利用者である九州看護福祉大学お よび補助対象事業者と定期的に意見交換を実施し、必 要な変更を行った。 また、対象事業(4)の利用促進を図るために各便の発 車時刻を統一し、利用実態に応じた減便をR4.4.1から 行った。	A	C	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減っており、公共交通を 維持・確保していくために、利用者の増加に繋がるよう通勤・通学に利用し やすい運行時間帯への見直しや住民等への周知などを検討をする。		
		(4)玉名市街地循環線		A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津奈木町地域公共交通会議	むつみ交通(株)	予約型乗合タクシー「つなぎタクシー」 ・津奈木町内全域及び水俣市内の特定施設間を運行	(1)町民600人を対象にアンケート調査を実施 (2)11枚綴り回数券(町内・町外)の販売を引き続き行い、利用促進及び利便性の向上を図った (3)免許証自主返納者への特典として回数券(町内便・町外便)を1セットずつ配布し、新規利用者の獲得と利用促進を図った (4)つなぎタクシーの利用方法等について、町広報誌に年1回掲載し、住民へのつなぎタクシー利用促進と制度周知を図った	A	C	より効率的な運行を目指すために、意見や要望の検証をしながら適宜見直しをかけていくとともに、つなぎタクシー自体の周知や現在公共交通を利用していない層にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい地域公共交通を目指した事業等を展開していく。 また、令和6年3月に策定予定の町地域公共交通計画に基づき、今後の地域公共交通の維持・改善に努める。	評価の指標は、1日当たり利用者数。 目標達成のため、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進に期待します。 目標・効果達成状況の記載については、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 現在策定中の地域公共交通計画に基づき、今後も持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	東町線(区域)の運行	<p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を実施した。</p> <p>○利用促進策の一環として、地域の方々と協働した周知カレンダーの作成・配布を行った。(鏡町線)</p> <p>○沿線地域(坂本地区)に個別に公共交通だよりを配布し、利用方法等の周知を図った。(日奈久～坂本線)</p> <p>○ホームページやコミュニティFMにおいて、利用方法、運転免許返納者割引事業等について広報を行った。</p>	A	C	<p>○各沿線ごとに個別に運行路線や乗り継ぎについての周知を実施する。</p> <p>○沿線地域や関係団体と連携し、利用実態に合わせた利用促進の取組を実施する。</p> <p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を引き続き実施し、利用者の増加へつなげていく。</p> <p>○利用者からの要望や利用状況を踏まえた運行内容の見直しを行う。</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、丁寧に情報提供を行う。</p>	<p>評価の指標は、年間利用者数及び稼働率。</p> <p>公共交通の利用促進に取り組み、多くの系統において目標を達成されたことを評価します。今後も地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進を期待します。</p> <p>目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p> <p>今後、協議会での関係者による協議を経て、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにしたマスタープランとして、地域公共交通計画が改定されることを期待します。</p>	
		産島線(区域)の運行			B			
		平和町線(右廻り)(路線定期)の運行			A			
		平和町線(左廻り)(路線定期)の運行						
		日奈久～坂本線(区域)の運行			A			
		鏡町線(区域)の運行			A			
		高田線(区域)の運行			C			
		ごかくるま(区域)の運行			A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
和水町地域公共交通会議	(有)高瀬合同タクシー	菊水線	<ul style="list-style-type: none"> 交通計画策定に係る住民アンケート調査を実施し、ニーズ把握を行った。 和水町地域公共交通計画の策定(令和6年3月)に向け、交通事業者、学識経験者、住民等と持続可能な旅客運送サービスについて議論した。 	A	B	<p>利用件数の増加と合わせて、運行の効率化(=相乗り率の向上)を図る施策の実施。</p> <p>また、交通事業者や地域との連携・協議を実施することで、持続可能な公共交通を目指す。</p>	<p>評価の指標は、登録者数と年間利用件数。</p> <p>公共交通の利用促進に取り組み、概ね目標を達成されたことを評価します。今後も地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進を期待します。</p> <p>目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p>	
	(有)三加和タクシー	三加和線	<ul style="list-style-type: none"> 交通計画策定に係る住民アンケート調査を実施し、ニーズ把握を行った。 和水町地域公共交通計画の策定(令和6年3月)に向け、交通事業者、学識経験者、住民等と持続可能な旅客運送サービスについて議論した。 	A	A	<p>現在策定中の地域公共交通計画に基づき、今後も持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山江村地域公共交通会議	株式会社TaKuRoo	乗合タクシーまるおか号(山田線・万江線・山江線)	広報、ケーブルテレビ、ホームページにおいて、まるおか号の利用方法、割引制度等の情報発信を行った。	A	C	山江村においては、高齢者の利用が多く、子どもや観光客の利用が少ない状況である。利用者アンケート等の実施により、利用者の満足度や課題を把握したうえで、さらに効率的で利便性が高い公共交通体系を構築する必要がある。 また、感染症対策を実施し、安心してまるおか号を利用していただくよう広報等で情報発信を行い、運行実施事業者へも感染症対策の徹底を呼び掛けていく。	<p>評価の指標は、年間利用者数と利用者満足度。</p> <p>目標達成のため、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進に期待します。</p> <p>目標・効果達成状況の記載については、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。</p> <p>上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p> <p>日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として協議会が活用されることを期待します。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
人吉・球磨地域公共交通活性化協議会	産交バス㈱、つばめタクシー㈱、むつみ交通㈱	運行系統名：人吉・錦線 運行区間：JR人吉駅前ロータリー～柳瀬バス停～肥後西村駅 キロ程：往9.1Km、復9.1Km	対象なし	A	B	令和7年度中のくま川鉄道全線運転開通を目指し、引き続きくま川鉄道の代替輸送手段として、地域の日常生活に必要な本事業を継続していく。 また、現行の接続ダイヤ調整や乗換情報等の充実により、利用者増や利便性向上に向けて多角的に進める必要がある。	評価の指標は、1日平均利用者数。 公共交通の利用促進に取り組み、概ね目標を達成されたことを評価します。 目標・効果達成状況の記載については、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 今後も、令和4年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 黒沢・岸河内線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらう依頼	A	C	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。	・評価の指標は、系統毎の輸送人員と1便当たりの輸送人員。 ・マイ時刻表の作成、ホームページ等によるコミュニティバスの周知に取り組まれていることに評価します。 ・目標値を下回った系統については目標値の水準が適切かどうか検討していただき、地域公共交通計画に基づいた取り組みが今後も着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		佐伯市コミュニティバス 下堅田・青山線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらう依頼	A	C	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 大入島線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらう依頼	A	B	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 米水津・鶴見線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらう依頼	A	B	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 弥生デマンド線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらう依頼	A	B	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 本匠デマンド線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらう依頼	A	B	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 宇目デマンド線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらう依頼	A	C	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 置川デマンド線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらう依頼	A	A	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
九重町地域交通協議会	事業者名:九重町 運行系統名: (1)小平谷線	小平谷～ 豊後中村駅～ 九重町役場の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	C	乗客の掘り起こしに向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法や体験乗車会の制度についての周知を進める。また、地元の方の利用を増やすための取り組みとして、意見交換会を実施し、きめ細やかな情報伝達や移動ニーズの把握に努める。	評価の指標は、系統毎の乗客人数。 ・意見交換等で公共交通機関の維持の必要性について、周知等されていることを評価します。 ・目標値を下回った系統については目標値の水準が適切かどうか検討していただき、令和6年3月に策定予定の地域公共交通計画に基づいた取り組みが着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	事業者名:九重町 運行系統名: (2)寺床線	寺床～ 豊後中村駅～ 九重町役場の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	C	乗客の掘り起こしに向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法や体験乗車会の制度についての周知を進める。また、地元の方の利用を増やすための取り組みとして、意見交換会を実施し、きめ細やかな情報伝達や移動ニーズの把握に努める。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (3)うるが線	うるが～ 引治駅～ 川西の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	B	乗客の掘り起こしに向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法や体験乗車会の制度についての周知を進める。また、地元の方の利用を増やすための取り組みとして、意見交換会を実施し、きめ細やかな情報伝達や移動ニーズの把握に努める。		
	事業者名:九重町 (4)龍門線	野倉～ 恵良駅～ 九重町役場の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	B	乗客の掘り起こしに向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法や体験乗車会の制度についての周知を進める。また、地元の方の利用を増やすための取り組みとして、意見交換会を実施し、きめ細やかな情報伝達や移動ニーズの把握に努める。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (5)龍門野倉線	野倉～ 恵良駅の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	B	乗客の掘り起こしに向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法や体験乗車会の制度についての周知を進める。また、地元の方の利用を増やすための取り組みとして、意見交換会を実施し、きめ細やかな情報伝達や移動ニーズの把握に努める。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (6)鹿伏桐木線	豊後中村駅～ 鹿伏～ 豊後中村駅の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	C	乗客の掘り起こしに向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法や体験乗車会の制度についての周知を進める。また、地元の方の利用を増やすための取り組みとして、意見交換会を実施し、きめ細やかな情報伝達や移動ニーズの把握に努める。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (7)栗原小園線	九重町役場、 文化センター、 JA九重支店、 引治駅、 矢原医院、 豊後中村駅	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	C	A	運行計画、輸送客数にはまだキャパシティがある。登録者数及び乗客人数の一層の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法や体験乗車会の制度についての周知を進める。また、地元の方の利用を増やすための取り組みとして、意見交換会を実施し、きめ細やかな情報伝達や移動ニーズの把握に努める。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (8)九重縦断線	塚脇～ 豊後中村駅～ 恵良駅～ 飯田交流センターの運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	A	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法についての周知を進める。またJRや高速バス等他の交通機関との接続改善のためのダイヤ改正や、バスロケーションシステムの導入等についても適宜検討を行う。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (9)九重縦断線	飯田交流センター～豊後中村駅 ～九重ICの運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法についての周知を進める。またJRや高速バス等他の交通機関との接続改善のためのダイヤ改正や、バスロケーションシステムの導入等についても適宜検討を行う。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (10)九重縦断線	牧ノ戸峠～ 豊後中村駅～ 九重ICの運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法についての周知を進める。またJRや高速バス等他の交通機関との接続改善のためのダイヤ改正や、バスロケーションシステムの導入等についても適宜検討を行う。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (11)九重縦断線	牧ノ戸峠～ 豊後中村駅～ 九重ICの運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	A	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法についての周知を進める。またJRや高速バス等他の交通機関との接続改善のためのダイヤ改正や、バスロケーションシステムの導入等についても適宜検討を行う。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (12)九重縦断線	九重登山口花山峠～豊後中村駅 ～塚脇の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法についての周知を進める。またJRや高速バス等他の交通機関との接続改善のためのダイヤ改正や、バスロケーションシステムの導入等についても適宜検討を行う。		
事業者名:九重町 運行系統名: (13)九重縦断線	九重登山口みやま～豊後中村駅 ～塚脇の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法についての周知を進める。またJRや高速バス等他の交通機関との接続改善のためのダイヤ改正や、バスロケーションシステムの導入等についても適宜検討を行う。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株) 光タクシー(株)	中央病院～津久見駅線の運行	乗降調査を行い、利用者の状況や属性を把握した。時刻表や年末年始のお知らせを配布し、ホームページに掲載して周知を行った。	A	B	利用促進につながる情報発信を行いながら、新たな利用者の発掘に向け、認知度を高めるための方法を検討する。利用者数や乗降場所の検証を行うことで、今後の運行方法の検討につなげる。時刻表の配布などの広報活動も引き続き行う。	・評価の指標は、利用者数と運行率。 ・乗降調査を行い、利用者の状況や属性を把握されたことを評価します。 ・畑～津久見線は年度初めに年間の運行予定日を全戸配付したことで、新規利用者の増加に繋がったことを評価します。更なる利用者の発掘に向け、認知度を高める取り組みを進めていくことを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	津久見タクシー(株)	落の浦～大浜線の運行	アンケート調査を行い、利用者の状況を把握した。時刻表や年末年始のお知らせを配布し、ホームページに掲載し周知を行った。	A	B	利用状況を検証し、今後の運行方法などを検討していく。また、時刻表の配布などの広報活動も引き続き行う。		
	津久見タクシー(株) 光タクシー(株)	畑～津久見駅線の運行	年度初めには、1年間の運行予定日を畑地区に全戸配布し周知した。また、年末年始のお知らせの回覧を行った。	A	A	利用状況を把握するとともに、地域住民への利用促進を行っていく。また、運行日の予定表配布なども引き続き行う。		
	臼津交通(株)	路線バス17系統の運行	乗降調査をし、利用者の状況や属性を把握した。時刻表や年末年始のお知らせを配付することで、周知を行った。	A	B	事業者と協議しながら、利用促進や運行方法について検討を行っていく。また、時刻表を配布するなどの広報活動も引き続き行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Aコース	日田～玉川町～日隈～石井～日田の循環コースを 運行	・令和5年2月に運行ルート及び時刻表を再編したダイ ヤ改正を実施し、利用者数の増及び利便性のさらなる 向上を図った。	A	A	令和5年3月に策定した「日田市地域公共交通計画」の進捗管理を適切に行 うとともに、地域からの要望や利用者の需要を日田バスと連携して把握し、 利用者の増及び利便性のさらなる向上を図る。	・評価の指標は、年間輸送人員。 ・「バスの日イベント」を交通事業者と共催し、公共 交通の利用促進を図ったことに対して評価します。 ・「ひたはしり号」については運行ルート見直しによ り、大幅な利用者増に繋がったことを評価します。引 き続き、地域公共交通計画に基づいた取り組みが 着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、 持続可能な公共交通体系が構築されることを期待 します。	
	日田バス(株) ひたはしり号 Bコース	日田～田島町～若宮～隈町旅館街～高瀬～日田の 循環コースを運行	・ひたはしり号に対する利用者や地域からの要望につ いては、日田バスと情報を共有し把握に努めた。					
	日田バス(株) ひたはしり号 Cコース	日田～豆田町～朝日町～清岸寺町～城町～日田の 循環コースを運行	・9/17に『バスの日イベント』を日田バスと共催し、「ひた はしり号1日無料乗車体験」や「高速バスと綱引き対 決」等のイベントを行い、公共交通の利用促進を図っ た。					
	日田バス(株) 五馬線	日田～小淵～花香～近原～中村～五馬入口のコー スを運行	・令和3年度に送迎・輸送に関する地域座談会(勉強 会)を五馬地区住民と市で開催して以降、住民間で当 該地域における送迎・輸送を含む地域課題に関する協 議が行われている。 ・9/17に『バスの日イベント』を日田バスと共催し、「ひた はしり号1日無料乗車体験」や「高速バスと綱引き対 決」等のイベントを行い、公共交通の利用促進を図っ た。	A	C	令和5年3月に策定した「日田市地域公共交通計画」の進捗管理を適切に行 うとともに、地域からの要望や利用者の需要を日田バスと連携して把握し、 利用者の増及び利便性のさらなる向上を図る。 あわせて、地域の利用実態に応じた適正な交通モードのあり方を住民等と 一緒に検討していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通㈱ 臼杵タクシー㈱ 富士タクシー㈱	コミュニティバス利用者数 【城崎線、白岩線、上松線、佐志生線、南津留線、西 神野線、市内循環線、南野津・東谷線】	効果的なコミュニティバスの運行のための路線見直し や利用促進を図るための協議を運行事業者及び地元 住民と行った。 また、市報やケーブルテレビを活用し公共交通情報を 発信した。	B	B	引き続き公共交通に関する情報発信を行う。また、地域の拠点となる施設を 中心としたコミュニティバス路線の見直しを、地域住民と一緒に検討する等、 利用者増にむけた取り組みを行う。	・評価の指標は、利用者数、利用率。 ・運行事業者と利用促進について随時検討を行って いることに対して評価します。 ・目標の一部が未達成となった項目があるものの、 前年度実績を上回っており、引き続き、地域公共交 通計画に基づいた取り組みが着実に実施されること を期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、 持続可能な公共交通体系が構築されることを期待 します。	
	臼津交通㈱ 臼杵タクシー㈱ 富士タクシー㈱	コミュニティバス利用率	効果的なコミュニティバスの運行のための路線見直し や利用促進を図るための協議を運行事業者及び地元 住民と行った。 また、市報やケーブルテレビを活用し公共交通情報を 発信した。	B	B	引き続き公共交通に関する情報発信を行う。また、地域の拠点となる施設を 中心としたコミュニティバス路線の見直しを、地域住民と一緒に検討する等、 利用者増にむけた取り組みを行う。		
	臼津交通㈱	民間路線バス利用者数 【中津浦線、泊ヶ内線、割後場線】	バス事業者と利用促進について随時検討を行った。また 路線毎の路線図、時刻表を市のホームページに掲載し、 市の窓口にて配布するなどの取り組みを行った。	B	B	引き続きバス事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会 でも意見聴取を行い、路線の見直しやエリア運賃の導入等の検討を行う。また、 公共交通の安全性を訴える等、利用者増にむけたモビリティマネジメントを行う。		
	臼津交通㈱	民間路線バス利用率	バス事業者と利用促進について随時検討を行った。また 路線毎の路線図、時刻表を市のホームページに掲載し、 市の窓口にて配布するなどの取り組みを行った。	B	B	引き続きバス事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会 でも意見聴取を行い、路線の見直しやエリア運賃の導入等の検討を行う。また、 公共交通の安全性を訴える等、利用者増にむけたモビリティマネジメントを行う。		
	臼杵タクシー㈱ 富士タクシー㈱	デマンドタクシー利用者数	運行事業者と利用促進について随時検討を行った。また、 市報や市のホームページで公共交通情報を発信し 公共交通の利用を促した。	A	A	引き続き運行事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会 でも意見聴取を行い、見直しの検討を行う。 また、車を持っていても公共交通を利用する機運を高めるためのモビリ ティマネジメントを行う。		
	臼杵タクシー㈱ 富士タクシー㈱	デマンドタクシー利用率	運行事業者と利用促進について随時検討を行った。また、 市報や市のホームページで公共交通情報を発信し 公共交通の利用を促した。	A	A	引き続き運行事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会 でも意見聴取を行い、見直しの検討を行う。 また、車を持っていても公共交通を利用する機運を高めるためのモビリ ティマネジメントを行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名: まちなか循環バス 事業者名: 玖珠観光バス(株)	わらべの館を起点として、市街地の主要施設(役場、商店、医療機関、金融機関等々)を循環 1日8便(西回り4便 東回り4便)運行	高齢者の利用者増と、免許返納者対策として、高齢者を対象とした、高齢者免許証返納に対するバス・タクシー券交付事業を新規に実施。また、中学生に公共交通の役割や大切さを体験してもらうことで、高校生になった際に積極的に利用してもらうこととした、町内バス乗車無料券を交付事業を新規に実施。利用者の増加、利便性の向上を目的とし、料金改定を令和6年4月より実施する予定。料金改定に係る協議、準備を行った。	A	C	令和6年4月より、ゾーン制運賃制度を導入し、料金を大幅に改定する。料金改定に伴う、利用者状況等の把握と分析を行い、利用者増と利便性が向上する取組を今後検討していく必要がある。また、高齢者と高校生の利用が少ない傾向にあるため、利用者増加につながる取組の充実の検討を行う必要がある。	・評価の指標は、輸送人員。 ・高齢者の利用促進のため、運転免許証返納者に対するバス・タクシー券交付事業と、中学生を対象とした町内バス乗車無料券交付事業を実施したことを評価します。 ・目標値を下回った系統については目標値の水準が適切だったかどうか検討していただき、地域公共交通計画に基づいた取り組みが今度も着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	系統名: 小型乗合バス (岩室線) 事業者名: 大交タクシー(有)	仲田から下長野間の運行 (毎週水曜日に運行)	高齢者の利用者増と、免許返納者対策として、高齢者を対象とした、高齢者免許証返納に対するバス・タクシー券交付事業を新規に実施。また、路線距離が長く、町内を運行する路線によって運賃格差が生じている。格差是正、利用者の増加、利便性の向上を目的とし、料金改定を令和6年4月より実施する予定。料金改定に係る協議、準備を行った。	A	C	令和6年4月より、ゾーン制運賃制度を導入し、料金を大幅に改定する。料金改定に伴う、利用者状況等の把握と分析を行い、利用者増と利便性が向上する取組を今後検討していく必要がある。今後も、高齢者が利用しやすい路線にするため、運行事業者と連携を密にして、路線の見直しをしていきたい。		
	系統名: ふれあい福祉バス (伏株線) 事業者名: 玖珠町	唐杉公民館から福祉センター間の運行(毎週火曜日の運行)	比較的市街地に近いことから、自家用車の利用が多い傾向にあり、高齢者を対象とした交通事業として、高齢者免許証返納に対するバス・タクシー券交付事業を新規に実施。また、利用者の者増加と利便性の向上を目的とし、料金改定を令和6年4月より実施予定。料金改定に係る協議、準備を行った。	A	C	令和6年4月より、ゾーン制運賃制度を導入し、料金を大幅に改定する。料金改定に伴う、利用者状況等の把握と分析を行い、利用者の増加が見込まれない場合は、バス停や路線の見直し、他の路線との統一など、大幅な改善を行っていく必要がある。		
	系統名: ふれあい福祉バス (小田線) 事業者名: 玖珠町	小田小学校入口から福祉センター間の運行 (毎週金曜日の運行)	比較的市街地に近いことから、自家用車の利用が多い傾向にあり、高齢者を対象とした交通事業として、高齢者免許証返納に対するバス・タクシー券交付事業を新規に実施。また、利用者の者増加と利便性の向上を目的とし、料金改定を令和6年4月より実施予定。料金改定に係る協議、準備を行った。	A	C	令和6年4月より、ゾーン制運賃制度を導入し、料金を大幅に改定する。料金改定に伴う、利用者状況等の把握と分析を行い、利用者の増加が見込まれない場合は、バス停や路線の見直し、他の路線との統一など、大幅な改善を行っていく必要がある。		
	系統名: ふれあい福祉バス (山浦線通学便) 事業者名: 玖珠町	古園からJR豊後森駅間の運行 (平日運行)	路線距離が長く、町内を運行する路線によって運賃格差が生じている。格差是正、一般利用者の増加、利便性の向上を目的とし、料金改定を令和6年4月より実施する予定。料金改定に係る協議、準備を行った。	A	B	令和6年4月より、ゾーン制運賃制度を導入し、料金を大幅に改定する。料金改定に伴う、利用者状況等の把握と分析を行い、利用者増と利便性が向上する取組を今後検討していく必要がある。児童と混乗ができるため、北山田小学校以降の路線については一般の方の利用ができる旨の啓発を行う。		
	系統名: ふれあい福祉バス (山浦線ふれあい便) 事業者名: 玖珠町	古園から福祉センター間の運行(毎週火・金曜日の運行)	高齢者の利用者増と、免許返納者対策として、高齢者を対象とした、高齢者免許証返納に対するバス・タクシー券交付事業を新規に実施。路線距離が長く、町内を運行する路線によって運賃格差が生じている。格差是正、一般利用者の増加、利便性の向上を目的とし、料金改定を令和6年4月より実施する予定。料金改定に係る協議、準備を行った。	A	C	令和6年4月より、ゾーン制運賃制度を導入し、料金を大幅に改定する。料金改定に伴う、利用者状況等の把握と分析を行い、利用者増と利便性が向上する取組を今後検討していく必要がある。特に高齢者が多い地域であるため、高齢者の利用者増加につながる取組の充実の検討を行う必要がある。		
	系統名: ふれあい福祉バス (日出生線通学便) 事業者名: 玖珠町	日出生公民館前から豊後森駅間の運行 (平日運行)	高齢者の利用者増と、免許返納者対策として、高齢者を対象とした、高齢者免許証返納に対するバス・タクシー券交付事業を新規に実施。路線距離が長く、町内を運行する路線によって運賃格差が生じている。格差是正、学生や一般利用者の増加、利便性の向上を目的とし、料金改定を令和6年4月より実施する予定。料金改定に係る協議、準備を行った。	A	C	令和6年4月より、ゾーン制運賃制度を導入し、料金を大幅に改定する。料金改定に伴う、利用者状況等の把握と分析を行い、利用者増と利便性が向上する取組を今後検討していく必要がある。少子化に伴い、遠方に住む学生の利用が減少することが予測されるため、起点、終点等の見直しの検討を行う必要がある。		
	系統名: ふれあい福祉バス (日出生線) 事業者名: 玖珠町	小野原から福祉センター間の運行 (毎週月・木曜日の運行)	町内を運行する路線によって運賃格差が生じている。格差是正、一般利用者の増加、利便性の向上を目的とし、料金改定を令和6年4月より実施する予定。料金改定に係る協議、準備を行った。	A	B	令和6年4月より、ゾーン制運賃制度を導入し、料金を大幅に改定する。料金改定に伴う、利用者状況等の把握と分析を行い、利用者増と利便性が向上する取組を今後検討していく必要がある。特に高齢者が多く、移転補償等による転居が多い地域であるため、高齢者の利用者増加につながる取組や充実の検討、人口減少の推計による路線の見直し等が必要がある。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(有)	八坂線	市ホームページに掲載し市内外に周知を行った。 また、自治会の会議に出向き乗合タクシーの利用促進のお願いを行うと共に、高齢者の身近にいるケアマネージャーや地域のサロン責任者に、乗合タクシーへの登録の声掛けをお願いした。 免許返納者に対しても乗合タクシーへの登録をお願いした。	A	B	これまで乗車率が着実に増え、昨年は目標値を達成していたが、利用者の減少がみられる。さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し利用促進の周知に努めたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、1便あたりの利用者数。 ・地域の関係者に乗合タクシーの利用登録の声掛けを行っていることを評価します。 ・目標の一部が未達成となった系統があるものの、前年度実績を上回った系統もあり、引き続き、地域公共交通計画に基づいた取り組みが着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
	三光タクシー(有)	北杵築線		A	B	目標値を達成することはできなかったが、人口減少が進む地域であっても、着実に乗合タクシーが周知されつつあると思われる。さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し利用促進の周知に努めたい。		
	杵築国東合同タクシー(株)	北杵築線		A	A	着実に乗合タクシーが周知されつつあると思われるが、さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し利用促進の周知に努め、現状以上を目指したい。		
	杵築国東合同タクシー(株)	東線		A	B	目標値を達成することはできなかったが、人口減少が進む地域であっても、着実に乗合タクシーが周知されつつあると思われる。さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し利用促進の周知に努めたい。		
	杵築市	大内線		A	A	目標値を達成することはできなかったが、昨年に比べ利用者が減少しているため、さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し利用促進の周知に努めたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	豊後大野市	(コミュニティバスの運行) <三重町>(5路線) 山田線、小坂線、菅尾線、川辺・向野線、内田線の運行	社会実験の結果に伴う運行内容の見直しやルート変更、停留所の新設及び発車時刻の変更などを行い、利用促進に努めた。	A	B	社会実験の結果に伴う運行内容の見直しやルート変更、停留所の新設及び発車時刻の変更などを行い、利用促進に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、1人当たり運行コスト、利用者満足度、利用者数。 ・「おでかけMaaS」等の社会実験を行い、交通だけでなく他分野とも連携した取り組みを実施したことを評価します。 ・利用者満足度調査において、7項目のうち6項目で80%を上回っていることに対して評価します。引き続き、地域公共交通計画に基づいた取り組みが着実に実施されることを期待します。 ・今後も多様な関係者と連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
		(コミュニティバスの運行) <清川町>(3路線) 通学東小線(※)、通学西小線(※)、清川・市民病院線の運行						
		(コミュニティバスの運行) <緒方町>(7路線) 小富士線、上緒方・小富士線(※)、上緒方線、長谷川・南部線(※)、長谷川線、南部東線、南部西線の運行						
		(コミュニティバスの運行) <朝地町>(10路線) 朝地・市民病院線、近地・普光寺線、北部幹線、鳥屋線、綿田線、臼木線、小川野・志屋線、梨原線、南部幹線、田夫時線の運行						
		(コミュニティバスの運行) <大野町>(7路線) 岩衫線、古殿線、藤浪線、沢田線、牧原・広戸線、木浦畑線、田中・市民病院線の運行						
		(コミュニティバスの運行) <千歳町>(4路線) 下山・前田線、高柴線、石田・大高線、船田線の運行						
		(コミュニティバスの運行) <犬飼町>(4路線) 宇津尾木線、高津原線、西寒田線、田原・戸上線の運行						
		計40路線 (※印の路線は、通学時間帯のみ運行)						
		※実証運行路線(4路線) 三重東線、安藤線、貫原・菅田線、矢田線						

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス株式会社 嵯峨部線 [申請番号1]	伊美～上岐部 (国見中経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であるため、令和5年度からは対象事業者をさらに拡大し、取り組みを引き続き実施した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表についても令和5年度も作成・配布した。市の広報誌やホームページで市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。	A	C	学級日運休路線。ほぼ中学生の利用のみとなっており、利用のない日も多いことから、R6年3月末にて路線廃止について運行事業者から申し入れがあり現在協議中。	評価の指標は、年間輸送人員、総合時刻表の作成・配布や広報活動を繰り返し実施されたことに対して評価します。 ・目標値を下回った系統については目標値の水準が適切だったかどうか、再度検討していただき、地域公共交通計画に基づいた取り組みが今度も着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	国東観光バス株式会社 竹田津線 [申請番号2]	国東～竹田津港 (伊美経由)		A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス株式会社 竹田津線 [申請番号3]	国東～伊美 (国見中・伊美港経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス株式会社 竹田津線 [申請番号4]	国東～伊美 (伊美港経由)		A	C	利用者のニーズを調査するなどし、ダイヤ調整を事業者と協議検討する。地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス株式会社 赤根線 [申請番号5]	伊美～赤根 (国見中町経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス株式会社 豊崎線 [申請番号6]	国東～稲川 (国中・小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス株式会社 豊崎線 [申請番号7]	国東～稲川 (小原経由)		A	C	系統の減便について事業者から相談があり現在協議中。		
	国東観光バス株式会社 文珠線 [申請番号8]	国東～文珠 (小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス株式会社 文珠線 [申請番号9]	国東～文珠 (国中・小原経由)		A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス株式会社 岩戸寺線 [申請番号10]	国東～岩戸寺上 (国中・小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス株式会社 岩戸寺線 [申請番号11]	国東～岩戸寺上 (小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	豊岡線	(九州運輸局評価結果) ・評価の指標は、1便当たりの乗車人数。 ・ニーズ調査や利用実態調査について、可能な範囲で実施されていることに対し評価します。 ・目標すべてが未達成となったものの、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いします。 ・R5.10～予定の町全域デマンド交通において、利用状況の把握・分析が定期的の実施され、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	A	C	定時定路線でのコミュニティバス運行については、年度ごとに増減を繰り返しながらも、伸び悩みが続いている。 令和5年10月1日より、予約制・区域運行の「日出町デマンド交通」を運行開始し、これまでのコミュニティバスから転換を図った。 今後は、「日出町デマンド交通」の効果検証と評価を適切に実施し、引き続き町民の地域内交通の維持確保並びに改善に取り組む。	・評価の指標は、1便当たりの乗車人数。 ・町民ニーズに寄り添った交通体系を確保してきたことに対して評価します。 ・R5.10に運行開始したデマンド交通において、引き続き利用状況の把握・分析等が定期的の実施され、交通事業者と緊密に連携を図っていただくことを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	日出町	川崎線		A	B			
	日出町	南端線		A	A			
	日出町	大神線		A	C			
	日出町	藤原赤松線		A	C			
	日出町	藤原一北線		A	C			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 (1) 弓立ルート(通常便: 戸次)	弓立～戸次の運行	<p>(令和3年度の事業評価結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間利用者数・稼働率・地域検討会の開催状況・検討会等への参加者数。 ・利用者ニーズや利用実態の把握のために、地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めていることや、沿線住民へバス時刻表を回覧、配付し、住民の利便性向上や周知を行っていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、ルートごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、停留所に標柱・ベンチの設置を進め、利用環境の向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、制度紹介チラシや利用状況報告のチラシを回覧するほか、自治会と連携し、地域への制度説明会を開催する等、広報活動を行うことで、地域全体への周知を図り、新規利用者の拡大に繋げる。 	<p>評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会開催状況、④地域検討会及び運行説明会の参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が参加して次年度の運行計画を検討する「地域検討会」を路線ごとに開催するなど、利用促進に取り組まれていることに対して評価します。 ・目標の一部が未達成となった項目があるものの、前年度実績を上回っており、引き続き、地域公共交通計画に基づいた取り組みが着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 (2) 弓立ルート(通常便: 戸次)	弓立～戸次の運行						
	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 (3) 弓立ルート(通常便: 判田)	弓立～判田局前の運行						
	大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 (4) 赤仁田ルート	赤仁田～判田局前の運行						
	オーケーはとタクシー株式会社 大分タクシー株式会社 (5) 椋原ルート	椋原～判田局前の運行						
	大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 (6) 中野ルート	中野～戸次の運行						
	野津原タクシー有限会社 (7) 上石合ルート	屋形木～野津原支所の運行						
	大分シティタクシー株式会社 (8) 延命寺ルート	延命寺～坂ノ市の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (9) 市尾ルート	木田南部～坂ノ市の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (10) 屋山ルート	屋山～坂ノ市の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (11) 折立ルート	折立～坂の市小学校前の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (12) 道尻ルート	道尻～坂の市小学校前の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (13) 一木ルート	一木～浜入口の運行						

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
	ワーカーズコープタクシー有 限会社 (14)木佐上ルート(馬場:往 路)	木佐上～馬場の運行						
	ワーカーズコープタクシー有 限会社 (15)木佐上ルート(馬場:復 路)	木佐上～馬場の運行						
	ワーカーズコープタクシー有 限会社 (16)木佐上ルート(神崎中学 校前:往路)	木佐上～神崎中学校前の運行						
	ワーカーズコープタクシー有 限会社 (17)木佐上ルート(神崎中学 校前:復路)	木佐上～神崎中学校前の運行						
	ワーカーズコープタクシー有 限会社 (18)大志生木ルート	大志生木1～大志生木の運行						
	クリスタルシティタクシー株式 会社 (19)大黒ルート	大黒～佐賀関の運行						
	臼津交通株式会社 (21)臼関線	佐賀関～臼杵 (補助対象:大分市内分のみ)						
	臼津交通株式会社 (22)臼関線	佐賀関～下浦						
	大分交通株式会社 (23)机張原線	5号地大交車庫前～田室町 ～机張原	(令和3年度の事業評価結果) ・評価の指標は、年間利用者数・稼働率・地域検討会 の開催状況・検討会等への参加者数。 ・利用者ニーズや利用実態の把握のために、地域検討 会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運 行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上 及び利用促進に努めていることや、沿線住民へバス時 刻表を回覧、配付し、住民の利便性向上や周知を行っ ていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス 感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の 評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に 解決されることを期待します。	A	A	●意見交換会開催後の利用状況の変化について効果検証を行う。利用状 況やバス時刻表を回覧配布し、路線維持のためのバス利用の意識づけを 行う。 ●バス利用を促進するため沿線施設(商業施設や病院)にバス時刻表を常 備する。		
	大分交通株式会社 (24)柞原線	5号地大交車庫前～田室町 ～柞原						
	大分交通株式会社 (25)机張原線	5号地大交車庫前～西春日町 ～机張原						
	大分交通株式会社 (26)柞原線	5号地大交車庫前～西春日町 ～柞原						
	大分交通株式会社 (27)大分市内線	大分駅前～新川～中大山						
	大分交通株式会社 (28)大分市内線	大分駅前～西春日町～下坂本						

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中津市公共交通会議	大交北部バス	申請番号1 路線バス事業 【永添線】 中津駅前～万田～大貞車庫前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	A	1運行当たりの輸送人数は24人で目標人数も達成できている。今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。	・評価の指標は、系統毎の輸送人員。 ・市報によるPRやマイ時刻表の作成を行うなどして、バスの利用環境改善を図った取り組みに対して評価します。 ・目標値を下回った系統については目標値の水準が適切だったかどうか、再度検討していただき、地域公共交通計画に基づいた取り組みが今度も着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		申請番号2 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅前～沖代町～野路	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	B	1運行当たりの輸送人数は24人であり、目標人数は達成することはできなかった。今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。		
		申請番号3 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅前～沖代町～大貞車庫前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	C	1運行当たりの輸送人数は16人であり、目標人数は達成することはできなかった。今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。		
	大交北部バス	申請番号4 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅前～中津北高～大貞車庫前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	C	1運行当たりの輸送人数は16人であり、目標人数は達成することはできなかった。今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。		
		申請番号5 路線バス事業 【茨株線】 中津駅～アメニティタウンかみまくさ	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	A	1運行当たりの輸送人数は6.9人で目標人数も達成できている。今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。		
		申請番号6 路線バス事業 【海岸中高線】 さ蔭前～鍋島～中津駅前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。また令和5年4月より商業施設駐車場内に新規バス停を設置した。	A	B	1運行当たりの輸送人数は3.2人であり、目標人数は達成することはできなかった。今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。		
		申請番号7 路線バス事業 【山口線】 中津駅前～イオン～八面山荘前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	B	1運行当たりの輸送人数は6.4人であり、目標人数は達成することはできなかった。今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。		
		申請番号8 コミュニティバス 【城井線】 旬菜館～本中氏宅前～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	1運行あたりの輸送人員は2.4であったが、目標人数を達成することができなかった。沿線住民で利用されていない方へPRやニーズの調査を行い、利用促進を図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
	大交北部バス	申請番号9 コミュニティバス 【城井線】 平田診療所～本中氏宅前～平田診療所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	1運行あたりの輸送人員は3.1で目標人数も達成できているので今後も、利用促進のPRや沿線住民の利便性向上に即した路線の見直し等を定期的に行っていく。		
		申請番号10 コミュニティバス 【川原口線】 旬菜館～津民診療所～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	1運行あたりの輸送人員は4.0であったが、目標人数を達成することができなかった。沿線住民で利用されていない方へPRやニーズの調査を行い、利用促進を図っていく。		
		申請番号11 コミュニティバス 【上ノ川内榎木線】 旬菜館～津民診療所～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	1運行あたりの輸送人員は2.0であったが、目標人数を達成することができなかった。沿線住民で利用されていない方へPRやニーズの調査を行い、利用促進を図っていく。		
	大交北部バス	申請番号12 コミュニティバス 【大島台金吉線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	C	1運行あたりの輸送人員は1.2であり目標人数を達成することができなかった。沿線住民で利用されていない方へPRやニーズの調査を行い、利用促進を図っていく。		
		申請番号13 コミュニティバス 【大島伊福線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	C	1運行あたりの輸送人員は1.3であり目標人数を達成することができなかった。運行日に下郷診療所が休診しており、運行日での診療再開の目処が立っていないため利用者や沿線住民への聞き取りを行い、路線及び運行日の見直し等を事業者とも検討する。		
	耶馬溪交通(有)	申請番号14 コミュニティバス 【遠山路鎌城線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	C	1運行あたりの輸送人員は1.8であり目標人数を達成することができなかった。運行日に下郷診療所が休診しており、運行日での診療再開の目処が立っていないため利用者や沿線住民への聞き取りを行い、路線及び運行日の見直し等を事業者とも検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大交北部バス(株)	路線バス (1)乙女	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	C	有効な対策・施策を積極的にしながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。	<p>評価の指標は、輸送人員・運送収入、路線図や時刻表の配布などにより、利用者の増加に向けた取組をされたことに対して評価します。</p> <p>・目標値を下回った系統については目標値の水準が適切だったかどうか検討していただき、地域公共交通計画に基づいた取り組みが今後も着実に実施されることを期待します。</p> <p>・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>		
大交北部バス(株)	路線バス (2)豊州	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	C	有効な対策・施策を積極的にしながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。			
大交北部バス(株)	路線バス (3)津房	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にしながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。			
大交北部バス(株)	路線バス (4)明治	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。			
大交北部バス(株)	路線バス (5)宇佐参宮	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。			
大交北部バス(株)	コミュニティバス (6)中山・新貝	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にしながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行って行くと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。			
大交北部バス(株)	コミュニティバス (7)大内・広谷	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にしながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行って行くと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。			
大交北部バス(株)	コミュニティバス (8)長洲・金屋	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行って行くと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	清瀬タクシー(有) 中津太陽交通(株)	コミュニティバス (9)上麻生	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていくと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	清瀬タクシー(有) 中津太陽交通(株)	コミュニティバス (10)麻生・横山	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていくと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	清瀬タクシー(有) 中津太陽交通(株)	コミュニティバス (11)高家・天津	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていくと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	清瀬タクシー(有) 中津太陽交通(株)	コミュニティバス (12)西馬城	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行って行くと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	清瀬タクシー(有) 中津太陽交通(株)	コミュニティバス (13)柳ヶ浦	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行って行くと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	院内タクシー(有)	コミュニティバス (14)南毛	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	C	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行って行くと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	院内タクシー(有)	コミュニティバス (15)古川・平ヶ倉	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行って行くと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	院内タクシー(有)	コミュニティバス (16)大見尾・熊	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行って行くと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
	院内タクシー(有)	コミュニティバス (17)福貴野・上内河野	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていくと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	院内タクシー(有)	コミュニティバス (18)荳籬・釜ノ口	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていくと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	院内タクシー(有)	コミュニティバス (19)松本・上ノ原	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	C	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行って行くと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	院内タクシー(有)	コミュニティバス (20)高並	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていくと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	院内タクシー(有)	コミュニティバス (21)田所	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	C	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行って行くと共に、地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	大交北部バス(株)	コミュニティバス (22)和氣・佐野	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう務めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	高校生の安定した利用があること、また高校側も積極的に周知してくれていることから目標を達成することができた。 今後も、高校と連携しながら、利用者の更なる増加に向けた取り組みを行っていきたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域公共交通会議	宇佐参宮タクシー(有) (株)KOCタクシー大分 中津太陽交通(株)	上野線 上野～健康交流センター花いろ～商工会議所	・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・市民集合タクシー時刻表や乗り方の情報を市民向けに配信した。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。	A	C	医療機関の送迎サービスが普及した地域であり、利用者数は減少傾向である。自治会や地域住民、運行事業者からの意見聴取を行いながら、効果的な運行を図る。	評価の指標は、1便当たりの利用者数。 ・①便別、停留所別の乗降調査の実施、②市民集合タクシーの時刻表や乗り方の情報を市民に配信、③乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表の作成、④市報等の広報媒体を使い情報発信を行う取り組みをされたことに対し評価します。 ・目標値を下回った系統については目標値の水準が適切だったかどうか検討していただき、地域公共交通計画に基づいた取り組みが今後も着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		並石線 大日大橋～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	B	利用者数が多い路線であるが、利用率は目標値を下回った。今後も地域住民の意見を反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。		
		長岩屋線 三畑公民館～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	B	人口減が進んでいる地域であるが、運転免許を持たない高齢者の貴重な生活交通手段となっている。利用実態の把握に努めるとともに、利用者の意向調査等を行い効果的な運行を検討していく。		
		草地線 長添～スーパーあさの～商工会議所		A	B	利用者数は減少傾向にあるが、運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、利用実態の把握に努め、効果的な運行を検討していく。また、路線バスと接続を考慮した運行となるよう調整していく。		
		黒土線 小河内～スバランド真玉～スーパーまたま		A	B	利用者数は減少傾向にあるが、高齢者の生活に欠かせない交通手段である。今後も地域住民の意見を聴き取り反映しながら、効率的な運行に努める。		
		臼野線 山畑～臼野公民館～スーパーまたま		A	B	利用者数は減少傾向にあるが、運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、利用実態の把握に努め、効果的な運行を検討していく。また、路線バスと接続を考慮した運行となるよう調整していく。		
	香国タクシー	熊野線 田染平野～健康交流センター花いろ～商工会議所	A	B	利用者数が多い路線であるが、利用率は目標値を下回った。今後も地域住民の意見を反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。			
		夷線 夷谷温泉～西夷公民館～10-1構造改善センター	A	B	温泉施設の利用者減の影響もあり、利用者数が減少した。人口の少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も利用促進に努める。			
		小畑線 夷谷温泉～三浦郵便局～サンククリニック	A	B	温泉施設の利用者減の影響もあり、利用者数が減少した。人口の少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も利用促進に努める。			
		羽根線 夷谷温泉～羽根上公民館～サンククリニック	A	C	昨年は回復基調にあったものの、温泉施設の利用者減の影響もあり、利用者数が減少した。人口の少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も利用促進に努める。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
由布市地域公共交通活性化協議会	大分バス株式会社	阿蘇野コース	本系統の利用地域は地元商店も無く、高齢化率が約60%と高齢化が進行している地域である。地域の足を確保・維持するために、利用促進のための周知や利便性向上のための検討を行った。	A	B	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。	・評価の指標は、年間輸送人員。 ・水中運動利用者に対する無料乗車券の交付など、利用促進について取り組まれていることに対して評価します。 ・目標値を下回った系統については目標値の水準が適切だったかどうか検討していただき、令和6年3月に策定予定の地域公共交通計画に基づいた取り組みが着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	大分バス株式会社	スクールバス阿蘇野コース	スクールバスについては、入学予定の児童へ利用に関するお知らせを各小学校で行うことで利用の呼びかけを行った。	A	C	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。		
	大分バス株式会社	スクールバス大津留コース	スクールバスについては、入学予定の児童へ利用に関するお知らせを各小学校で行うことで利用の呼びかけを行った。	A	C	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。		
	大分バス株式会社	シャトル (大学病院⇄庄内庁舎)	シャトルについては、毎週水曜日の水中運動利用者へ無料乗車券の交付を行うことで利用促進を行った。	A	C	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
竹田市地域公共交通確保維持協議会	大野竹田バス株式会社	高伏・上町線	アフターコロナの取組みとして、竹田市プレミアム付き交通チケットの販売を行いバス利用促進を図った。	B	C	当該地域におけるデマンド交通導入の検討をしており、地域拠点と市街中心部を地域間交通及び観光の主要路線として検討を進めていきたい。	・評価の指標は、輸送人員。 ・アフターコロナを見据えた取り組みとして、「プレミアム付き交通チケット」を実施したことに対して評価します。 ・目標値を下回った系統については目標値の水準が適切だったかどうか、再度検討していただき、地域公共交通計画に基づいた取り組みが今度も着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	大野竹田バス株式会社	甘椽線	アフターコロナの取組みとして、竹田市プレミアム付き交通チケットの販売を行いバス利用促進を図った。	B	A	沿線の小学校の統廃合が令和7年度に決まったこともあり、利用者ニーズを乗降調査等を実施し最適な路線の構築を再検証したい。		
	中央タクシー株式会社 竹田合同タクシー株式会社	姫岳コース・宮砥コース	該当地域で開催されている高齢者サロン代表者の会合において、各サロンでの利用推進及び個別説明会の要望の聞き取りを行い推進を図った。	C	B	運行開始から5年が経過しその間に利用者は10%ほど減少しているものの、人口の自然減を加味すると緩やかな利用者の減少だと考える。今後も利用推進及び新規利用者の掘り出しを行い、利用者の減少の幅を少しでも小さくしていくよう取り組みを行いたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
別府市公共交通活性化協議会	大分交通株式会社	関の江団地線 亀川駅～亀川新川～関の江車庫前	利用者のニーズ把握のため沿線地域住民を対象としたアンケート調査や交通系ICカードの利用実績の分析を実施し、運行ルートやダイヤの見直し、便数の増減に向けて検討した。	A	A	市民・交通事業者・行政の連携でニーズに沿った路線として導入された当初に比べ、利用の低下や財政負担額の上昇が確認され、ICカード利用実績やアンケート調査の分析結果を基に、生活圏のニーズに対応するサービス内容を再検証する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間輸送人員。 ・利用者のニーズ把握のために、沿線地域住民を対象としたアンケート調査やICカードの利用実績を分析したことに対して評価します。 ・公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことに対して評価します。引き続き、地域公共交通計画に基づいた取り組みが着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
都城市地域公共交通会議	有限会社 銀星タクシー	○運行区間: 都城市山之口町 北東部⇄中心部 ○運行日: 火・金曜日 ○運行回数: 1日往復3.5回※デマンド運行	○新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等と連携し、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施した。 ○現在、地域公共交通計画を策定中であり、地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる施策を検討中。	A	A	○地区内唯一のスーパーが閉店したことによる運行区間の再編を検討する。 ○新規利用者が増加しているため、引き続き、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施することにより、更なる新規利用者の開拓を進める。	○評価指標は、路線毎の1日当たり平均利用者数(路線定期運行)、又は1便当たり平均利用者数(区域運行)。 ○新規利用者開拓に向け社会福祉協議会等と連携しPRを実施するなど、利用促進に取り組み、目標の一部が未達成であるものの、公共交通の利用促進に取り組み、目標をおおむね達成されたことを評価します。来年度以降は、地域内の交通だけでなく幹線となる交通との関わりについての評価も、併せて実施されることを期待します。 ○引き続き、交通会議が設定する今後の改善点を着実に実行することにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		○運行区間: 都城市山之口町 南部⇄中心部 ○運行日: 月・水・木曜日 ○運行回数: 1日往復3回※デマンド運行	○新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等と連携し、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施した。 ○現在、地域公共交通計画を策定中であり、地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる施策を検討中。	A	A	○地区内唯一のスーパーが閉店したことによる運行区間の再編を検討する。 ○新規利用者が増加しているため、引き続き、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施することにより、更なる新規利用者の開拓を進める。		
	都城市	○運行区間: 都城市庄内地区 東西町平田乙房線 ○運行日: 月・火・木・金曜日 ○運行回数: 1日往復2回 ※路線定期	○新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等と連携し、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施した。 ○現在、地域公共交通計画を策定中であり、地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる施策を検討中。	A	B	○新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等と連携し、目的に応じた企画便を検討する。 ○引き続き、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施することにより、更なる新規利用者の開拓を進める。		
	都城市	○運行区間: 都城市庄内地区 関之尾川崎菓子野線 ○運行日: 月・火・木・金曜日 ○運行回数: 1日往復2回 ※路線定期	○新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等と連携し、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施した。 ○現在、地域公共交通計画を策定中であり、地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる施策を検討中。	A	A	○新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等と連携し、目的に応じた企画便を検討する。 ○引き続き、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施することにより、更なる新規利用者の開拓を進める。		
	都城市	○運行区間: 都城市夏尾町及び山田町 Aコース ○運行日: 月・水・金曜日 ○運行回数: 1日往復2.5回※デマンド運行	○新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等と連携し、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施した。 ○現在、地域公共交通計画を策定中であり、地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる施策を検討中。	A	B	○社会福祉協議会等と移動支援に関するアンケート調査や利用促進策の意見交換を実施し、更なる利用者増に繋げる。 ○引き続き、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施することにより、更なる新規利用者の開拓を進める。		
	都城市	○運行区間: 都城市山田町 Bコース ○運行日: 火・木・土曜日 ○運行回数: 1日往復2.5回※デマンド運行	○新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等と連携し、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施した。 ○現在、地域公共交通計画を策定中であり、地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる施策を検討中。	A	A	○社会福祉協議会等と移動支援に関するアンケート調査や利用促進策の意見交換を実施し、更なる利用者増に繋げる。 ○引き続き、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施することにより、更なる新規利用者の開拓を進める。		
	都城市	○運行区間: 都城市山田町 Cコース ○運行日: 水・金曜日 ○運行回数: 1日往復2.5回※デマンド運行	○新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等と連携し、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施した。 ○放課後、児童クラブの課外活動等と連携し、利用促進を図った。	A	A	○社会福祉協議会等と移動支援に関するアンケート調査や利用促進策の意見交換を実施し、更なる利用者増に繋げる。 ○引き続き、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施することにより、更なる新規利用者の開拓を進める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	①美々地線	○協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	A	○利用が目標乗車人数を下回る路線については、利用者へのアンケートや意見交換会等を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ○市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 ○令和5年12月から免許返納者が期間限定でコミュニティバス・乗合タクシーを半額で利用できる制度を創設した。 ○令和5年度に策定する地域公共交通計画に基づき、市民の意見を取り入れながら最適な路線の構築を検討していく。	○評価の指標は、路線毎の1往復当たり平均利用者数。 ○地域のニーズを踏まえた路線の見直しや乗り方教室などの利用促進に取り組まれていることを評価します。 ○自己評価については、利用者減少の要因を分析するとともに、利用者のニーズを把握した上で、子ども、学生、高齢者など公共交通を利用したい方に対してアプローチすることも検討願います。 ○引き続き、協議会が設定する今後の改善点を着実に実行することにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		②鹿川線			A			
		③二股線			A			
		④猿渡線			A			
		⑤三ヶ村線			A			
		⑥大保下線			A			
		⑦下崎・笠下黒原線			C			
		⑧片内・菅原線			A			
		⑨上中尾線			A			
	(共同運行) 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー	⑩下塚線	○協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 ○⑬においては、地域住民からの要望を基に、令和5年2月から経路変更を行った。	A	C	○乗車率が目標を下回っている路線について、利用者を含む地域住民意見交換会を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ○路線⑬については、地域住民との意見交換会を実施し、移動需要の把握を行った。令和6年2月から経路・時刻表の見直しを行う予定。 ○市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 ○令和5年12月から免許返納者が期間限定でコミュニティバス・乗合タクシーを半額で利用できる制度を創設した。 ○令和5年度に策定する地域公共交通計画に基づき、市民の意見を取り入れながら最適な路線の構築を検討していく。		
		⑪市尾内線			A			
		⑫三川内線			A			
		⑬上三輪・貝の畑～祇園線			A			
		⑭安井・神戸～レーヨン線			A			
		⑮須佐～大武線			A			
		⑯小川、平田～祇園線			A			
	延岡市 ※自家用有償旅客運送	⑰上赤線	○協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりコミュニティバスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 ○路線⑱については、乗車率が増加(目標の約2倍)したことから、現行の運行を維持しつつ、住民との意見交換を通じて適宜ニーズを把握していく。	A	A	○特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナウイルスの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ○市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 ○令和5年度に策定する地域公共交通計画の動きに合わせて今一度、現状等の整理や評価を実施し、最適な路線の構築を検討していく。		
		⑱下塚線			A			
		⑲瀬川線			A			
		⑳家田線			C			
	宮崎交通(株)	○1系統	⑱まちなか循環バス	A	A	○小学生の運賃無料期間キャンペーンを引き続き実施しつつ、当該キャンペーンと合同で実施する取組を検討する。 ○自治会、高齢者クラブ等を対象としたバスでの「お出かけ企画」にてまちなか循環バスを活用する。 ○小学生向けのバス乗り方教室を通じてまちなか循環バス利用の機運を醸成する。 ○市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 ○令和5年度に策定する地域公共交通計画に基づき、市民の意見を取り入れながら最適な路線の構築を検討していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林-上九瀬線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	須木区域唯一の路線であり、通学で利用している利用者がいるため、維持・存続が不可欠である。区域住民と連携して新規利用者の開拓を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。	○評価の指標は、路線毎の年間利用者数。 ○広報紙やイベント等での公共交通の認知度向上や乗り方教室など、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ○自己評価については、利用者の増加・減少を分析し、そこから対応策につなげていくことをご検討願います。 ○引き続き、協議会が設定する今後の改善点を着実に実行することにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		小林-鶴野循環線		A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
		小林-岡原循環線		A	C	運行経路の見直しやダイヤ改正等により、地域のニーズに沿った路線への転換を図る。		
		小林-種畜牧場線		A	C	運行経路の見直しやダイヤ改正等により、地域のニーズに沿った路線への転換を図る。		
		小林-南ヶ丘線		A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
		小林-環野-千歳線		A	A	様々な機会において、利用促進を図ったことにより目標値を達成した。引き続き、地域のニーズ把握に努め、利用促進を図る。		
		小林-運動公園循環線		A	C	運行経路の見直しやダイヤ改正等により、地域のニーズに沿った路線への転換を図る。		
		小林-深草循環線		A	A	様々な機会において、利用促進を図ったことにより目標値を達成した。引き続き、地域のニーズ把握に努め、利用促進を図る。		
		小林-大出水循環線		A	A	様々な機会において、利用促進を図ったことにより目標値を達成した。引き続き、地域のニーズ把握に努め、利用促進を図る。		
		小林-三松循環線		A	A	複数の病院や商業施設を経由する路線であり、主要施設を循環するバスとして維持・存続が不可欠である。引き続き、イベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
小林-上原循環線	A	A	運行日の見直し等を実施したことにより目標値を達成した。引き続き、地域のニーズ把握に努め、利用促進を図る。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	日向市	東1コース (イオンタウン日向・櫛の山)	<p>○後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図った。</p> <p>○出前教室や、スマホ教室に outgoing、市民バス紹介チラシや、体験乗車ができるよう無料乗車券を配布し新規利用者の獲得を図った。</p> <p>○住民の要望を受け、R4.10.1から南部ぶらっとバスの新規ルートを開設し、これに伴う運行経路の延長に対応するため、休憩中の温泉バス停を停止し運行ルートの改善を図った。</p>	A	A	<p>○高齢者向けスマホ教室等 outgoing、市民バスの周知や無料乗車券の配布により体験乗車をしていただくことで、新規利用者の獲得を図る。</p> <p>○運転免許の自主返納者に対して市民バス利用を促す。</p> <p>○利用促進を図るために、利便増進実施計画に基づき、往復での利用がしやすい交通体系への転換や新しい交通システムの導入を検討する。</p>	<p>○評価の指標は、路線毎の年間利用者数。</p> <p>○市民に対する公共交通の認知度向上等の利用促進や利用者ニーズを踏まえ路線再編等に取り組まれていることを評価します。</p> <p>○自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことも検討願います。</p> <p>○引き続き、交通会議が設定する今後の改善点を着実に実行することにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	
		東2コース1(イオンタウン日向・水ヶ浦公園・幡浦)		A	B			
		東2コース2(イオンタウン日向・幡浦)						
		西1コース1 (比良町・小原)		A	A			
		西1コース1 (比良町・奥野)						
		西2コース (本谷・新財市)		A	A			
		南1コース (比良町・向洋台)		A	B			
		南2コース (長江団地入口・往還)		A	B			
		北1コース (花ヶ丘・日向台・亀崎)		A	A			
		北2コース (大王谷・梶木)		A	B			
		美々津日向市駅線コース1		A	A			
		美々津日向市駅線コース2						
		美々津日向市駅線コース3						
		田野羽坂線		<p>○後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図った。</p> <p>○出前教室や、スマホ教室 outgoing、市民バス紹介チラシや、体験乗車ができるよう無料乗車券を配布し新規利用者の獲得を図った。</p> <p>○まちづくり協議会と連携し、地区別時刻表の全戸配布を行った。</p> <p>○車両を更新し、安全性の向上と利用機運の醸成を図った。</p> <p>○空気浄化装置を設置し、安心して利用できる環境づくりに努めた。</p>	A			A
		仲深坪谷越表線		A	A			
		福瀬小野田線		A	B			
		仲深坪谷線		A	B			
鶴野内迫野内八重原線	A	A						
寺迫庭田線	A	B						
飯谷田の原線	A	C						
鶯毛初木線	A	A						

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社	(1)平野・石尾線 西都ショッピングセンター～石尾	見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	A	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。	○評価の指標は、路線毎の年間利用者数。 ○自己評価については、利用者増加・減少の要因を分析するとともに利用者ニーズを把握した上で、子ども、学生、高齢者など公共交通を利用してほしい方に対してアプローチすることも検討願います。 ○引き続き、交通会議が設定する今後の改善点を着実に実行することにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		(2)長谷線 西都ショッピングセンター～上長谷	見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	B	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
		(3)山田・上沖線 西都ショッピングセンター～中山	見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	B	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
		(4)岩爪線 西都ショッピングセンター～岩爪	見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	C	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
		(5)長園線 西都ショッピングセンター～長園	見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	C	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
		(6)岩井谷・並木線 並木～西都ショッピングセンター	見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	B	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
		(7)穂北線 西都ショッピングセンター～尾吐	見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	A	10月からデマンド運行部分の拡大を行った。今後は運行経路の見直しなどを検討する。		
	(10)茶臼原線 茶臼原周辺～穂北支所周辺・妻地区	廃止された茶臼原の路線バス沿線の住民の移動手段として穂北支所周辺や妻地区とを結ぶ区域運行デマンド型乗合タクシーの実証運行を開始した。	A	B	10月から茶臼原地区と隣接する竹尾・平原地区を運行するデマンド型乗合タクシーを統合して区域運行エリアの拡大を図った。今後もエリアの拡大を検討する。			
	宮崎タクシー株式会社	(8)竹尾・平原線 平原公民館～西都バスセンター	見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	A	10月から茶臼原地区の区域運行デマンド型乗合タクシーと統合した。今後もエリアの拡大を検討する。		
		(9)加勢・小豆野線 小豆野～西都バスセンター	見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	A	10月から当該路線へ接続する区域運行デマンド型乗合タクシーの新設を行った。利用状況に応じて見直しを検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
高原町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	不定期路線運行:小久保線 [月・木・金] 8:44から11:36まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえ一部のエリアを区域運行エリアへ変更し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	A	令和4年10月より小久保線は一部エリアを区域運行(デマンド型)へ変更したことで、利用者数が目標値を大きく上回る結果になったと考えられる。また、同じく令和4年10月より常盤台線は区域エリアを拡大したことで、利用者数が増加したと考えられる。 一方で、定期路線運行の後川内線と湯之元蒲牟田線では利用者数が減少、広原線は令和4年10月より新規路線として運行を開始したものの、情報の周知不足もあり利用客数が1人であった。 引き続き、利用状況の把握に努め、必要に応じたルート・ダイヤの見直し、また、定期路線から区域運行型への転換も視野に入れて改善していく必要がある。 さらには、公共交通に対する町民への関心を高めるため、広報紙への情報掲載や乗り方教室等も継続して行っていく。	○評価の指標は、路線毎の年間利用者数。 ○町民に対する公共交通の認知度向上等の利用促進や利用者ニーズを踏まえ路線再編等に取り組まれていることを評価します。 ○目標を大きく下回っていることから、月毎の利用状況の分析や利用者の実感の把握に努め、公共交通を使ってほしい方へのアプローチの実施等もご検討願います。 ○引き続き、協議会が設定する今後の改善点を着実に実行することにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		定期路線運行:後川内線 [火・金・土] 8:15から12:28まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤ・ルートによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	C			
		定期路線運行:湯之元蒲牟田線 [水・土] 8:20から12:00まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤ・ルートによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	C			
		不定期路線運行:常盤台線 [月・木] 8:29から11:45まで	利用者・事業者への意見聴取内容や現状の利用状況を踏まえて、区域エリアを拡大した。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	A			
		不定期路線運行:広原線 [月・水] 8:30から12:12まで	令和4年10月より利用者の要望を受けて新規路線として運行を開始した。	A	C			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
川南町地域公共交通会議	三和交通株式会社	(1)定期路線運行:尾鈴線 (2)定期路線運行:通浜線 (運行時間7:30~8:30) R04.10~R05.9	バス停へ設置していた時刻表の更新を行った。 町立小中学校(4校)に対し、トロントロンバスを活用した利用方法等の説明を行った。 長寿会へトロントロンバスの運行態様の説明を行った。	A	A	新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、人々の移動が活発的になったため利用者が増加した。今後は、さらなる利用の促進や定着に向け、利用者の利用状況や意見等を踏まえ継続的に検討を行い、ダイヤ等の見直し・検討を行っていく。	○評価の指標は、運行形態毎(定期路線運行・オンデマンド運行)の月間利用者数(オンデマンド運行は利用登録者数も設定)。 ○町内の小中学校や長寿会に対する出前授業の実施など、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ○公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。来年度以降は、地域内の交通だけでなく幹線となる交通との関わりについての評価も、併せて実施されることを期待します。 ○引き続き、協議会が設定する今後の改善点を着実に実行されることを期待します。 ○今後、市町村等が主体となり、関係者と協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。 ○交通会議のWEB開催も検討し、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらおうための場として活用されることを期待します。	
		(3)オンデマンド運行:町内全域 時間8:40~18:00 R04.10~R05.9 (運行)	町立小中学校(4校)に対し、トロントロンバスを活用した利用方法等の説明を行った。 長寿会へトロントロンバスの運行態様の説明を行った。	A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会日向支部	①牧山線	○ 新規利用者を増やすために利用者拡大キャンペーンを実施することで、利用促進を図った。 ○ 定期的に停留所の時刻表の張替えを行い、利用環境の改善を図った。	A	B	他の路線に比べて利用者が多い路線であるが、今後も継続して利用していただくように広報誌等を活用して利用促進を行っていく。また、利用者の状況を整理し、新たな停留所の設置するなど利便性向上を図っていく。	○評価の指標は、路線毎の1便当たり平均利用者数(一部路線は収支率も設定)。 ○新規利用者開拓に向け、キャンペーン開催等の利用促進やバス停留所の利用環境改善に取り組みられていることを評価します。 ○自己評価については、利用者の増加・減少の要因分析や利用者のニーズを把握した上で、そこから対応策に繋げていくこともご検討願います。 ○引き続き、交通会議が設定する今後の改善点を着実に実行することにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		②大迫・庵川線		A	B	一定の利用者は定着しているが、新規利用者を増やすため、広報誌等を活用して利用促進を行っていく。また、利用者の状況を整理し、路線の一部見直しを図っていく。		
		③竹名・中村線		A	B	一定の利用者は定着しているが、新規利用者を増やすため、広報誌等を活用して利用促進を行っていく。また、利用者の状況を整理し、新たな停留所の設置するなど利便性向上を図っていく。		
		④中山・五十鈴線		A	B	一定の利用者は定着しているが、新規利用者を増やすため、広報誌等を活用して利用促進を行っていく。また、利用者の状況を整理し、新たな停留所の設置するなど利便性向上を図っていく。		
		⑤大池・中山線		A	B	一定の利用者は定着しているが、新規利用者を増やすため、広報誌等を活用して利用促進を行っていく。また、利用者の状況を整理し、新たな停留所の設置するなど利便性向上を図っていく。		
		⑥本町巡回線		A	B	利用者が多い便と少ない便が明確に分かれているため、広報誌等を活用して利用促進を行っていく。また、利用者の状況を整理し、新たな停留所の設置するなど利便性向上を図っていく。		
		⑦三ヶ瀬線(町内行きコース)		C	C	予約制の路線であり、現状では利用はないが、将来的には利用が見込まれる。また、運賃設定が他の路線より高いため、料金改定を行い利用しやすい路線にしていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
木城町地域公共交通会議	三和交通株式会社	<p>○デマンド型乗合タクシー「あおばと号」</p> <p>○系統名 ・オンデマンド運行(平坦部) ※月・水・金運行(年始運休) ・オンデマンド運行(大字中之又地区) ※隔週水曜日運行(年始運休)</p>	<p>○登録者を増やすための施策としては、広報誌等でのPRを継続。また、福祉・交通安全担当部署と連携することで交通弱者に対する積極的なアプローチを図った。</p> <p>○公共交通計画策定に伴い、乗合タクシー利用登録者全員を対象に、利用実態や利用ニーズの把握のための調査を行った。</p> <p>○今後も継続して利用促進に係る取組を実施しながら、利用者の利便性と運行の効率性の両立を図り、持続可能な公共交通網の構築を図っていくために、木城町地域公共交通計画(R6.3策定予定)に乗合タクシーに関する施策を明記する予定。</p>	A	A	<p>広報誌やSNS、新聞媒体を活用した広報活動、福祉・交通安全担当部署との連携強化については引き続き実施しながら、高齢者集会等での利用登録推進のための取組を更に強化する。</p>	<p>○評価の指標は、利用登録者数・実利用者数・月平均利用者数。</p> <p>○広報誌等を活用した公共交通の認知度向上や福祉・交通安全部署と連携し高齢者等へアプローチを行うなど、利用促進に取り組まれていることを評価します。</p> <p>○公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。来年度以降は、地域内の交通だけでなく幹線となる交通との関わりについての評価も、併せて実施されることを期待します。</p> <p>○引き続き、交通会議が設定する今後の改善点を着実に実行することにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	
				A	A	<p>○利用登録者全員を対象に行った、利用実態及びニーズ調査の結果をしっかりと検証・分析を行い、更なる利便性の向上を図ることで、新たな利用者層の掘り起こしを行う。</p> <p>○利用登録を行っているものの、一度も利用していない未利用者層の利用促進を図ることで、乗合タクシー利用のためのきっかけを創出する。</p> <p>○中之又地区については、引き続き利用がない状況が続いている。他の交通支援についても検討を進める必要があると考えるが、方向性が定まるまでの期間については、地域交通を確保する必要があることから、系統としては継続することとする。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
串間市地域公共交通会議	串間市	①道の駅くしま～北方～ニシムタ～市役所～道の駅くしま ②道の駅くしま～ニシムタ～串間保育園～道の駅くしま ③道の駅くしま～マリンタウン1～マリンタウン2～市役所～道の駅くしま ④道の駅くしま～マリンタウン1～マリンタウン2～イルカランド～道の駅くしま ⑤道の駅くしま～マリンタウン1～マリンタウン2～市役所～串間保育園～道の駅くしま ⑥道の駅くしま～イルカランド ⑦市民病院～道の駅くしま～有明～イルカランド ⑧道の駅くしま～上田口～古竹 ⑨道の駅くしま～上田口～奴久見～古竹 ⑩市民病院～市役所～下平～都井岬 ⑪市民病院～道の駅くしま～黒井～名谷 ⑫道の駅くしま～名谷 ⑬道の駅くしま～谷ノ口～鯛取 ⑭市民病院～道の駅くしま～射場地野 ⑮市民病院～道の駅くしま～徳間～仲別府～奈留 ⑯市民病院～道の駅くしま～三幸ヶ野～上大矢取 ⑰市民病院～道の駅くしま～胡桃ヶ野～大平～風野 ⑱市民病院～道の駅くしま～串間温泉～永田 ⑲串間駅～永田 ⑳市民病院～道の駅くしま～吾社～串間温泉～上運保ヶ野 ㉑串間駅～上運保ヶ野 ㉒道の駅くしま～幸島～夫婦浦 ㉓串間駅～郡司部～幸島 ㉔道の駅くしま～串間温泉～郡司部～幸島 ㉕道の駅くしま～串間温泉～石原～幸島 ㉖市民病院～道の駅くしま～谷ノ口～鯛取	○ 利用者の要望・意見を考慮しつつ、よかバスとJR日南線が接続しやすくなるよう運行形態や路線等の見直しを行い、令和4年10月1日にダイヤを改正した。 ○ 利用者増加のための乗り方教室や、よかバス利用者への特典などの周知も行き、利用促進事業を推進した。	A	C	○ 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、利用者数は回復傾向であるが目標値を下回っている。 ○ 乗込み調査等により移動ニーズを把握し、運行形態や運行水準の見直しによる効率的かつ持続可能な路線の構築を目指すとともに、自家用車の運転を継続している高齢者を対象に、自家用車から公共交通への移行又は自家用車と公共交通を組み合わせた乗り方教室を開催し利用者増加を図る。 ○ 広報活動を強化するため、乗り方教室などの利用促進事業を「広報くしま」や市公式サイト等も活用して情報発信に努める。	○ 評価の指標は、路線毎の年間利用者数。 ○ バスの乗り方教室などの利用促進や利用者ニーズを踏まえ路線再編・ダイヤ改正等に取り組みられていることを評価します。 ○ 目標を大きく下回っていることから、利用者減少の要因を分析や利用者の実態把握に努め、公共交通を使ってほしい方へのアプローチの実施等もご検討願います。 ○ 引き続き、交通会議が設定する今後の改善点を着実に実行することにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株) 鹿児島交通(株)	那答院～川内駅 (市内横断シャトルバス)	・市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者への割引制度や、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示者及び同行する介護人証の提示者への割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、利用促進を図った。 ・各地区コミュニティ協議会や公共施設へバスの時刻表等を定期的に配布し、積極的なコミュニティ交通の利用を促した。	A	B	今後利用者数の増加に向け、引き続き市HP等で、高齢者の運転免許証自主返納者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示者及び同行する介護人証の提示者に対する運賃割引制度や、沿線案内をからめた路線紹介等、利用啓発・利用促進により一層努めていく。 また、各地区コミュニティ協議会や公共施設へのバス時刻表の定期的な配布を継続するとともに、高齢者の運転経歴証明書受領者に対し、運賃割引制度案内チラシや薩摩川内市バスマップを配布することにより、コミュニティ交通の積極的な利用を促す。 量的目標の設定については、地域公共交通計画の目標と合わせ、適切な目標の設定に努める。	・評価の指標は、路線ごとの1便当たりの利用者数。 ・高齢者の運転経歴証明書受領者に対し、運賃割引制度案内チラシや薩摩川内市バスマップを配布することにより、コミュニティ交通の積極的な利用を促す取り組みを評価します。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に改善されることを期待します。	
	鹿児島交通(株)	外輪山北口～川内駅 (市内横断シャトルバス)		A	B			
	南国交通(株)	湯田・西方循環線(西回り) (北部循環バス)	A	B				
	南国交通(株)	湯田・西方循環線(東回り) (北部循環バス)	A	C	今後利用者数の増加に向け、引き続き市HP等で、高齢者の運転免許証自主返納者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示者及び同行する介護人証の提示者に対する運賃割引制度や、沿線案内をからめた路線紹介等、利用啓発・利用促進により一層努めていく。 また、各地区コミュニティ協議会や公共施設へのバス時刻表の定期的な配布を継続するとともに、高齢者の運転経歴証明書受領者に対し、運賃割引制度案内チラシや薩摩川内市バスマップを配布することにより、コミュニティ交通の積極的な利用を促す。 量的目標の設定については、地域公共交通計画の目標と合わせ、適切な目標の設定に努める。			
	南国交通(株)	城上・吉川循環線(西回り) (北部循環バス)	A	C				
	南国交通(株)	城上・吉川循環線(東回り) (北部循環バス)	A	B				
	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(国道回り) (川内港シャトルバス)	A	A	高速船と接続している国道回りでは、昨年度に引き続き観光需要等の回復が見られた。 今後も他の交通機関との接続を考慮し、経路検索事業者へのデータ提供を行うとともに、新たな利用者(観光客等)増と地域住民の利用者増に向け、更なる利用啓発・利用促進に努める。 量的目標の設定については、地域公共交通計画の目標と合わせ、適切な目標の設定に努める。			
	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(県道回り) (川内港シャトルバス)	A	B				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
霧島市地域公共交通会議	南国交通(株)	溝辺地区におけるふれあいバスの運行 (1)竹子・三縄・横川線 (2)麓線 (3)空港崎森線	持続可能な運行に向け、令和5年10月から中学生未満80円から100円、中学生以上150円から200円へ運賃値上げを行った。	A	C	■数値目標の達成に向けて、霧島市地域公共交通計画に掲げる事業を着実に実施する。 <主な事業> ・ふれあいバスの運行の見直し ・交通モード間の乗継の推進 ・地域座談会の開催を通じた運行 ニーズの把握及びデマンド交通の利用方法の説明	・評価指標は、路線毎の一日あたりの乗車人数。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
				A	C			
				A	A			
	鹿児島交通(株)	福山地区におけるふれあいの運行 (1)福地・池之谷 (2)比曽木野線 (3)福地線(スクール対応)登校便 (4)福地線(スクール対応)下校便 (5)福沢線(スクール対応)登校便 (6)福沢線(スクール対応)下校便		A	C			
				A	A			
				A	C			
				A	C			
				A	C			
				A	C			
	(株)有村観光	霧島地区永水・向田地域におけるデマンド交通の運行 (1)永水・向田線		A	A			
		隼人地区におけるはやと循環ワゴンの運行 (1)はやと循環ワゴン		A	A			
	(有)中村タクシー	福山地区佳例川地域・福山地域におけるデマンド交通の運行 (1)佳例川線 (2)福山線		A	C			
		隼人地区におけるはやと循環ワゴンの運行 (1)はやと循環ワゴン		A	A			
	第一交通(株)	霧島地区狭名田・野上地域におけるデマンド交通の運行 (1)狭名田・野上線		A	A			
旭交通(株)	福山地区福沢地域におけるデマンド交通の運行 (1)福沢線	A	C					
(株)タクシー国際	横川地区山ノ口・今村植村地域及び牧園万膳・川影地域におけるデマンド交通の運行 (1)山ノ口・今村植村 (2)万膳・川影線	A	C					
		A	C					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	谷山地域あいばすの運行	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。 ・路線沿線の町内会に対し、誰でも利用できることなどを記載した利用案内チラシの回覧を実施した。 ・X(旧ツイッター)やフェイスブックを利用し、利用促進のための広報を行った。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地域の利用者の意見や要望を聞きながら、需要に応じた運行計画づくりに努める。 ・潜在的な利用者の掘り起こしのための分かりやすい情報提供に努める。 ・ポイントラリーの周知広報を強化し、新規利用者の獲得及び既存利用者の利用回数増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の一日あたりの利用者数。 ・ポイントラリーの周知広報を強化し、新規利用者の獲得及び既存利用者の利用回数増加を図る取り組みを評価します。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・今後も、令和3年度に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 	
		喜入地域あいばすの運行		A	B			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株)	浜田入口～河内温泉の運行(平山線)	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知や情報提供を行った。 また、役場企画課で無料券の発行業務を行ったほか、各地区の地域支え合い推進委員へ無料券申請書の受付業務の協力を依頼した。	A	C	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知に加え、各地区地域支え合い推進委員へ周知の協力を依頼し、新規利用者確保に向けた取り組みを進める。 また、運行形態についても、引き続き検討を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の利用者数。 ・各地区地域支え合い推進委員へ周知の協力を依頼し、新規利用者確保に向けて取り組まれていることを評価します。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
		Aコープ前～河内温泉の運行(荳永線)		A	A			
		役場～河内温泉の運行(西之線)		A	B			
		牛野～河内温泉の運行(島間線)		A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
鹿児島交通(株)		拠点間バス 誦娃・川辺線(誦娃～霜出～川辺)	市ホームページでの周知の他、経路検索サービスへの掲載を実施した。また利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、2便(8:24川辺文化会館発)・5便(13:04誦娃図書館発)の利用が少ないなど、便ごとに利用状況が異なることから、それらを精査し、必要に応じて運行計画の変更を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の平均乗車人数。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・今後も、令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 	
		拠点間バス 番所鼻公園・知覧線(番所鼻公園～霜出～知覧)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、2便(8:31知覧発)・7便(16:42番所鼻公園発)の利用が少ないなど、便ごとに利用状況が異なることから、それらを精査し、必要に応じて運行計画の変更を検討する。		
		川辺系統①瀬戸山・下里線(瀬戸山～下里～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		川辺系統⑥東木場・大久保線(屋敷平～本別府大久保～文化会館)		A	B	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約型乗合タクシーの実証運行を開始、今後検証する。(実証運行に伴い、当該系統は運休。)		
		川辺系統⑦田の頭・勝目西線(田の頭～勝目西～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		川辺系統⑧君野・下山田東線(君野西～大山入口～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		川辺系統⑨打木谷・大谷線(打木谷～上之口～文化会館)		A	A	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		
		川辺系統⑭市街地周回線(文化会館～病院前～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査等を基にニーズの高い場所をルートに加える等の変更を検討する。		
		知覧系統②後岳・手叢線(伊川三叉路～市役所～保健センター)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		
		知覧系統⑧加治佐・松村線(加治佐～保健センター～知覧)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会	川辺系統②市崎野・野間大久保線(市崎野～横手町～文化会館)	市ホームページでの周知や、利用者登録を電子申請も可能としたほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	対象地域住民への広報周知を強化して、新規利用者の獲得を目指すと共に、実証運行中のドアtoドア型の予約乗合型タクシーの検証結果によって変更を検討する。		
		川辺系統③八瀬尾・野崎線(滝の前～野崎公民館～文化会館)	市ホームページでの周知の他、経路検索サービスへの掲載を実施した。また利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		川辺系統④山添・六丁線(山添～平山六丁～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		川辺系統⑤西の原・高田線(西の原～高田下～文化会館)		A	B	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約乗合型タクシーの実証運行を開始、今後検証する。(実証運行に伴い、当該系統は運休。)		
		川辺系統⑩馬立・神殿線(火之河原～中服良～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		川辺系統⑪松尾城・野間里線(松尾城橋～野間里～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		川辺系統⑫荒多・越原線(荒多～越原～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		川辺系統⑬本別府・宮線(川原～宮～文化会館)		A	B	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約乗合型タクシーの実証運行を開始、今後検証する。(実証運行に伴い、当該系統は運休。)		
		知覧系統①木床・上郡上線(木床～上郡上～保健センター)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		知覧系統③厚地・河上線(寺園～河上～保健センター)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		知覧系統④下郡・打出口線(小金園～打越～保健センター)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		知覧系統⑤峯苔・平久保線(峯苔～平久保～知覧)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		知覧系統⑥二ツ谷・堤之原線(二ツ谷～堤之原～知覧)		A	C	対象地域住民への広報周知を強化して、新規利用者の獲得を目指すと共に、実証運行中のドアtoドア型の予約乗合型タクシーの検証結果によって変更を検討する。		
		知覧系統⑦高星・林川線(高星～林川～知覧)		A	B	現在の運行が、住民のニーズに適していないことも考えられるため、運行形態の見直しを検討する。		
		知覧系統⑨飯野・横峯線(高吉～中福良～知覧)	A	B	対象地域住民への広報周知を強化して、新規利用者の獲得を目指すと共に、実証運行中のドアtoドア型の予約乗合型タクシーの検証結果によって変更を検討する。			
知覧系統⑩大隣・松久保線(大隣南～松久保～霜出げんき館)	A	B	現在の運行が、住民のニーズに適していないことも考えられるため、運行形態の見直しを検討する。					
知覧系統⑪竹迫・立山線(竹迫北～立山～霜出げんき館)	A	B	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約乗合型タクシーの実証運行を開始、今後検証する。(実証運行に伴い、当該系統は運休。)					
知覧系統⑭中渡瀬・木原線(中渡瀬～上木原～松山)	A	C	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約乗合型タクシーの実証運行を開始、今後検証する。(実証運行に伴い、当該系統は運休。)					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考					
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果						
(株)南九州あづま交通		颯娃系統②浦芝原・麓線(浦芝原～麓南～颯娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	現在の運行が、住民のニーズに適していないことも考えられるため、運行形態の見直しを検討する。							
		颯娃系統④佃・奥園線(佃～奥園～颯娃図書館)		A	B	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約型乗合タクシーの実証運行を開始、今後検証する。(実証運行に伴い、当該系統は運休。)							
		颯娃系統⑥矢越・山下線(矢越～御領山下～颯娃図書館)		A	B	利便性向上を図るため、令和5年13月からドアtoドア型の予約型乗合タクシーの実証運行を開始、今後検証する。(実証運行に伴い、当該系統は運休。)							
		颯娃系統⑦蓮子・水成川線(蓮子～水成川～颯娃図書館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。							
		颯娃系統⑧青戸・福留線(青戸農村公園～福留～颯娃図書館)		A	C	対象地域住民への広報周知を強化して、新規利用者の獲得を目指すと共に、実証運行中のドアtoドア型の予約乗合型タクシーの検証結果によって変更を検討する。							
		颯娃系統⑨源川・小原線(加治佐～小原～颯娃図書館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。							
		颯娃系統⑩曲谷・赤崎線(曲谷～赤崎～颯娃図書館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。							
		颯娃系統⑪種子尾・一氏線(種子尾～一氏～颯娃図書館)		A	B								
		颯娃系統⑬源川・耳原線(加治佐～耳原～別府温泉)		A	B								
		颯娃系統⑭青戸・石垣線(青戸農村公園～石垣～別府温泉)		A	B								
		(有)池田観光			颯娃系統①長崎・前原線(長崎～前原～颯娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。			A	B	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		
					颯娃系統③永谷・春向線(永谷～春向～颯娃図書館)				A	B	現在の運行が、住民のニーズに適していないことも考えられるため、運行形態の見直しを検討する。		
					颯娃系統⑤下出・木之元線(下出～木之元～颯娃図書館)				A	B	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約型乗合タクシーの実証運行を開始、今後検証する。(実証運行に伴い、当該系統は運休。)		
					颯娃系統⑬熊ヶ谷・栲山線(熊ヶ谷～栲山～颯娃図書館)				A	B	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	輝北地区ぐるりんバス 西ルート (市成出張所～歌丸～輝北総合支所)	*運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R8.3) *市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。 *区域運行型デマンド交通への移行に向けた検討を進めた。	A	C	*R6年度中に区域運行型デマンド交通へ移行する。 ※R5年度は接続要件を満たさず補助対象外	*評価の指標は、路線毎の1便当たりの平均利用者数。 *利便性を上げるため区域運行型デマンド運行への以降に取り組まれたことは評価します。 *自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこら対応策に繋げていくことをご検討願います。 *今後も、令和3年度に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		輝北地区ぐるりんバス 東ルート (飯屋多目的交流センター～中平房～輝北総合支所)		A	B			
		輝北地区ぐるりんバス 中央ルート (輝北ふれあいセンター～百引～輝北ふれあいセンター)		A	C			
		輝北地区ぐるりんバス 堂平ルート (荒平橋～百引～輝北ふれあいセンター)		A	C			
		吾平地区ぐるりんバス 東ルート (吾平振興会館～湯遊ランドあいら永野牧～吾平振興会館)	A	C	*R5.12に区域運行型デマンド交通へ移行した。 ※R5年度は便人数要件を満たさず補助対象外(※R5.11で運行終了)			
		吾平地区ぐるりんバス 西ルート (真戸原～坂元湯遊ランドあいら～吾平振興会館)	A	A	*東ルートの見直しと合わせ、R5.12に区域運行型デマンド交通へ移行した。(※R5.11で運行終了)			
		かのやくるりんバス(市街地巡回バス) (鹿屋～西原寿中央～鹿屋) *西まわり *東まわり	A	A	*更なる利便性向上のため、利用者や地域のニーズを踏まえた、路線バスの見直しに対応した路線再編を検討する。			
		串良地区ぐるりんバス 馬掛ルート (馬掛公民館～永和～串良さくら温泉)	A	C	*目標を下回り、かつ国庫補助要件を下回る極めて厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。 ※R5年度は便人数要件を満たさず補助対象外			
		串良地区ぐるりんバス 新堀ルート (新堀公民館～永和～串良さくら温泉)	A	B	*目標を下回るなど依然厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。			
		串良地区ぐるりんバス 市街地・堅田ルート (串良さくら温泉～堅田永和～串良さくら温泉) *上り *下り	A	C	*目標を下回り、かつ国庫補助要件を大きく下回る極めて厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。 ※R5年度は便人数要件を満たさず補助対象外			
	串良地区ぐるりんバス 市街地ルート (串良さくら温泉～永和～串良さくら温泉)	A	B	*国庫補助要件を大きく下回る厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。 ※R5年度は便人数要件を満たさず補助対象外				
	かのやくるりんバス(市街地巡回バス・北ルート) (鹿屋～茅場旭原～鹿屋) *右まわり *左まわり	A	A	*更なる利便性向上のため、利用者や地域のニーズを踏まえた、路線バスの見直しに対応した路線再編を検討する。				
	大始良地区ぐるりんバス (鹿屋～川西南～鹿屋) *右まわり *左まわり	A	A	*更なる利便性向上のため、利用者や地域のニーズを踏まえた、路線バスの見直しに対応した路線再編を検討する。				
	鹿児島第一交通(株) 鹿屋営業所	かのやく市乗合タクシー (区域運行) 天神・船間～花岡・西原	*利便性向上と利用促進を図るため、運行区域・運行日数・便数を拡充に向けた検討を進めた。	A	A	*路線バスの見直しと合わせ、R5.10に運行区域・運行日数・便数を拡充した。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
垂水市地域公共交通活性化協議会	小森 勇(協和タクシー)	事前予約型乗合タクシー運行 (市木地区～中央地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等を周知 ・乗合タクシー制度に対する意見や要望等を収集するため、利用者を対象としたアンケート調査(聞き取り)を実施 ・乗合タクシーの利用者数増加を図るため、振興会長及び高校生を対象としたアンケート調査を実施 	A	C	目標未達の要因として、障がい者手帳割引利用者が令和3年度より297人減少していることから、自然減や施設入所等が考えられる。 利用状況や各種アンケート調査結果、運行事業者会議での協議内容を踏まえ、利便性の向上に努め、持続可能な運行を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の利用者数。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。 	
	(有)オダ	事前予約型乗合タクシー運行 (大野地区～中央地区)		A	A	通学による安定的な利用者の確保に加え、令和2年10月からの増便及び時間変更が目標達成につながったと考える。 利用状況や各種アンケート調査結果、運行事業者会議での協議内容を踏まえ、利便性の向上に努め、持続可能な運行を目指す。		
	南海交通(株)	事前予約型乗合タクシー運行 (水之上地区～中央地区) ※内ノ野ルート		A	C	目標未達の要因として、対象地域70歳以上の人口が令和3年度より10人減少しており、割引適用利用者数が令和3年度より416人減少していることから、自然減や施設入所等が考えられる。 利用状況や各種アンケート調査結果、運行事業者会議での協議内容を踏まえ、利便性の向上に努め、持続可能な運行を目指す。		
		事前予約型乗合タクシー運行 (水之上地区～中央地区) ※小谷ルート		A	A	当初、令和元年度から3年度の人口減少幅が大きかったため、目標値についても人口減少を考慮し減らしていたが、対象地域の70歳以上の人口が令和3年度と比較して3人しか減少しておらず、想定より自然減が少なかったため目標達成したと考える。 利用状況や各種アンケート調査結果、運行事業者会議での協議内容を踏まえ、利便性の向上に努め、持続可能な運行を目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団	知名～沖永良部空港間の路線バスの運行	航空便のダイヤに接続するため始発運航時刻の改正を行い、利用者の利便性を向上させた。	A	B	目標には達していないが、島内公共交通の基幹路線としての他路線との接続や航空ダイヤとの接続に配慮した運行ダイヤ設定について、利用者アンケート調査等を実施して検討する。また、今後益々、少子高齢化による利用者の減少が予想されることから、事業運営継続に向けて、効率的な路線の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の利用者数。 ・地域公共交通の確保・維持に向けて、観光利用と住民利用のバランスを考慮した上で、両者に配慮した改善策が実施されることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
		知名～国頭間の路線定期バスの運行	航空便のダイヤに接続するため始発運航時刻の改正を行い、利用者の利便性を向上させた。	A	A	目標を達成できた。島内公共交通の基幹路線としての他路線との接続や航空ダイヤとの接続に配慮した運行ダイヤ設定について、利用者アンケート調査等を実施して検討する。また、今後益々、少子高齢化による利用者の減少が予想されることから、事業運営継続に向けて、効率的な路線の検討を行う。		
		知名～永嶺～和泊間の路線定期バスの運行	観光客やビジネス客などの利便性向のためホームページの開設やバスロケーションシステムを導入した	A	A	利用者が減少傾向にあり、今後益々、少子高齢化による利用者の減少が予想されることから、事業運営継続に向けて、効率的な路線の検討を行う。		
		知名～後蘭～和泊間の路線定期バスの運行	観光客やビジネス客などの利便性向のためホームページの開設やバスロケーションシステムを導入した	A	C	利用者が減少傾向にあり、今後益々、少子高齢化による利用者の減少が予想されることから、事業運営継続に向けて、効率的な路線の検討を行う。		
		知名～下平川～和泊間の路線定期バスの運行	観光客やビジネス客などの利便性向のためホームページの開設やバスロケーションシステムを導入した	A	C	利用者が減少傾向にあり、今後益々、少子高齢化による利用者の減少が予想されることから、事業運営継続に向けて、効率的な路線の検討を行う。		
		和泊～伊延港間、和泊～和泊港・伊延港間、知名～知名港間の路線不定期バスの運行	周知用のポスターを刷新した。また、船内へのポスターの掲示や船内アナウンスなどを行い、船便利用者に対する周知を行った。	A	A	目標を達成できた。港までの移動手段のない高齢者や障害者、観光客等にっては必要な路線であることから、今後も確保維持していくことが重要である。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)	曾木バス停～川西地区の運行	市広報誌への記事掲載、警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布、福祉関係者等への周知等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しも視野に入れながら、利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の運行回数。循環線は乗車人数。 ・目標値を大きく下回っていることから、利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 ・次年度に策定予定の利便増進実施計画に基づき、更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービスの提供の確保がなされることを期待します。 	
		針持バス停～西山地区の運行		A	C			
		針持バス停～田原地区の運行		A	C			
		針持バス停～高塚地区の運行		A	C			
		菱刈中心地～市山花北地区の運行		A	B	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
		菱刈中心地～田中重留地区の運行		A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
		菱刈中心地～永池楠原地区の運行		A	B	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
		菱刈中心地～野池小川添地区の運行		A	B			
		菱刈中心地～荒田地区の運行		A	B			
	(有)下小園タクシー	山野中心地～布計地区の運行		A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しも視野に入れながら、利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。		
		山野中心地～小川内地区の運行		A	C			
		山野中心地～平出水地区の運行		A	B	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
		菱刈中心地～五色徳辺下地区の運行		A	B			
		菱刈中心地～山田徳辺地区の運行		A	B			
		菱刈中心地～下手地区の運行		A	B			
		菱刈中心地～湯之尾地区の運行		A	B			
	南国交通(株)	大口中心地～青木篠原地区循環運行		A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行方法の見直しも視野に入れながら、利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有) 鶴田タクシー	神子線(乗合タクシー) 大野～旧宮之城駅の運行	利用者の増減の要因を分析し、出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。地域を発着地とした利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例等も示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の利用啓発に努めた。	A	B	高齢者担当部署及び福祉部署との連携を図り引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗合人数及び利用者数の増を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、各路線毎の利用者数。 ・地域サロンなどの団体への啓発活動を行っていることを評価します。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。 	
		鶴田線(乗合タクシー) 上場～旧宮之城駅の運行		A	A			
		上狩宿・熊田線(乗合タクシー) 上狩宿～旧宮之城駅の運行		A	B			
		段・薬師線(乗合タクシー) 段～旧宮之城駅の運行		A	A			
	(株) 宮都タクシー	金山線(乗合タクシー) 金山～旧宮之城駅の運行	利用者の増減の要因を分析し、出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。地域を発着地とした利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例等も示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の利用啓発に努めた。	A	B	高齢者担当部署及び福祉部署との連携を図り引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗合人数及び利用者数の増を図る。		
		中津川・白猿線(乗合タクシー) 中津川～旧宮之城駅の運行		A	B			
		湯田・佐志線(乗合タクシー) 湯田～旧宮之城駅の運行		A	C			
		泊野・白男川線(乗合タクシー) 泊野～旧宮之城駅の運行		A	A			
	(株) 神園サービス	山崎線(乗合タクシー) 山崎～旧宮之城駅の運行	利用者の増減の要因を分析し、出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。地域を発着地とした利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例等も示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の利用啓発に努めた。	A	A	高齢者担当部署及び福祉部署との連携を図り引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗合人数及び利用者数の増を図る。		
		登尾線(乗合タクシー) 登尾～旧宮之城駅の運行		A	B			
		柘野・紫尾線(乗合タクシー) 柘野～旧宮之城駅の運行		A	B			
	(株) 宮都タクシー	中津川線(コミュニティバス) 北方町自治公民館前～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、令和5年4月から安全性が確保された場所に移設することができた。出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。	A	C	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。		
	(株) 神園サービス	登尾線(コミュニティバス) 登尾～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、令和5年4月から安全性が確保された場所に移設することができた。出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。	A	A	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。		
	(株) 神園サービス	柘野・紫尾線(コミュニティバス) 市野～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、令和5年4月から安全性が確保された場所に移設することができた。出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。	A	A	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。		
(株) 神園サービス	北原線(コミュニティバス) 牧之峰～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、令和5年4月から安全性が確保された場所に移設することができた。出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。	A	C	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。			
(有) 鶴田タクシー	栗野線(コミュニティバス) あじさい団地入口～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、令和5年4月から安全性が確保された場所に移設することができた。出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。	A	B	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
阿久根市地域公共交通活性化協議会		脇本北部系統 八郷～脇本地区公民館間の区 域内 運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載を行った。また、買物弱者という観点からも協議会等に参加し、意見交換等を行った。今後は、出前講座を行っていきたくと考えている。そのための準備を現在行っているところ。	A	C	年間利用者数における目標達成状況が65.29%と利用者数が減少している。 令和6年度からは新たに策定した地域公共交通計画の評価指標を達成するため、令和4年度の実績を基に目標値の水準が適切になるよう検討し、設定した。 その目標を達成するため、多様な方法での周知・広報に努めていきたい。	・評価の指標は、1便当たりの平均乗車人数。 ・目標値を大きく下回っていることから、利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。	
		脇本西部系統 深田～脇本地区公民館間の区 域内 運行		A	C	年間利用者数における目標達成状況が0%と利用者数がない。 令和6年度からは新たに策定した地域公共交通計画の評価指標を達成するため、令和4年度の実績を基に目標値の水準が適切になるよう検討し、設定した。 その目標を達成するため、多様な方法での周知・広報に努めていきたい。		
		脇本東部(瀬之浦)系統 大淵川～脇本地区公民館間の 区域内運行		A	C	年間利用者数における目標達成状況が11.67%と利用者数は増加しているが目標値には届いていない。 令和6年度からは新たに策定した地域公共交通計画の評価指標を達成するため、令和4年度の実績を基に目標値の水準が適切になるよう検討し、設定した。 その目標を達成するため、多様な方法での周知・広報に努めていきたい。		
		脇本東部(桐野)系統 桐野上～脇本地区公民館間の 区域内運行		A	C	年間利用者数における目標達成状況が0%と利用者数がない。 令和6年度からは新たに策定した地域公共交通計画の評価指標を達成するため、令和4年度の実績を基に目標値の水準が適切になるよう検討し、設定した。 その目標を達成するため、多様な方法での周知・広報に努めていきたい。		
		西目・遠見ヶ岡・倉津系統 落～市民病院間の区域内 運行		A	C	年間利用者数における目標達成状況が40%と利用者数が減少している。 令和6年度からは新たに策定した地域公共交通計画の評価指標を達成するため、令和4年度の実績を基に目標値の水準が適切になるよう検討し、設定した。 その目標を達成するため、多様な方法での周知・広報に努めていきたい。		
		多田・桑原城系統 丸内～市役所間の区域内運行		A	B	年間利用者数における目標達成状況が52.6%と利用者数は増加しているが目標値には届いていない。 令和6年度からは新たに策定した地域公共交通計画の評価指標を達成するため、令和4年度の実績を基に目標値の水準が適切になるよう検討し、設定した。 その目標を達成するため、多様な方法での周知・広報に努めていきたい。		
		山下系統 尾崎～市役所間の区域内運行		A	B	年間利用者数における目標達成状況が87.67%と利用者数は増加しているが目標値には届いていない。 令和6年度からは新たに策定した地域公共交通計画の評価指標を達成するため、令和4年度の実績を基に目標値の水準が適切になるよう検討し、設定した。 その目標を達成するため、多様な方法での周知・広報に努めていきたい。		
第一交通(株)		田代系統 米次～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載を行った。また、買物弱者という観点からも協議会等に参加し、意見交換等を行った。今後は、出前講座を行っていきたくと考えている。そのための準備を現在行っているところ。	A	C	年間利用者数における目標達成状況が83.2%と利用者数が減少している。 令和6年度からは新たに策定した地域公共交通計画の評価指標を達成するため、令和4年度の実績を基に目標値の水準が適切になるよう検討し、設定した。 その目標を達成するため、多様な方法での周知・広報に努めていきたい。		
		鶴川内系統 木佐木野～市役所間の区域内 運行		A	C	年間利用者数における目標達成状況が83.2%と利用者数が減少している。 令和6年度からは新たに策定した地域公共交通計画の評価指標を達成するため、令和4年度の実績を基に目標値の水準が適切になるよう検討し、設定した。 その目標を達成するため、多様な方法での周知・広報に努めていきたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
いちき串木野市地域公共交通会議	第一交通(株)	いきい寺タクシー 川上線の運行	前年の実績見込みを1.3人(1便当たりの利用者数)とし、人口減少はあるが、現状維持の目標値1.3人(前年比100%)以上とする。	A	A	平成30年度策定の地域公共交通網形成計画に基づき、住民の利便性向上のため、左記の地域内フィーダー系統路線の4路線を導入し、実施してきた。 令和5年度については、冠岳・生福・上名線において増便を行ったほか、出前講座による事業のPRや、さらなる利便性の向上に努め、全路線で利用者数が増加し、うち3路線で目標を達成した。 令和6年度以降は、実績を基に評価を行うが、新たな地域公共交通計画のもと、路線のPRや利便性の向上を図り、事業の目標設定また達成に努める。	・評価の指標は、各路線毎の1便当たりの利用者数。 ・一部系統における増便など、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズや利用実態を把握した上で、継続的な協議が進められることを期待します。 ・今後も、令和6年3月に策定予定の地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		いきいきタクシー 大里線の運行	前年の実績見込みを1.1人(1便当たりの利用者数)とし、人口減少はあるが、現状維持の目標値1.1人(前年比100%)以上とする。	A	A			
		いきいきタクシー 冠岳・生福・上名線の運行	前年の実績見込みを1.3人(1便当たりの利用者数)とし、人口減少はあるが、現状維持の目標値1.3人(前年比100%)以上とする。	A	A			
		いきいきタクシー 旭線の運行	前年の実績見込みを1.3人(1便当たりの利用者数)とし、人口減少はあるが、現状維持の目標値1.3人(前年比100%)以上とする。	A	B			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
肝付町地域公共交通会議	(株) 銀河タクシー	事前予約型乗合タクシー事業 辺塚～岸良～内之浦 おでかけタクシー事業 内之浦市街地	【辺塚～岸良～内之浦】 ・利用者の要望や乗務員の意見収集を実施し、対応マニュアルを作成しサービスの質向上を図った。 【内之浦市街地】 ・町広報掲載し周知を図った。 ・利用者の要望や乗務員の意見収集を実施し、対応マニュアルを作成しサービスの質向上を図った。	A	B	広報紙やホームページ等での情報発信や利用方法の説明会を開催し利用促進を図る。また、増加する利用者に対し、交通事業者の乗務員不足も課題となっているため、策定した地域公共交通計画の基本目標の達成に向け取り組みを行い、持続可能な公共交通サービスが提供できることを目指していく。	・評価の指標は、各路線毎の利用者数。 ・公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されていることを評価します。引き続き利用者のニーズを把握した上で、子ども、学生、高齢者など公共交通を利用して欲しい方に対してアプローチされることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。	
	(有) 鶴丸タクシー (有) 立石タクシー	事前予約型乗合タクシー事業 岸良～高山	【岸良～高山】 ・利用者の要望や乗務員の意見収集を実施し、対応マニュアルを作成しサービスの質向上を図った。	A	A			
	(有) 鶴丸タクシー (有) 立石タクシー	おでかけタクシー事業 高山市街地 有明エリア 川上エリア	【高山市街地・有明・川上エリア】 ・町広報掲載し周知を図った。 ・利用者の要望や乗務員の意見収集を実施し、対応マニュアルを作成しサービスの質向上を図った。	A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	上神殿線	*公共交通マップ *総合時刻表の作成・配布1,800部 *市広報誌での利用促進 *自治会や地区公民館へ出向いて出前講座を実施。	A	B	利用方法や予約方法の見直しを図り、新規利用者の獲得に努める。	*評価指標は、各路線毎の運行回数。全地区における利用者数。 *利用方法や予約方法の見直しを図り、新規利用者の獲得に努めていることを評価します。 *自己評価については、月ごとの利用を分析し、利用者の実態を把握することを検討願います。 *今後も、令和3年度に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		中川・郡線		A	A			
		竹之山・土橋線		A	B			
		上・下方限線		A	B			
		坊野・扇尾・古城線		A	B			
		美山・大田・久木野々線		A	B			
	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	平鹿倉・湯之元線	*公共交通マップ *総合時刻表の作成・配布1,800部 *市広報誌での利用促進 *自治会や地区公民館へ出向いて出前講座を実施。	A	A	利用方法や予約方法の見直しを図り、新規利用者の獲得に努める。		
		日添・田之尻線		A	B			
		和田線		A	B			
		藤元・野首線		A	B			
		坊野・田尻線		A	B			
	(有)吉村タクシー	日新線	*公共交通マップ *総合時刻表の作成・配布1,800部 *市広報誌での利用促進 *自治会や地区公民館へ出向いて出前講座を実施。	A	B	利用方法や予約方法の見直しを図り、新規利用者の獲得に努める。		
		日置線		A	A			
		吉利線		A	B			
		扇尾線		A	B			
		住吉線		A	B			
	第一交通(株)	上野・皆田線	*公共交通マップ *総合時刻表の作成・配布1,800部 *市広報誌での利用促進 *自治会や地区公民館へ出向いて出前講座を実施。	A	A	利用方法や予約方法の見直しを図り、新規利用者の獲得に努める。		
		高山・上市来(東市来)線		A	A			
	第一交通㈱ ひまわり交通㈱ (有)伊集院タクシー (有)吉村タクシー	高山・上市来(伊集院)線	*公共交通マップ *総合時刻表の作成・配布1,800部 *市広報誌での利用促進 *自治会や地区公民館へ出向いて出前講座を実施。	A	B	利用方法や予約方法の見直しを図り、新規利用者の獲得に努める。		
	(有)伊集院タクシー (有)吉村タクシー	飯牟礼・住吉線	*公共交通マップ *総合時刻表の作成・配布1,800部 *市広報誌での利用促進 *自治会や地区公民館へ出向いて出前講座を実施。	A	B	利用方法や予約方法の見直しを図り、新規利用者の獲得に努める。		
第一交通㈱	鶴丸線		A	B	利用方法や予約方法の見直しを図り、新規利用者の獲得に努める。			
第一交通㈱	江口・湯田線	*公共交通マップ *総合時刻表の作成・配布1,800部 *市広報誌での利用促進 *自治会や地区公民館へ出向いて出前講座を実施。	A	A				
第一交通㈱	南神之川・永山線		A	B				
第一交通㈱	美山線		A	B				
南内田タクシー 南湯の浦タクシー	吹上・伊作線	*公共交通マップ *総合時刻表の作成・配布1,800部 *市広報誌での利用促進 *自治会や地区公民館へ出向いて出前講座を実施。	A	B		利用方法や予約方法の見直しを図り、新規利用者の獲得に努める。		
南内田タクシー 南湯の浦タクシー	永吉・花田線		A	A				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南さつま地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	坊津から加世田市街地の運行 (中山線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、バス時刻表のGoogle Maps上検索データの更新、市HP等を活用した広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。	A	B	県立薩南病院の移転に伴う運行ルートの変更など、今後も利用者の利便性向上を図り利用者数増を目指す。利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直しについても積極的に対応していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標は、各路線毎の利用者数。 ・県立病院の移転に伴い、運行ルートを変更し利用者の利便性向上を図ったことを評価します。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。 	
		池辺から加世田市街地の運行 (高橋線)		A	B			
		大木場から加世田市街地の運行(大木場線)		A	B			
		池辺門前からゆうらくの運行 (池辺線)		A	B			
	(株)森田タクシー	内山田から加世田市街地の運行(鉄山線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、バス時刻表のGoogle Maps上検索データの更新、市HP等を活用した広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。	A	B	乗込み調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。		
	南海交通(株)	白川・大田・阿多・大坂から金峰市街地の運行(白川線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、バス時刻表のGoogle Maps上検索データの更新、市HP等を活用した広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。	A	B	車両乗込み調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
始良市地域公共交通会議	(有)あいら交通	ふるさとバス蒲生・春花線(西回り)	前年も目標を達成したため、昨年度に引き続きコミュニティバス無料月間を実施するとともに、ラジオ及び広報誌等で周知し、今回も目標を達成できた。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加策に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、各路線毎の1便当たりの乗車人数(バス)、運行収支率(タクシー)。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・今後も、令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。 	
	(有)あいら交通	ふるさとバス蒲生・春花線(東回り)	前年も目標を達成したため、昨年度に引き続きコミュニティバス無料月間を実施するとともに、ラジオ及び広報誌等で周知し、今回も目標を達成できた。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加策に取り組む。		
	(有)あいら交通	上名地区予約型乗合タクシー	前回は目標達成。今年度は利用促進のためにラジオを活用した周知を行ったが、今回は目標未達成だった。	A	B	運行距離と比例して運行経費が増加していることが目標未達成の原因であると考えられる。広報・周知による利用促進を図り、相乗り率の向上に取り組む。		
	(有)あいら交通	永原校区地区予約型乗合タクシー(辺川方面)	前年も目標を達成。今年度は利用促進のためにラジオを活用した周知を行い、目標を達成できた。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加及び相乗り率の向上に取り組む。		
	(有)あいら交通	北山校区(木津志方面)予約型乗合タクシー	前回は目標を達成。今年度は利用者から要望があった運行時刻の変更を行ったが、目標の達成には至らなかった。	A	C	運行距離と比例して運行経費が増加していることが目標未達成の原因であると考えられる。広報・周知による利用促進を図り、相乗り率の向上に取り組む。		
	(有)あいら交通	北山校区(木場方面)予約型乗合タクシー	前回は目標を達成。今年度は利用者から要望があった運行時刻の変更を行ったが、目標の達成には至らなかった。	A	B	運行距離と比例して運行経費が増加していることが目標未達成の原因であると考えられる。広報・周知による利用促進を図り、相乗り率の向上に取り組む。		
	南国交通㈱	蒲生地区巡回バス(蒲生・山田・帖佐線)	前年も目標を達成したため、昨年度に引き続きコミュニティバス無料月間を実施するとともに、ラジオ及び広報誌等で周知し、今回も目標を達成できた。	A	A	昨年4月に行った運行日や停留所の追加・増便により利用者が定着したことが利用者増の要因であるか考える。広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加策に取り組む。		
	鹿児島交通㈱	加治木地区循環バス	前回は目標未達成だったが、無料月間の実施や広報誌、ラジオでの周知に加え低床バスを導入し、今回は目標を達成できた。	A	A	低床バスの導入及び利用者への浸透が目標達成に繋がったと考えられる。今後は利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加策に取り組む。		
	鹿児島交通㈱	重富地区循環バス	今回は初年度となる。	A	A	鹿児島交通自主運行路線の廃線に伴い運行を開始したが、通勤通学での利用が多く目標達成。引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加策に取り組む。		
	第一交通㈱	新留地区予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったため、今年度は利用促進のためにラジオを活用した周知を行ったが、今回も目標未達成だった。	A	B	運行距離と比例して運行経費が増加していることが目標未達成の原因であると考えられる。広報・周知による利用促進を図り、相乗り率の向上に取り組む。		
	第一交通㈱	大山地区予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったため、今年度は利用促進のためにラジオを活用した周知を行ったが、今回も目標未達成だった。	A	B	運行距離と比例して運行経費が増加していることが目標未達成の原因であると考えられる。広報・周知による利用促進を図り、相乗り率の向上に取り組む。		
	第一交通㈱	久末地区高牧集落予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったため、今年度は利用促進のためにラジオを活用した周知を行ったが、今回も目標未達成だった。	A	C	利用登録者アンケートを実施したものの、目標を達成できなかった。広報誌等により乗合タクシーの利便性及び利用方法の周知を図り、利用者増につなげていきたい。		
	第一交通㈱	永原校区地区予約型乗合タクシー(菖蒲谷・嶽方面)	前回は目標を達成。今年度は利用促進のためにラジオを活用した周知を行ったが、今回は目標未達成だった。	A	B	運行距離と比例して運行経費が増加していることが目標未達成の原因であると考えられる。広報・周知による利用促進を図り、相乗り率の向上に取り組む。		
	第一交通㈱	竜門校区予約型乗合タクシー(市来原・迫・西浦方面)	前回は目標を達成。今年度は利用促進のためにラジオを活用した周知を行い、目標を達成できた。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加及び相乗り率の向上に取り組む。		
	第一交通㈱	中野地区予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったため、今年度は利用促進のためにラジオを活用した周知を行ったが、今回も目標未達成だった。	A	B	運行距離と比例して運行経費が増加していることが目標未達成の原因であると考えられる。広報・周知による利用促進を図り、相乗り率の向上に取り組む。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
指宿市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	コミュニティバス(イッシーバス)の運行 (1)小牧～ニシムタ指宿店線	今回が初年度となる。	A	A	■令和6年3月策定予定の指宿市地域公共交通計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。 ■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 (1) 指宿市のりものガイドの発行 (2) 出前講座や住民との意見交換会の実施 (3) 地域の方の要望に応じ、随時運行ルートの変更等を行う。 (4) 利便性の向上を図るため、他の交通モードへの転換を検討する。	・評価の指標は1便当たりの乗車人員。 ・公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されていることを評価します。引き続き利用者のニーズを把握した上で、子ども、学生、高齢者など公共交通を利用して欲しい方に対してアプローチされることを期待します。 ・今後も、令和6年3月に策定予定の地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	鹿児島交通㈱	コミュニティバス(イッシーバス)の運行 (2)川尻～なのはな館線		A	A			
	指宿観光交通㈱	予約型乗合タクシーの運行 (1)島久保・西方線		A	A			
	鹿児島第一交通㈱	予約型乗合タクシーの運行 (1)池田線		A	A			
	榑鹿屋自動車学校	予約型乗合タクシーの運行 (1)魚見線		A	C			
	榑鹿屋自動車学校	予約型乗合タクシーの運行 (2)鯉線		A	C			
	榑鹿屋自動車学校	予約型乗合タクシーの運行 (3)尾下線		A	A			
	榑南九州あづま交通	予約型乗合タクシーの運行 (開聞線)		A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
志布志市地域公共交通活性化協議会	チヨイソコしぶし	市内全域でチヨイソコしぶしを運行 土日祝日を除く午前9時から午後4時まで運行	今回が初年度となる。	A	B	令和6年度からチヨイソコしぶしの制度改正を行い、市民の利便性及び乗合 い率の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は乗合率。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。 	